

大和総研ビジネス・イノベーション



Job Arranger

操作マニュアル





変更履歴

版数	変更日付	
初版	2012/12/28	初版発行
第2版	2013/01/08	「5.6 変数について」を追加。
	- 	「表 5-5 条件分岐アイコンの設定項目」比較値の説明内容を修正。
		「表 7-2 ジョブネット状況欄と色の関係」表の項目を追加。
		「表 7-3 アイコンの状態と色の関係」強制停止中のステータスを追加。
第3版	2013/02/27	「9.2 jobarg_exec コマンド」の説明内容を修正。
		「9.3 jobarg_get コマンド」を追加。
第4版	2013/03/15	「表 5-2 部品オブジェクト一覧」 にファイル転送アイコンを追加。
	l I	「5.5.12 ファイル転送アイコン」を追加。
第5版	2013/04/05	ファイル転送アイコンの表示を変更。
第6版	2013/06/21	「5.3.8 ジョブ起動」と「5.5.13 リブートアイコン」を追加。
第7版	2013/11/12	「5.5 部品オブジェクトについて」 にファイル待合せアイコンと保留解除アイコンを追加。
		以下の章を追加。
		「2.2.4 Zabbix ユーザーの追加」、「2.2.5 Zabbix ホストの追加」
		「5.3.9 保留」、「5.3.10 保留解除」、「5.3.11 スキップ」、「5.3.12 スキップ解除」
		「5.5.13 ファイル待合せアイコン」、「5.5.15 保留解除アイコン」
		「8 実行結果表示」
		「10.4 jobarg_joblogput コマンド」、「10.5 jobarg_release コマンド」
第8版	2013/11/22	「2.2.4 Zabbix ユーザーの追加」と「2.2.5 Zabbix ホストの追加」の記載順序を変更。
	- 	「2.2.4 Zabbix ホストの追加」にホストグループの登録を追加。
		「2.2.5 Zabbix ユーザーの追加」にユーザーグループの登録を追加。
		「10.3 jobarg_get コマンド」のオプションに「-e」を追加。および、取得結果、戻り値
		の内容を変更。
第9版	2014/02/28	「2.2.2 ジョブマネージャのログイン」に「ジョブマネージャの表示言語について」を追
		加。
		「表 10-1 オプション一覧」にオプション「-D」を追加。
	l I	以下の表に項目「強制実行」を追加。
		「表 5-3 ジョブアイコンの設定項目」、「表 5-14 ファイル転送アイコンの設定項目」、
	 	「表 5-15 ファイル待合せアイコンの設定項目」、「表 5-16 リブートアイコンの設定項





目次

1	Job A	rranger の概要	1
1.1	Job A	rranger とは1	1
1.2	Job A	rranger の主な特長	1
1.3	Job A	rranger のシステム構成	3
	図 1-1	Job Arranger システム構成	3
2	ジョブ	マネージャ画面操作	4
2.1	ジョブ	· マネージャとは	4
2.2	ジョブ	マネージャの起動・ログイン	4
	2.2.1	ジョブマネージャの起動	4
	図 2-1	ログイン画面	1
	2.2.2	ジョブマネージャのログイン	5
	2.2.3	ユーザー毎の動作モードについて	3
	表 2-1	ユーザータイプと動作モードの関係性	5
	2.2.4	Zabbix ホストの追加	7
	図 2-2	Zabbix 画面へのログイン	7
	図 2-3	ホストグループ画面の選択	3
	図 2-4	ホストグループの作成	Э
	図 2-5	ホストグループ名の入力と保存10)
	図 2-6	ホスト画面の選択11	1
	図 2-7	ホストの作成12	2
	図 2-8	ホスト情報の入力と保存	3
	2.2.5	Zabbix ユーザーの追加14	4
	図 2-9	Zabbix 画面へのログイン14	1
	図 2-10) ユーザー画面の選択	5
	図 2-11	1 ユーザーグループの作成	5
	図 2-12	2 ユーザーグループ名の入力17	7
	図 2-13	3 利用可能なホストが含まれるホストグループの追加18	3
	図 2-14	4 ユーザーグループの保存	£
	図 2-15	5 ユーザーの作成)
	図 2-16	5 ユーザー情報の入力	L
	図 2-17	7 ユーザー権限の設定と保存	2
2.3	ジョブ	マネージャ画面の構成	3
	図 2-18	3 ジョブマネージャ画面	3
	表 2-2	オブジェクト管理関連画面一覧24	1
	表 2-3	ジョブ実行管理関連画面一覧	1
	表 2-4	実行結果表示関連画面一覧	1

Copyright (C) 2013 Daiwa Institute of Research Business Innovation Ltd. All Rights Reserved





3	オブジ	ェクトー覧管理	25
3.1	オブジ	エクト管理	25
	図 3-1	オブジェクト一覧画面	25
3.2	オブジ	ェクトの操作	26
	図 3-2	オブジェクト-覧画面でのコンテキストメニュ-	26
	3.2.1	各オブジェクトの新規追加	27
	3.2.2	各オブジェクトのコピー新規追加	27
	3.2.3	各オブジェクトの編集	27
	3.2.4	各オブジェクトの新バージョン作成	27
	3.2.5	各オブジェクトの有効化/無効化	27
	3.2.6	各オブジェクトの削除	28
	3.2.7	各オブジェクトのエクスポート	28
4	カレン	ダー設定	29
4.1	カレン	ダーとは	29
4.2	カレン	ダー作成	29
	4.2.1	カレンダーの新規作成	29
	図 4-1	カレンダー編集画面	29
	4.2.2	情報エリアの各情報を入力	30
	図 4-2	情報エリアの各項目	30
	表 4-1	情報エリアの各項目について	31
	4.2.3	日単位での稼働日・非稼働日の登録	31
	図 4-3	日単位での稼働日変更前	32
	図 4-4	日単位での稼働日変更後	32
	図 4-5	編集登録確認ダイアログ	33
	4.2.4	ファイル読込による稼働日の一括登録	33
	図 4-6	ファイル読込による稼働日変更前	33
	図 4-7	稼働日ファイル読込画面	34
	図 4-8	稼働日ファイル(TEXT ファイル)の記載例(フォーマット:YYYY/MM/DD)	34
	図 4-9	フォーマットの種類	34
	図 4-1	D ファイル読込による稼働日変更後	35
	図 4-1	1 編集登録確認ダイアログ	35
	4.2.5	年単位での条件指定による登録	36
	図 4-12	2 年単位での条件指定による稼働日変更	36
	図 4-1	3 カレンダー初期登録画面	36
	表 4-2	稼働日指定項目	37
	図 4-14	+ 稼働日の登録	37
	图 4-15	5年単位での条件指定による稼働日変更後	38
	図 4-16	5 編集登録確認ダイアログ	38





4.3	カレン	ダー削除	39
	図 4-17	7 削除確認ダイアログ	39
5	ジョブ	ネット設定	40
5.1	ジョブ	ネットとは	40
5.2	ジョブ	ネット作成	40
	5.2.1	ジョブネットの新規作成	40
	図 5-1	ジョブネット編集画面	40
	5.2.2	情報エリアの各情報を入力	41
	図 5-2	情報エリアの各項目	41
	表 5-1	情報エリアの各項目について	42
	5.2.3	開始アイコンを追加	43
	図 5-3	開始アイコンの配置	43
	5.2.4	各アイコンを追加	
	図 5-4	各アイコンの配置	44
	5.2.5	フロー(処理線)を追加	45
	図 5-5	フロー(処理線)の追加	45
	5.2.6	各アイコンの設定	46
	図 5-6	各アイコンの設定	46
	5.2.7	終了アイコンを追加	46
	図 5-7	終了アイコンの配置	46
	5.2.8	作成したジョブフローを登録する	47
	図 5-8	ジョブネットフローの登録	47
	図 5-9	編集登録確認ダイアログ	47
5.3	ジョブ	ネット編集	48
	図 5-10) ジョブネット編集画面でのコンテキストメニュー	48
	5.3.1	直線フロー	49
	5.3.2	曲線フロー	49
	5.3.3	TRUE 設定	49
	5.3.4	FALSE 設定	49
	5.3.5	フロー削除	49
	5.3.6	削除	49
	5.3.7	設定	50
	5.3.8	ジョブ起動	50
	5.3.9	保留	50
	5.3.10	保留解除	50
	5.3.11	スキップ	50
	5.3.12	スキップ解除	50
5.4	ジョブ	ネット削除	51
	図 5-11	1 削除確認ダイアログ	51





5.5 部品才	ブジェクトについて	52
表 5-2	部品オブジェクト-覧	52
5.5.1	ジョブアイコン	55
図 5-12	2 ジョブアイコンの設定	55
表 5-3	ジョブアイコンの設定項目	56
表 5-4	ジョブコントローラ変数一覧	59
5.5.2	条件分岐アイコン	61
図 5-13	3 条件分岐アイコンの設定	61
表 5-5	条件分岐アイコンの設定項目	62
5.5.3	並行処理アイコン	63
図 5-14	4 並行処理アイコンの使用例	63
5.5.4	ジョブコントローラ変数アイコン	64
図 5-1	5 ジョブコントローラ変数の設定	64
表 5-6	ジョブコントローラ変数の設定項目	65
5.5.5	拡張ジョブアイコン	66
図 5-10	6 拡張ジョブアイコンの設定	66
表 5-7	拡張ジョブアイコンの設定項目	67
表 5-8	拡張ジョブ一覧	68
5.5.6	終了アイコン	70
図 5-1	7 終了アイコンの設定	70
表 5-9	終了アイコンの設定項目	70
5.5.7	ループアイコン	71
図 5-18	8 ループアイコンの使用例	71
5.5.8	計算アイコン	72
図 5-19	9 計算アイコンの設定	72
表 5-10	0 計算アイコンの設定項目	73
5.5.9	タスクアイコン	74
図 5-20	0 タスクアイコンの設定	74
表 5-1	1 タスクアイコンの設定項目	74
5.5.10	情報取得アイコン	75
図 5-2	1 情報取得アイコンの設定	75
表 5-12	2 情報取得アイコンの設定項目	76
5.5.11	ジョブネットアイコン	77
図 5-22 一	2 ジョフネットアイコンの使用例	77
図 5-23	3 ジョフネットアイコンの設定	78
表 5-13	3 ジョフネットアイコンの設定項目	78
5.5.12	ファイル転送アイコン	79
図 5-24	4 ファイル転送アイコンの設定	79
表 5-14	4 ファイル転送アイコンの設定項目	80



	5.5.13	ファイル待合せアイコン	. 82
	図 5-25	ファイル待合せアイコンの設定	82
	表 5-15	ファイル待合せアイコンの設定項目	83
	5.5.14	リブートアイコン	. 85
	図 5-26	リブートアイコンの設定	85
	表 5-16	リブートアイコンの設定項目	86
	5.5.15	保留解除アイコン	. 87
	図 5-27	保留解除アイコンの設定	87
	表 5-17	保留解除アイコンの設定項目	88
	5.5.16	その他のアイコン	. 89
	図 5-28	その他アイコンの設定(開始アイコンの例)	89
	表 5-17	その他アイコンの設定項目	89
5.6	変数につ	>いて	. 90
	5.6.1	ジョブ変数	. 90
	図 5-29	実行コマンド内での有効範囲	90
	図 5-30	ジョブネット内での有効範囲	91
	5.6.2	ジョブコントローラ変数	. 92
	図 5-31	実行コマンド内での有効範囲	93
	図 5-32	ジョブネット内での有効範囲	93
5.7	ジョブネ	ペットの手動実行	. 95
	5.7.1	即時実行	. 95
	図 5-33	即時実行の選択	95
	図 5-34	実行確認ダイアログ	95
	図 5-35	即時実行後の実行ジョブ詳細画面	96
	5.7.2	保留実行	. 97
	図 5-36	保留実行の選択	97
	図 5-37	実行確認ダイアログ	97
	図 5-38	保留実行後の実行ジョブ詳細画面	98
	5.7.3	テスト実行	. 99
	図 5-39	テスト実行の選択	99
	図 5-40	実行確認ダイアログ	99
	図 5-41	テスト実行後の実行ジョブ詳細画1	100
6	スケジニ	1ール設定	101
6.1	スケジニ	1ールとは	101
	図 6-1 ਜ	各オブジェクトの関係図1	101
6.2	スケジニ	1.一ル作成	102
	6.2.1	スケジュールの新規作成	102
	図 6-2 🕽	スケジュール編集画面	102
	6.2.2	情報エリアの各情報を入力	102
	図 6-3 1	青報エリアの各項目1	103
		Copyright (C) 2011-2012 FitechForce, Inc. All Rights Reserved	
	Copyr	ight (C) 2013 Daiwa Institute of Research Business Innovation Ltd. All Rights Reserved	





表 6-1	情報エリアの各項目について	103
6.2.3	起動時刻を登録する	
図 6-4	起動時刻の追加	104
図 6-5	起動時刻登録画面	104
図 6-6	カレンダー選択後の起動時刻登録画面	105
図 6-7	起動時刻の入力	105
図 6-8	起動時刻の登録	106
6.2.4	ジョブネットを登録する	107
図 6-9	ジョブネットの追加	107
図 6-1	0 ジョブネット登録画面	107
図 6-1	1 ジョブネット選択後のジョブネット登録画面	108
図 6-1	2 ジョブネットの登録	108
6.2.5	スケジュールを登録する	109
図 6-1	3 スケジュールの登録	109
図 6-1	4 編集登録確認ダイアログ	109
6.3 スケジ	ジュール削除	110
図 6-1	5 削除確認ダイアログ	110
7 ジョブ	`実行管理	111
7.1 実行ジ	ジョブの全体管理	
図 7-1	実行ジョブ管理画面	111
7.1.1	稼働状況リスト	112
表 7-1	稼働状況のリスト	112
7.1.2	ジョブネット状況欄と色の関係	112
表 7-2	ジョブネット状況欄と色の関係	112
7.2 実行シ	ジョブ管理画面操作	113
図 7-2	実行ジョブ管理画面でのコンテキストメニュー	113
7.2.1	ジョブネット行の非表示	113
7.2.2	ジョブネットの停止	113
7.3 実行ジ	ジョブの詳細管理	114
図 7-3	実行ジョブ詳細画面	114
7.3.1	アイコンの状態と色の関係	115
表 7-3	アイコンの状態と色の関係	115
7.4 アイコ	1ンの操作	116
図 7-4	実行ジョブ詳細画面でのコンテキストメニュー	116
7.4.1	アイコンの保留/保留解除	116
7.4.2	アイコンのスキップ/スキップ解除	117
7.4.3	アイコンの強制停止	117
7.4.4	アイコンの再実行	117
7.4.5	アイコンの変数値変更	118
図 7-5	変数値変更ダイアログ	118
	Copyright (C) 2011-2012 FitechForce, Inc. All Rights Reserved	

Copyright (C) 2013 Daiwa Institute of Research Business Innovation Ltd. All Rights Reserved





7	7.4.6	アイコンの変数表示	119
	図 7-6	う変数表示ダイアログ	119
8	実行結	果表示	120
8.1	ジョフ	プの実行結果表示	120
	図 8-1	. ジョブ実行結果画面	
	図 8-2	2 ジョブ実行結果詳細画面	
8	3.1.1	ジョブ実行履歴の検索条件	122
	表 8-1	. 実行履歴の検索条件	122
8.2	実行編	き果のファイル出力	123
8	3.2.1	ジョブ実行結果のファイル出力	123
	図 8-3	3 ジョブ実行結果画面の CVS 出力ボタン	123
	図 8-4	・ジョブ実行結果出力画面	124
8	3.2.2	CSV ファイルのフォーマット	125
	表 8-2	2 ジョブ実行結果の CSV ファイルフォーマット	125
9	エクス	、ポート/インポート機能	127
9.1	エクフ	スポート/インポートの操作	127
ç	9.1.1	エクスポート	
	図 9-1	. エクスポート画面	127
g	9.1.2	インポート	129
	図 9-2	2 インポート画面	129
10	外部 I	/F機能	130
10.1	外部	部 I/F 機能とは	
10.2	joł	parg_exec コマンド	130
	表 10-	・1 オプション一覧	131
	表 10-	-2 戻り値一覧	
10.3	job	oarg_get コマンド	132
	表 10-	・3 オプション一覧	132
	表 10-	4 出力内容	133
	表 10-	5 戻り値一覧	134
10.4	jot	parg_joblogput コマンド	135
	表 10-	-6 オプション一覧	135
	表 10-	-7 戻り値一覧	136
10.5	job	parg_release コマンド	137
	表 10-	·8 オプション一覧	138
	表 10-	9 戻り値一覧	
10.6	ジョ	ョブサーバの認証方式	139



はじめに

このマニュアルは Job Arranger ソフトウェアの一部として配布されます。 Job Arranger を利用する人をサポートする目的で配布されますが、市場性または特定目的に対する適合性を含むいかな る保証も行うものではありません。

最新版は下記アドレスから入手できます。

https://ftf-support.fitechforce.com/redmine/projects/job-arranger-for-zabbix/repository

Job Arranger 操作マニュアルは、GPL ライセンスではなく以下の条項に従って配布および利用するものとします。

- ・ 他の形式に翻訳および変換することは許可されますが、いかなる方法によっても内容を変更、編集することは禁じら れています。
- ・ 個人で使用する場合は、印刷物の作成が許可されます。
- その他の利用目的、たとえば印刷物を販売する場合または別の出版物(印刷物または電子的)でこのマニュアル(の
 一部)を引用する場合は、大和総研ビジネス・イノベーション社からの事前の書面による合意が必要です。

The Job Arranger Manual is not released under GPL. Use of the Manual is a subject to the following terms: conversions to other formats is allowed, but the actual content may not be altered or edited in any way you may create a printed copy for your personal use for all other uses, such as selling printed copies or using (parts of) the Manual in another publication, prior written agreement from Daiwa Institute of Research Business Innovation Ltd is required



1 Job Arranger の概要

1.1 Job Arranger とは

Job Arranger とは、オープンソース(OSS)の総合監視ソフトウェアである Zabbix へ Add-On で追加するジョブ 管理ソフトウェアです。ネットワーク分散環境でジョブの効率的な自動運用を実現します。 Zabbix と連携することにより、Zabbix からのジョブ起動など Job Arranger のコントロールや、Job Arranger に よる Zabbix の監視データの取得、Zabbix の制御などが行えます。 グラフィカルな画面により、操作性の高いインターフェースを実現し、ユーザーに対しジョブの稼働状況ならびに編 集、操作において容易に行える操作環境を提供します。

1.2 Job Arranger の主な特長

Job Arranger には以下の特長があります。

・オープンソースでの提供

オープンソースである Zabbix と同様に、Job Arranger もオープンソースとして提供します。 C 言語で作成されているため、Job Arranger は軽量、高速、安定性などの面で優れています。

・ マルチプラットフォーム/マルチベンダ対応

ジョブの実行を行うジョブエージェントは、Linux (Redhat,CentOS)、Windows Server(2003,2008)の 主要プラットフォーム上で動作可能です。

・ シンプルで分かりやすい機能

カレンダーとジョブネットを完全に分離している為、設定の有効範囲が分かりやすい構成としています。利用者 が直感的に理解しにくい翌営業日、前営業日などの指定はサポートしていません。カレンダーとジョブネットを 自由に組み合わせることで、複雑な稼働日(含む:開始時間)の組み合わせも利用者に分かりやすいオペレーシ ョンを提供します。

· SE・運用者が理解しやすいジョブフロー表示

ジョブフローはフローチャート式を採用しているため、SE が理解しやすく簡単にジョブ開発が可能です。Job Arranger では平行処理・ループといった記述が可能であり、高度なフローを作成する事ができます。また、ジ ョブの前後関係や並列度などがグラフィカルに表示されるので、障害発生時に運用者が影響範囲を見極めるこ とも容易に可能です。



・監視機能との融合

Zabbix とデータ共有することで、Zabbix と Job Arranger との機能連携が可能です。 これにより、Zabbix からのジョブ起動など Job Arranger のコントロールや、Job Arranger による Zabbix の 監視データの取得、 Zabbix の制御などが行えます。 ※Zabbix の監視データの取得、Zabbix の制御については次期バージョンで対応予定です。

・ 変数機能の提供

Zabbix や Job Arranger が保持するリソース情報や、利用者が独自に定めた情報を「環境変数」として、ジョブの稼働時に利用することが可能です。これにより、定型化(部品化)したジョブネットが作成可能になり、色々なところでジョブネットの再利用が可能になります。

・ ジョブの稼働状況の一元管理

ジョブネットの稼働状態を監視する為に必要最小限の機能を提供し GUI で一元的に監視できます。

- ・ 現時点の状況を示す運行状況リスト
- 長時間の稼働ジョブを示す実行リスト
- ・ 障害が発生したジョブを示すエラーリスト

・バージョン管理

カレンダー 、スケジュール、ジョブは、複数のバージョンを保存・管理します。 特定のバージョンを有効化する事により、バージョンの切り替えを容易に行うことが可能です。



1.3 Job Arranger のシステム構成

Job Arranger はジョブの編集と稼働状況を表示するジョブマネージャと、ユーザープログラムの実行を行うジョブ エージェントおよびジョブの実行管理を行うジョブサーバで構成します。

既存の Zabbix データベースを Job Arranger でも使用することで、Zabbix で登録しているユーザーやホスト等の情報を共有し、スムーズな機能連携を実現させています。

ジョブエージェントでは、複数の Job の実行状態を管理するため、ファイルベースの SQLite を使用します。これに より、エージェント再起動時など、ジャーナルファイルからジョブの実行状態を最新の状態に回復できるようにして います。



図 1-1 Job Arranger システム構成



2 ジョブマネージャ画面操作

2.1 ジョブマネージャとは

ジョブマネージャとは、GUI 画面にてジョブの編集ならびにジョブの稼働状況の一元管理をおこなっているクライアント端末の事を指します。

2.2 ジョブマネージャの起動・ログイン

2.2.1 ジョブマネージャの起動

- ジョブマネージャを起動させます。
 デスクトップ上の[Job Arranger Manager]アイコンをダブルクリックもしくは、スタートメニューより
 [Job Arranger Manager]アイコンを選択します。
- ② ログイン画面が表示されます。

🏧 ログイン画面		
ジョブマネージャへようこ	27.	
ジョブコントローラにログ パスワードを入力しログイ	パインするには、ジョブコントローラ名、ユーザー名、 インボタンを押します。	
ジョブコントローラ名 :	JOB-SERVER	
ユーザー:		
パスワード:		
	ログインキャン	

図 2-1 ログイン画面



2.2.2 ジョブマネージャのログイン

Zabbix で登録したユーザーでジョブマネージャ(Job Arranger)にログインを行います。

- ① ジョブマネージャを起動すると、ログイン画面が表示されます。
- ログイン対象の Job Arranger を選択します。
 ※Job Arranger に接続するためには、事前に[jobarg_manager.conf]の設定が必要となります。詳細は「Job Arranger_インストールガイド」の「4.4.2 jobarg_manager.conf の編集」をご参照ください。
- ③ 「ユーザー」「パスワード」を入力します。

・ユーザー

必要に応じた Zabbix ユーザーを入力します。

ログインするユーザータイプにより、ジョブマネージャの動作モードが変わります。

動作モードについては「2.2.3 ユーザー毎の動作モードについて」をご参照ください。

- ・ パスワード
 - ユーザーのパスワードを入力します。
- ※ログインに必要なユーザーとパスワードは Zabbix のユーザー情報を使用するため、事前に Zabbix の ユーザー登録が必要となります。

Zabbix ユーザーの登録方法については「2.2.4 Zabbix ユーザーの追加」をご参照ください。

④ 入力内容を確認し、「ログイン」ボタンを押下します。

⑤ オブジェクトー覧画面(図 3-1)が表示されたら、ログイン完了となります。

【ジョブマネージャの表示言語について】

ジョブマネージャでは Zabbix ユーザーに指定された言語により画面上の表示言語が変わります。

現在サポートしている言語は「英語(en_GB)」、「英語(en_US)」、「日本語(ja_JP)」のみとなります。

これ以外の言語を選択すると、拡張ジョブアイコンの設定、およびジョブ実行結果画面が正しく動作しませんので ご注意ください。

なお、ログイン画面につきましては日本語 OS 以外は英語表示となります。



2.2.3 ユーザー毎の動作モードについて

ログインするユーザータイプにより、ジョブマネージャの動作モードが変わります。

また、ユーザーはユーザーグループと呼ばれる同じセキュリティ権限を持つユーザーの集合体に1つ以上所属します。 この所属グループによって操作可能なオブジェクトも変わります。

※オブジェクトとは、カレンダー、ジョブネット、スケジュールといった操作対象となるアイテムを指します。

ユーザータイプと動作モードの関係性は以下の通りです。

なお、ユーザータイプは Zabbix 側で設定されている権限制約であり、それをもとに Job Arranger の動作モードを 決定します。

ユーザータイプ	動作モード		説明					
一般	運用モード	対象オブジェクト 自分自身を含む、同じユーザーグループに所属するユーザー						
	1 1	i L	作成したオブジェクト					
			※但し、公開ジョブネットについては未所属のユーザーグルー					
			プであっても実行が可能です。					
		可能な操作	- ジョブ実行、インポート・エクスポート、実行結果表示					
		不可能な操作	カレンダー、スケジュール、ジョブネットの編集					
管理者	開発モード	対象オブジェクト	┃自分自身を含む、同じユーザーグループに所属するユーザーが					
	1	1	作成したオブジェクト					
			※但し、未所属のユーザーグループ・ユーザーが作成した公園					
			オブジェクトは参照と実行のみ可能です。					
		可能な操作	全ての機能					
		不可能な操作	なし					
特権管理者	開発モード	対象オブジェクト	全てのオブジェクト					
		可能な操作	全ての機能					
		不可能な操作	なし					

表 2-1 ユーザータイプと動作モードの関係性



2.2.4 Zabbix ホストの追加

Job Arranger でコマンド、およびアプリケーションを実行するためには、コマンドが実行されるサーバの情報を 定義する「ホスト」、およびホストをグループ化する「ホストグループ」を Zabbix に登録する必要があります。 ホスト、およびホストグループは Zabbix の GUI 画面(Web)により登録します。 Zabbix につきましては <u>http://www.zabbix.com/documentation.php</u>をご参照ください。 Zabbix 画面でのホストの登録方法は以下の通りです。 ※以下の画面は Zabbix2.0 となります。

① Admin ユーザーにより Zabbix 画面へログインします。

🖉 Zabbix – Windows Internet Explorer		
C C C Attp://zabbixsv/zabbix/index.php?reconnect=1	🖌 🍫 🔀 Google	₽ -
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(I) ヘルプ(H)		
👷 お気に入り 🛛 👌 • 🔝 - 🖃 🛖 • ページ(B)・ セーフティ(S)・ ツール(Q)・ 🕢	•	
ZABBIX Zabbix 20.8 Copyright 2001-2013 by Zabbix SIA	Help Support Usernami admin Password Remembri me for 30 days Sign in tain as Guest Admin ユーザー でログイン	G - 6 100 -

図 2-2 Zabbix 画面へのログイン





② Zabbix 画面上部のメニューより「設定」→「ホストグループ」を選択します。

図 2-3 ホストグループ画面の選択

🌈 ダッシュホード – Windows Internet Exp	lorer									
COC V Kashboard php?sid=05f8e097c5a50dd0 V Kashboard php?sid=05f8e097c5a50dd0								P -		
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(I) ヘルプ(H)										
🌟 お気に入り 👘 🏠 🔹 🔜 👘										
① 「設定」 ① 「設定」 ヘルフ サポート ブリント ブロファイル ログアウト 🍐										
▶★オイトーブ テンブレート 赤水 メンテナンス ウエブ アクジョン スクリーン スライドショー マップ ディスカバリ ITサービス 快来										
ヒストリ: ホングループの設定 >> ホントの設定 >> ダッ	シュボード » ホストの設定 » ス	トストグループの設定								
		×.				_	_		•	
◎ [ホストグループ	マabbixサーハーの状態	ž.	lit.	=**		-	-	U A		
			12	=+#						
あ気に入っていた	しいスリーバーの起動		27	2 /	2 / 23					=
	アイテム数 (有効/無効/取得)	下可)	24	13	/ 11 / 0					
	トリガー数 (有効/無効)[障害/	'不明/正常]	3	2 /	2/1 [1/0/1]					
	ユーザー数 (オンライン)		19	1	1					
	1秒あたりの監視項目数(Zab	bixサーバーの要求パフォーマ	ンス) 0.17) 0.17 -						
	更新時刻: 16:40:51									
	システムステータス									_
	ホストグループ	致命的な障害	重度の障害	軽度(の障害	警告	情報	未分類		
	Job Arranger server 01	0	1	0		0	0	0		
	Job Arranger server 02	0	1	0		0	0	0		
	Job Arranger server 03	0	1	0		0	0	0		
	Job Arranger server 04	0	1	0		0	0	0		
	Search 20:40:51									
	_		_	-						
ホストグループ 降害なし 障害あり							合計			
	Job Arranger server 01	1		1			2			~
<	200 Analiga Sarrei 02			-			-			>
http://zabbixsv/zabbix/hostgroups.php?ddreset=	&sid=05f8e097c5a50dd0					9	ነ–ታル ብን	ットラネット	🛛 🖓 🔹 🔍 1	00% 👻 🔡





③「ホストグループの作成」ボタンを押下します。

🌈 ホストグループの設定 –	Windows Inter	net Explorer
💽 🗢 🗾 http://z	abbixsv/zabbix/h	ostgroups.php?ddreset=1&sid=05f8e097c5a50dd0 🔮 🗲 🗶 🔀 Google
ファイル(E) 編集(E) 表示()	☑ お気に入り(<u>A</u>) ツール(ゴ) ヘルプ(圧)
🌟 お気に入り 🛛 🏠 🔹	<u> </u>	- ページ(B・ セーフティ(S)・ ツール(Q)・ (Q)・
ZABBIX		ヘルブ サポート プリント プロファイル ログアウト
監視データ インベントリーレポ	ート 設定 管理	
ホストグループ テンプレート	ホスト メン:	テナンス ウェブ アクション スクリーン スライドショー マップ ディスカバリ ITサービス 快楽
ヒストリ: ホストの設定 » ダッシュ ホストグループの設定	ボード » ホストの設	定 » ホングループの設定 » ダッシュボード
ホストグループ		
Displaying 1 to 8 of 8 foun	d	
□ <u>名前</u> ↓↑	#	
Discovered hosts	<u>テンプレート</u> (0) <u>ホスト</u> (0)	- 「ホストクルーノの作成」
Job Arranger server 01	<u>テンプレート</u> (0) <u>ホスト</u> (3)	CentOS-64-64-180, jobAgent-CentOS, HP ProCurve 2910al-24G Switch
Job Arranger server 02	<u>テンプレート</u> (0) <u>ホスト</u> (2)	CentOS-64-64-180, jobAgent-CentOS
Job Arranger server 03	<u>テンプレート</u> (0) <u>ホスト</u> (2)	CentOS-64-64-180, jobAgent-CentOS
Job Arranger server 04	<u>テンプレート</u> (0) <u>ホスト</u> (2)	CentOS-64-64-180, jobAgent-CentOS
Linux servers	<u>テンプレート</u> (0) <u>ホスト</u> (0)	
T <u>Templates</u>	<u>テンブレート</u> (23) <u>ホスト</u> (0)	Template OS Linux, Template App Zabbix Server, Template App Zabbix Agent, Template App Agentless, Template SNMP Interfaces, Template SNMP Generic, Template SNMP Device, Template SNMP OS Windows, Template SNMP Disks, Template SNMP OS Linux, Template SNMP Processors, Template IPMI Intel SR1530, Template IPMI Intel SR1630, Template App MySQL, Template OS OpenBSD, Template OS FreeBSD, Template OS AIX, Template OS HP-UX, Template OS Solaris, Template OS Mac OS X, Template OS Windows, Template JMX Generic, Template JMX Tomcat
Zabbix servers	<u>テンプレート</u> (0) <u>ホスト</u> (1)	Zabbix server
(四) (0) (0) (0) (0) (0) (0) (0) (0) (0) (0		
£977€11XI <u>₹11</u> (U)		
	Zabbix 2.().8 Copyright 2001-2013 by Zabbix SIA ユーザー'Admin'でログイン
		🚺 p. ±u /\.L=+.1 🖉 🔍 1000 -
ハーンが取っていました		

図 2-4 ホストグループの作成





④ ホストグループ名を入力し、「保存」ボタンを押下します。

🧭 末ストグループの設定 – Windows Internet Explorer	
🚱 🕞 🔻 📓 http:// zabbixsv /zabbix/hostgroups.php?form=%E3%83%9B%E3%82%B9%E3%83%88%E3%82%B0%E3%83%AB%E3%8 🗸 🚱 Goog	le 🔎 🗸
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(I) ヘルブ(H)	
🚖 केब्रिटरेग 🛛 🔄 🖃 🖷 • K-Ÿ(D) • セーフティ(S) • ツール(Q) • 🔞 •	
	いレブ サポート ブリント ブロファイル ログアウト
ちゅう インベルリ レポート 変定 普理 ①ホストグループ名	
***グキーブ 「テンプレート 」 ホスト メンテナンス を入力します。 - 「マップ 」 ディスカバリ エサービス	快来
ヒストリ:ホスゲループの設定 » ダッシュボード » ホストグループの。 ホストグループの設定	
ホストグループ	
グループター Job Arranger servers	
ホスト グループに含まれるホスト その他のホスト グループ Discovered hosts	¥
>	
②「保存」ボタン	
を押下していた。	
日本 キャンセル	
	T. H. M. S. T.
Zaubix 2.0.8 copyright 2001-2013 by Zaubix SIA	
ページが表示されました	・イントラネット 🦙 🗣 🍕 100% 🔹 🛒

図 2-5 ホストグループ名の入力と保存





⑤ Zabbix 画面上部のメニューより「設定」→「ホスト」を選択します。

Ø ダッシュホード - Windows Internet Exp	olorer							
💽 🗢 I 🛛 http://zabbixsv/zabbix/d	ashboard.php?sid=05f8e097(c5a50dd0		v 49		S Google		<u>- م</u>
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A)	ファイル(Ε) 編集(Ε) 表示(Δ) お気に入り(Δ) ツール(Τ) ヘルプ(Ε)							
👷 ঠর্চেম্রি 🔹 🚮 🔹 🖃 🛔	• <	· (c) •	-					
ZABRIX	①「設	定」				A11/7	サポート ブル	ホーブロファイル トログアウト 🎴
とへししいへ 監視データーインベルリーレポート 設定 参加	をクリ	ック						
ホストグループ ニテンプレート ホスト メンラ	・ナンス ウェブ アクショ	レースクリーン スラ	ライドショー ニマ	ップ ディスカバリ Г	「サービス			快来
ヒストリ: ダッシュボード >> ホストグループの設定 >> ホ	ストの設定 » ダッシュボード »	ホストの設定						
ダッシュボード								
a=-1unu=- ■≷	Zabbixサーバーの状態	<u>k</u>						
	バラメータ		値	詳細				
	Zabbixサーバーの起動		lttu	localhost:100	51			
\$×	ホスト数 (有効/無効/テンプレ	·	27	2 / 2 / 23				
	アイテム数 (有効/無効/取得)	不可)	24	13 / 11 / 0				
	トリガー数 (有効/無効)[障害/	/不明/正常]	3	2/1 [1/0/	2 / 1 [1 / 0 / 1]			
	ユーザー数 (オンライン)		19	1	1			
	1秒あたりの監視項目数(Zab	bi×サーバーの要求パフォ、	-マンス) 0.17	-				
	史新時刻: 13:48:47							
	システムステータス		_				e 🕿	
	ホストグループ	致命的な障害	重度の障害	軽度の障害	警告	情報	未分類	
	Job Arranger server 01	0	1	0	0	0	0	
	Job Arranger server 02	0	1	0	0	0	0	
	Job Arranger server 03	0	1	0	0	0	0	
	Job Arranger server 04	0	1	0	0	0	0	
	史新時刻: 13:48:47							
	ホストステータス						e\$	
	ホストグループ	障害なし		障害あり		슴計		
	Job Arranger server 01	1		1		2		
٢	Job Arranger server 02	1		1		2		×
ページが表示されました					9	ローカル・	(ントラネット	🖓 🔹 🔍 100% 👻

図 2-6 ホスト画面の選択





⑥「ホストの作成」ボタンを押下します。



図 2-7 ホストの作成



大和総研ビジネス・イノベーション Doive Institute of Research Business Innovation

⑦ ホスト情報を入力し、「保存」ボタンを押下します。



図 2-8 ホスト情報の入力と保存



2.2.5 Zabbix ユーザーの追加

ジョブマネージャのログイン、およびジョブネットの作成に必要なユーザーは Zabbix の GUI 画面(Web)により 登録します。また、ユーザーが利用可能なホストを割り当てるため、ユーザーグループも作成します。 ユーザーが使用するホストはユーザーが所属するユーザーグループに、利用するホストが含まれたホストグループを 登録することにより利用可能となります。 Zabbix につきましては <u>http://www.zabbix.com/documentation.php</u>をご参照ください。 Zabbix 画面でのユーザーの登録方法は以下の通りです。 ※以下の画面は Zabbix2.0 となります。

① Admin ユーザーにより Zabbix 画面へログインします。



図 2-9 Zabbix 画面へのログイン





② Zabbix 画面上部のメニューより「管理」→「ユーザー」を選択します。

🖉 ダッシュボード – Windows Internet Exp	lorer								
💽 🗢 I 🗾 http://zabbixsv/zabbix/da	shboard.php?sid=ddc7d347	board php?sid=ddc7d347a3256e1c 🖌 🖌 🔀 Google						ب م	
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A)	ツール(エ) ヘルプ(日)								
☆ お気に入り 論・ ◎ · □ 値	・ ページ(E) 1	「管理」	? .			117	サポート プリント	プロファイル ログア	ילי 🐴
監視データ インベントリ レポート 設定 管理	<u>を</u> ク	フリック							
→兼設定 分散監視 認証 ユーザー >	ディアタイプ スクリプト	「監査 キュー	通知レポート インフ	F∼1k				快索	
ヒストリ: ダッシュボード » ユーザーグル・プの設定 >	・ユーザーの設定 >> ダッシュボ	ード » ユーザーグルー:	プの設定					51	531
								<u> </u>	2
	Zabbixサーバーの状態	SMC							
	パラメータ		値	詳細					
20090 L	Zabbixサーバーの起動		ltu	localhost:100	51				
5⊼I=∧90/97 EV	ホスト数(有効/無効/テンプレ	-F)	27	2 / 2 / 23					
	アイテム数(有効/無効/取得?	[可])	24	13/11/0					
	トリガー数 (有効/無効)[障害/	'不明/正常]	3	2/1 [1/0/	1]				
	ユーサー数 (オンライン)	1. H. V. STAV	18	1					
	1秒あたりの監視項目数(285	Dixサーハーの要求ハノ	オーマジス) 0.17						
	SE WIEFRI: 10:39:20								
	システムステータス						ea		
	ホストグループ	致命的な障害	重度の障害	軽度の障害	警告	情報	未分類		
	Job Arranger server 01	0	1	0	0	0	0		
	Job Arranger server 02	0	1	0	0	0	0		
	Job Arranger server 03	0	1	0	0	0	0		
	Job Arranger server 04	0	1	0	0	0	0		
	sony servers	0	1	0	0	0	0		
更補料(1.10)39/20									
	ホストステータス								
	ホストグループ	障害なし	障	害あり		슴計			
<	Job Arranger server 01	1	1			2			>
http://zabbixsv/zabbix/usergrps.php?ddreset=1&	sid=ddc7d347a3256e1c				9	ローカル イン	ントラネット		•

図 2-10 ユーザー画面の選択



③ プルダウンリストより「ユーザーグループ」を選択し、「ユーザーグループの作成」ボタンを押下します。

グ コーポーガループの部分		-			
C ユーザークルーフの設定 - Wind	ows Internet	Explorer			
🕞 💬 🔻 🗾 http://zabbixsv/	zabbix/usergrps	php?ddreset=1&sid=05f8e097c5a50dd0	<u>∼</u> + ₇ ×	8 Google	₽ -
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気	にこ入り(<u>A</u>) ツー	ル(I) ヘルプ(E)			
🚖 お気に入り 👘 🔹 🔝 🕤	- 🖶 -	ページ(D・ セーフティ(S)・ ツール(Q)・ 🕡	<u>ブ</u> ル	<u></u>	
ZARRIX				・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ フリンI	ト プロファイル ログアウト
E提データ インベルリ レポート 設?	2 快理		で迭代		
→ 教務家 分散階級 調研 ユー		タイプ スクリプト 監査 キュー 通知レポート インストール			検索
ヒストリ: ダッシュボード » ホストの設定 »	ホストグループの設	定 » ダッシュボード » ホス・グループの設定			1000
ユーザーとユーザーグループの設定	È			ユーザーグループ 💙	ユーザーグループの作成
ユーザーグループ					
Displaying 1 to 13 of 13 found					
🔟 🦛	#	メンバー	ステータス	コロントエンドへのア	モバッグモード
Disabled	<u>ユーザー</u> (0)		② [_	Lーザーグループ	の作成し
Enabled debug mode	<u>ユーザー</u> (0)		<u> </u>	ボタンを押下	
Guests	<u>ユーザー</u> (1)	quest		パノノビゴイト	
Job Arranger administrators	<u>ユーザー</u> (1)	JaAdmin	有効	システムデフォルト	無効
Job Arranger managers 01	<u>ユーザー</u> (4)	JaEditor01, JaEditor02, JaEditor03, JaEditor04	<u>有効</u>	システムデフォルト	無効
Job Arranger managers 02	<u>ユーザー</u> (2)	JaEditor04, JaEditor05	<u>有効</u>	システムデフォルト	無効
Job Arranger managers 03	<u>ユーザー</u> (2)	JaEditor06, JaEditor07	有效	システムデフォルト	無効
Job Arranger managers 04	<u>ユーザー</u> (1)	JaEditor08	有効	システムデフォルト	無効
Job Arranger operators 01	<u>ユーザー</u> (4)	JaOperators01, JaOperators02, JaOperators03, JaOperators04	<u>有効</u>	システムデフォルト	無効
Job Arranger operators 02	<u>ユーザー</u> (2)	JaOperators04, JaOperators05	有効	システムデフォルト	無効
Job Arranger operators 03	<u>ユーザー</u> (2)	JaOperators06, JaOperators07	有効	システムデフォルト	無効
No access to the frontend	<u>ユーザー</u> (0)		有效	無効	無効
Zabbix administrators	<u>ユーザー</u> (1)	Admin	有効	システムデフォルト	無効
選択を有効 💟 実行(0)					
7	bhix 2.0.8.Cor	wright 2001-2013 by Zabbiy STA			〜ザ〜'Admin'でログイン
24	1001X 2:0.8 CO				
			•	コーカル イントラネット	🖓 🕶 🔍 100% 👻 🦼

図 2-11 ユーザーグループの作成





④ ユーザーグループ名を入力します。

🌔 ユーザーグループの設定 - Windows	Internet Explorer			
💽 🗢 I 🛛 http://zabbixsv/zabbi:	×/usergrps.php?config=usergrps.php&form=%E3%83%A69	xe3x83xbcxe3x82xb6xe3x83x 🔽 😽	X Google	₽ -
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り	つ(A) ツール(T) ヘルプ(H)			
🌟 お気に入り 🛛 🏠 🔹 🔜 🕤 🖃	🖶 ・ ページ(P)・ セーフティ(S)・ ツール(O)・ 🧃	•		
ZABBIX		<u> </u>	ヘルブ サポート ブ	リント プロファイル ログアウト
監視データ インベントリ レポート 設定 曽	理 ユーザーグループ名	<mark>ろを</mark>		
→兼設定 分散監視 調証 ユーザー	「 メティアタイ 入力します。	インストール		快来
 ヒストリ:ホンの設定 »ホングループの設定 » ユーザーグループの設定 	・ダッシュボード ** *			
ユーザーグループ 権限				
/л	Joh Arranger users			
ッパーン名 ユーザー	ブループ	その他のグループ 全て	×	
		Admin ouest		
		JaAdmin JaEditor01		
		JaEditor02 JaEditor03 JaEditor04		
		JaEditor05 JaEditor06	*	
フロントエンドへのアクセス	システムデフォルト	Jazonolov		
有効				
デバッグモード				
保存	キャンセル			
Zabbix	2.0.8 Copyright 2001-2013 by Zabbix SIA		I.	ユーザー'Admin'でログイン
				0.400%
ベーシか表示されました			🦦 ローカル イントラネット	🖓 🕶 🔍 100% 👻 🛒

図 2-12 ユーザーグループ名の入力



⑤ 「権限」タブをクリック後、権限の編集(読書可能)の追加ボタンによりユーザーで利用可能なホストが含まれ るホストグループを追加します。



図 2-13 利用可能なホストが含まれるホストグループの追加





⑥ 「ユーザーグループ」タブをクリック後、「保存」ボタンを押下します。

ベラーザーガループの設定 - Windows Internet Explorer	
	×イル ログアウト
■#ボータ インベメ タフをクリック	
- 厳愛定 分散監視 デー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	快索
ヒストリ: ホスの設定 - ベッループの設定 > タッシュホート >> ホストクループの設定 >> ユーサークループの設定 ユーザーグル プの設定	
コーザーグループ 検察	
グループ名 Job Arranger users	
JaAdmin JaAdmin	
Jaeditor01 JaEditor02 LaEditor03	
JaEditor04 JaEditor05	
② 「保存」ボタン	
を押下 27セス システムデフォルト マ	
保存 キャンセル	
Zabbix 2.0.8 Copyright 2001-2013 by Zabbix SIA ユーザ〜'Ad	min'でログイン
/ - ジが表示されました	€ 100% · .;

図 2-14 ユーザーグループの保存



⑦ プルダウンリストより「ユーザー」を選択し、「ユーザーの作成」ボタンを押下します。

C	レーザーの設定	- Windows Ir	nternet Expl	prer					
G	- 2	http://zabbixs	v/zabbix/users.	php?sid=ddc7d347a3	256e1c	v (8 Google		P -
77	ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルブ(H)								
	お気に入り	- M	· 🖃 🛖 •	・ページ(₽)・ セー:	フティ(S)・ ツール(O)・ 🕢・		[¬ _ ++ ~		
7	ARRIX						エーリー	」 プリント プロファ・	ብル ログアウト 🔷
	チーターインベント	・リ レポート ま	委定 管理				で进択		
- 1	設定 分散監視	. 22 1	- げ ー メディ	アタイプ スクリプト	- 監査 キュー 通知レポ	ート インストール		7	検索
ヒスト	· リ: ユーザーの設	定 » ダッシュボー	-ド » ユーザーグ)	レーブの設定 w ダッシュ	ュボード ≫ ユーザーグループの設定				
<u></u>	ザーとユーザー	-グルーブの話	定				-	1-#- 🔀 1	ーザーの作成
Die		of 18 found					ユーサークループ	/ 12(V
	<u> </u>	名前	名字	<u>ユーザーの種類</u>	グループ	ログイン状態			ヤセス デバッ:
	<u>Admin</u>	Zabbix	Administrator	Zabbix特権管理者	Zabbix administrators	l‡ני (Tue, 12 Nov 2013 11:00:29 י	217-1	サーの作成」	無効
	quest	Default	User	Zabbixユーザー	Guests	いいえ (Tue, 12 Nov 2013 08:34:36	ボタン	レを押下	無効
	JaAdmin	Job Arranger	Administrator	Zabbix特権管理者	Job Arranger administrators	いいえ			無効
	JaEditor01	Job Arranger	Editor	Zabbix管理者	Job Arranger managers 01	いいえ	正常	システムデフォルト	無効
	JaEditor02	Job Arranger	Editor	Zabbix管理者	Job Arranger managers 01	いいえ	正常	システムデフォルト	無効
	JaEditor03	Job Arranger	Editor	Zabbix管理者	Job Arranger managers 01	いいえ	正常	システムデフォルト	無効
	JaEditor04	Job Arranger	Editor	Zabbix管理者	Job Arranger managers 01 Job Arranger managers 02	いいえ	正常	システムデフォルト	無効
	JaEditor05	Job Arranger	Editor	Zabbix管理者	Job Arranger managers 02	いいえ	正常	システムデフォルト	無効
	JaEditor06	Job Arranger	Editor	Zabbix管理者	Job Arranger managers 03	いいえ	正常	システムデフォルト	無効
	JaEditor07	Job Arranger	Editor	Zabbix管理者	Job Arranger managers 03	いいえ	正常	システムデフォルト	無効
	JaEditor08	Job Arranger	Editor	Zabbix管理者	Job Arranger managers 04	いいえ	正常	システムデフォルト	無効
	JaOperators01	Job Arranger	Operator	Zabbixユーザー	Job Arranger operators 01	いいえ	正常	システムデフォルト	無効
	JaOperators02	Job Arranger	Operator	Zabbixユーザー	Job Arranger operators 01	しいえ	正常	システムデフォルト	無効
	JaOperators03	Job Arranger	Operator	Zabbixユーザー	Job Arranger operators 01	いいえ	正常	システムデフォルト	無効
	JaOperators04	Job Arranger	Operator	Zabbixユーザー	Job Arranger operators 01 Job Arranger operators 02	UUZ	正常	システムデフォルト	無効
	JaOperators05	Job Arranger	Operator	Zabbixユーザー	Job Arranger operators 02	いいえ	正常	システムデフォルト	無効
	laOperators06	Job Arranger	Operator	Zabbix 1 – tf –	Job Arranger operators 03	1 /1 / 2	正堂	システムギフォルト	an ch 💌
ページ	が表示されました						😼 อาวมห สวหร	ज्ञेत्रेणे 🍕 •	🔍 100% 🔻 💡

図 2-15 ユーザーの作成





⑧ ユーザー情報を入力します。



図 2-16 ユーザー情報の入力



⑨ 「権限」タブをクリック後、ユーザーの権限を設定し「保存」ボタンを押下します。



図 2-17 ユーザー権限の設定と保存



2.3 ジョブマネージャ画面の構成

ジョブマネージャの GUI 機能として以下の通り大きく3種類に分けられます。

义	2-18	ジョブ	マネー	-ジャ画配	ŋ
---	------	-----	-----	-------	---

ル┉ オブジェクト一覧	画面 - JOB-SERVER				
ファイル(E) 編集(E) 表示(Y) 実行(S) ヘルプ(H)				
				ユーザー名 : JaEditor01	
オブジェクト管理	ジョブ実行管理 実行結果表示				
き カレンジー 第一7年ジュール	有効 「更新日」 公開	ユーザー名 オブジェクトID	オブジェクト名 説明		
 ヨ ジョブネット 					
<	>				

- (1). オブジェクトを管理するためのオブジェクト管理タブ
 ここでは、各オブジェクト(カレンダー、スケジュール、ジョブネット)のバージョン管理、作成・編集、
 インポート・エクスポートなどを行います。
- (2). ジョブの実行状態を管理するためのジョブ実行管理タブ
 ここでは、ジョブマネージャが管理している各ジョブネットの実行状態を一元管理しています。
 また、ジョブネット単体毎の実行状態の確認や保留、スキップ等のジョブネット操作を行うことが出来ます。
- (3). ジョブの実行結果を表示するための実行結果表示タブ ここでは、ジョブネット、および各ジョブ(アイコン)の実行結果の検索と表示を行います。 また、表示されたジョブの実行結果を CSV 形式のファイルに出力することが可能です。



大和総研ビジネス・イノベーション	
Doise Institute of Research Rusiness Innovation	

表 2-2 オブジェクト管理関連画面一覧

画面名	内容	章番号
オブジェクト一覧画面	全オブジェクトの一覧を表示します。	2
	また、オブジェクト毎のバージョン管理も行います。	3
カレンダー編集画面	カレンダー作成・編集を行えます。	4
ジョブネット編集画面	ジョブネット作成・編集を行えます。	5
スケジュール編集画面	スケジュール作成・編集を行えます。	6
エクスポート画面	各オブジェクトのエクスポート操作が行えます。	9
インポート画面	各オブジェクトのインポート操作が行えます。	9

表 2-3 ジョブ実行管理関連画面一覧

画面名	内容	章番号
実行ジョブ管理画面	全ジョブネットの稼働状況を一覧形式で表示します。	7.1
実行ジョブ詳細画面	ジョブネット単体の稼働状況を表示します。	7.3

表 2-4 実行結果表示関連画面一覧

画面名	内容	章番号
ジョブ実行結果画面	ジョブの実行結果の検索と表示を一覧形式で表示します。	8.1
ジョブ実行結果出力画面	ジョブの実行結果を CSV 形式のファイルで出力します。	8.2



3 オブジェクトー覧管理

3.1 オブジェクト管理

オブジェクトー覧画面は、登録・編集中のカレンダー、スケジュール、ジョブネットなど全てのオブジェクトの一覧 を管理している画面です。画面右側のリストオブジェクトは選択された個別オブジェクトをバージョン(更新日付) 毎に表示をしています。この画面で、各オブジェクトに対して様々な操作をすることができます。

- JOB-SERVER								
ファイル(E) 編集(E) 表示(Y) 実行(S) ヘル	プ(H)							
							ユーザー名: JaEditor01	
オブジェクト管理 ジョブ実行管理 実	行結果表示							
き カレンダー	有効	重新日 公開	7-#-%	オブジェクトID	オブジェクト名	3888		
□ 公開カレンダー		2012/02/05 14:22:17	laEditor01	FICYO CALENDAR	パンジェント 心	***• ((亚口) (「窃動する」) ふば あす	
CALENDAR_70		2013/03/03 14:23:17	JaEditor01	EIGTO_CALENDAR_	1 営業ロカレンター1		(エロ) (1初期するカレンターにす。 (正日) (1弦励するカレンダーです。	
CALENDAR_MAX_456789012345(2013/01/17 09:13:43	Jacuitoro1	EIGTO_CALENDAR_			(一口) に稼働するカレンターです。	
TONYU_CALENDAR_NAGATA_PUE		2012/11/2/ 13:46:41	Jaeditorui	EIGTO_CALENDAR	L 営業ロガレンター I		(十日)に松崩するカレンターです。	
□ プライベートカレンダー								
CALENDAR9								
CALENDAR_96								
CALENDAR_98								
CALENDAR_EXP_TEST								
CALENDAR_NAGATA_REBOOT								
EIGYO_CALENDAR_1								
日 スグシュール 公開フ たがっ 川								
ム風人ソンユール ロ プライベートフケジュール								
SCHEDULE12								
SCHEDULE1 2								
SCHEDULE 1								
SCHEDULE 141								
SCHEDULE 144								
SCHEDULE_21								
SCHEDULE_25								i i
SCHEDULE_28								
SCHEDULE_EXP_TEST								
SCHEDULE_MONITOR_TEST								
SCHEDULE_NAGATA_TEST								
UNYO_SCHEDULE_1								
■ ジョフネット								
□ 公開ジョブネット								
JOBNET-00-01-1								
JOBNET-00-01-2								
JOBNET-00-01-3								
10BNET-00-02-1								
10BNET-00-02-3								
JOBNET-03-03-1								
10BNFT-04-01-1								
< · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·								
オノジェクト							リスト	
ツリー							<u> オノジェク</u>	

図 3-1 オブジェクト一覧画面



3.2 オブジェクトの操作

オブジェクト一覧画面は、オブジェクトツリーおよびリストオブジェクトの一覧です。コンテキストメニューより 以下の操作が可能となります。



図 3-2 オブジェクトー覧画面でのコンテキストメニュー


3.2.1 各オブジェクトの新規追加

各オブジェクトの新規追加を行います。本メニュー選択時はオブジェクトツリーのノード(カレンダー、スケジュール、ジョブネット)に該当する初期状態(データ未入力状態)のオブジェクト別編集画面を表示します。オブジェクトツリーが未選択の場合、カレンダー編集画面を表示します。

※ジョブマネージャの動作モードが「運用」の場合、選択不可となります。

3.2.2 各オブジェクトのコピー新規追加

既存のオブジェクトをコピーし、新規オブジェクトとして作成します。本メニューはリストオブジェクトより特定バ ージョンのオブジェクトを指定後に選択可能となり、選択されたバージョンデータのコピー後、オブジェクト別編集 画面を表示します。コピーされたデータには自動採番された ID が設定され、別オブジェクトとして管理されます。 ※ジョブマネージャの動作モードが「運用」の場合、選択不可となります。

3.2.3 各オブジェクトの編集

オブジェクトの編集を行います。本メニューはリストオブジェクトより個別バージョンのオブジェクトを指定後に選 択可能となり、該当バージョンのデータを対象に、オブジェクト別編集画面を表示します。なお、変更されたデータ は新しい更新日に置き換えられます。

※有効化されたバージョンの場合、またはジョブマネージャの動作モードが「運用」の場合、選択不可となります。

3.2.4 各オブジェクトの新バージョン作成

オブジェクトの新規バージョンを作成します。本メニューはリストオブジェクトより特定バージョンのオブジェクト を指定後に選択可能となり、選択されたバージョンデータのコピー後、オブジェクト別編集画面を表示します。コピ ーされたデータは新しい更新日で登録され、別バージョンとして管理されます。 ※ジョブマネージャの動作モードが「運用」の場合、選択不可となります。

3.2.5 各オブジェクトの有効化/無効化

オブジェクトの指定バージョンを有効化または無効化します。本メニューはリストオブジェクトよりオブジェクトを 指定後に選択可能となり、該当オブジェクトを有効/無効に設定します。有効化されるとリスト行に色が付き、実行 可能な状態となります。なお、有効に設定できるバージョンは常に1つのみであり、以前に有効となっていたバージ ョンは自動的に無効となります。また、スケジュールを有効化する場合、スケジュールに登録されたカレンダー、お よびジョブネットがすべて有効化されている必要があります。

※オブジェクトが未選択、ログインユーザーが所属していないユーザーグループのオブジェクトを選択のいずれかに 該当する場合、選択不可となります。



3.2.6 各オブジェクトの削除

オブジェクトの削除を行います。本メニューはオブジェクトツリー、または一覧の個別オブジェクトを指定後に選択 可能となり、削除確認ダイアログの表示と該当オブジェクトの削除を行います。

なお、オブジェクトツリーで個別オブジェクトを選択した場合、全てのバージョンを含むオブジェクト単位で削除します。また、リストオブジェクトより特定バージョンを選択した場合は選択されたバージョンのみ削除します。 ※オブジェクトが未選択、ジョブマネージャの動作モードが「運用」、ログインユーザーが所属していないユーザー グループのオブジェクトを選択のいずれかに該当する場合は選択不可となります。

3.2.7 各オブジェクトのエクスポート

オブジェクトのエクスポートを行います。本メニューはオブジェクトツリー、または一覧の個別オブジェクトを指定 後に選択可能となり、エクスポート画面の表示を行います。オブジェクトツリーでは選択されたオブジェクトの全バ ージョンがエクスポート対象となります。なお、エクスポートファイルは xml 形式で任意の場所に保存されます。 ※オブジェクトが未選択、またはログインユーザーが所属していないユーザーグループのオブジェクトを選択した場 合、選択不可となります。



pg. 29

4 カレンダー設定

4.1 カレンダーとは

カレンダーとは、ジョブネットが稼働する日(稼働日)を定義したオブジェクトを指します。 カレンダーには、全てのユーザーで共通に利用できる公開用カレンダーと同一アクセスグループ内のみで利用できる プライベートカレンダーの二種類があります。 稼働日の指定は、1日単位で指定します。曜日、特定日、月末、月初等の一括稼働日指定は、専用ダイアログで指定 する方式になります。なお、カレンダーは稼働日を登録する方式で非稼働日の情報は持っていません。

4.2 カレンダー作成

カレンダーの作成方法は、「日単位」「稼働日ファイル読込」「年単位」の3パターンあります。 以下に、それぞれのパターンについて説明します。

4.2.1 カレンダーの新規作成

オブジェクトー覧画面でオブジェクトツリーの「カレンダー」以下のノード行か個別オブジェクトを選択し、メニュ ーバーより「ファイル」―「新規追加」を選択するか、コンテキストメニューより「新規追加」を選択することで、 初期状態のカレンダー編集画面が表示され、新規作成が行えます。

図 4-1 カレンダー編集画面



Copyright (C) 2011-2012 FitechForce, Inc. All Rights Reserved Copyright (C) 2013 Daiwa Institute of Research Business Innovation Ltd. All Rights Reserved



4.2.2 情報エリアの各情報を入力

ジョブ編集画面の情報エリアにある以下の項目について入力します。

- ・ カレンダーID
- ・ カレンダー名
- ・ 説明
- ・ 公開チェックボックス

新規追加時はジョブマネージャが自動採番した仮のカレンダーID で登録されているので、必要に応じて内容を変更 してください。公開チェックボックスをオンにした場合は「全てのユーザーで共通に利用できる」公開用カレンダー になり、オフにした場合は「同一アクセスグループ内で利用できる」プライベート用カレンダーとなります。

カレンダー編集画面 – JOB-SERVER				
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 実行(S) ヘル	プ(出)		情報エリア	
				ユーザー名: JaEditor01
オブジェクト管理 ジョブ実行管理 実	行結果表示			
				TW0
■ 公開力レンダー	カレンターID:	CALENDAR_159	公開: 🤄 権限: 史新可能	史新日:
CALENDAR 70	カレンダータ・			ユーザー名: JaEditor01
CALENDAR MAX 456789012345	1.10222			
TONYU_CALENDAR_NAGATA_PUE	- 説明:			
□ プライベートカレンダー				
CALENDAR9	- 稼働日:	 2013 		最終稼働日:
CALENDAR_96	18	2013 2月 2013	3日 2013	4月 2013
CALENDAR_98	日日火	***		
CALENDAR_EXP_TEST		2 3 4 5 1 2	1 2	1 2 3 4 5 6
CALENDAR_NAGATA_REBOOT	6 7 9	0 10 11 12 2 4 5 6 7 8 0	2 4 5 6 7 9 0	7 9 0 10 11 12 12
EIGYO_CALENDAR_1		9 10 11 12 5 4 5 0 7 6 9		
□ スケジュール	13 14 15	16 1/ 18 19 10 11 12 13 14 15 16	10 11 12 13 14 15 16	14 15 16 17 18 19 20
公開スケジュール	20 21 22	23 24 25 26 17 18 19 20 21 22 23	17 18 19 20 21 22 23	21 22 23 24 25 26 27
■ プライベートスケジュール	27 28 29	30 31 24 25 26 27 28	24 25 26 27 28 29 30	28 29 30
SCHEDULE12	11		31	1
SCHEDULE1_2	5月	2013 6月 2013	7月 2013	8月 2013
SCHEDULE_1	日月火	水木金土 日月火水木金土	日月火水木金土	日月火水木金土
SCHEDULE_141	14	1 2 3 4 1	1 2 3 4 5 6	1 2 3
SCHEDULE_144	567	8 9 10 11 2 3 4 5 6 7 8	7 8 9 10 11 12 13	4 5 6 7 8 9 10
SCHEDULE_21	12 13 14	15 16 17 18 9 10 11 12 13 14 15	14 15 16 17 18 19 20	11 12 13 14 15 16 17
SCHEDULE_25	10 20 21	22 22 24 25 16 17 18 10 20 21 22	21 22 23 24 25 26 27	18 10 20 21 22 22 24
SCHEDULE_28	19 20 21		21 22 23 24 23 20 27	
SCHEDULE_EXP_TEST	26 27 28	29 30 31 23 24 25 26 27 28 29	28 29 30 31	25 26 27 28 29 30 31
SCHEDULE_MONITOR_TEST	11	30		
SCHEDULE_NAGATA_TEST	9月	2013 10月 2013	11月 2013	12月 2013
UNYO_SCHEDULE_1	日月火	水木金土 日月火水木金土	日月火水木金土	日月火水木金土
	1 2 3	4 5 6 7 1 2 3 4 5	1 2	1 2 3 4 5 6 7
	8 9 10	11 12 13 14 6 7 8 9 10 11 12	3 4 5 6 7 8 9	8 9 10 11 12 13 14
JOBNET 00.01.2	15 16 17	18 19 20 21 13 14 15 16 17 18 19	10 11 12 13 14 15 16	15 16 17 18 19 20 21
JOBNET-00-01-2 JOBNET-00-01-3	22 23 24	25 26 27 28 20 21 22 23 24 25 26	17 18 19 20 21 22 23	22 23 24 25 26 27 28
10BNET-00-02-1	29 30	27 28 29 30 31	24 25 26 27 28 29 30	29 30 31
10BNET-00-02-2	25 50	27 20 25 50 51	27 25 20 27 20 25 50	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
10BNET-00-02-3	11			
JOBNET-03-03-1	1			
10BNET-04-01-1	·		加加部署编制	ファイル結び 啓得 キャンセル
×				
	•			
		///		
オブジェクト		- オブ	ジェクト	
<u> </u>				

図 4-2 情報エリアの各項目





表	4-1	情報工	リア	の各項目	について
---	-----	-----	----	------	------

項目名	形式	
カレンダーID	テキストボックス	カレンダーを識別するIDを指定します。
		¦新規作成直後は初期値として「識別子(CALENDAR_)+連番」の
		IDが自動採番されます。
		半角英数字、ハイフン(-)、アンダーバー(_)のみ使用可能です。
	1	重複登録不可です。半角 32 文字まで入力可能です。
カレンダー名	テキストボックス	カレンダーの名称を指定します。
		ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナ、全角英数字、半角英数字、
	1	記号が使用可能です。 全角 32 文字、 半角 64 文字まで入力可能です。
説明	テキストボックス	カレンダーについての説明を指定します。
		ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナ、全角英数字、半角英数字、
	1	│記号が使用可能です。全角 50 文字、半角 100 文字まで入力可能で
		す。省略可能です。
公開チェックボックス	チェックボックス	他のユーザーへの公開要否を指定します。

4.2.3 日単位での稼働日・非稼働日の登録

カレンダーオブジェクトの日付をクリックすることで、日単位で稼働日・非稼働日の登録をすることができます。

- ① カレンダー編集画面にて、カレンダーオブジェクトの日付をクリックし、稼働日・非稼働日を変更します。
 - ・ クリックされた日付が稼働日の場合、日付をクリック後八イライト有りになります。
 - ・ クリックされた日付が非稼働日の場合、日付をクリック後八イライト無しになります。



Jam カレンダー編集画面 - JOB-SERVER					
ファイル(白) 編集(丘) 表示(仏) 実行(広) ヘルブ(山)					
	ユーザー名:JaEditor01				
オフジェクト管理 ジョフ美行管理 美行	· 结果表示				
□ カレンダー	カレンダーID: TOUNYU_CALENDAR 公開: 福銀: 更新可能 更新日:				
CALENDAR_70 CALENDAR_MAX_456789012345(
TONYU CALENDAR NAGATA PUE	説明: ジョブネットの定時投入を行います。				
□ プライベートカレンダー					
CALENDAR9	稼働日: ● 2013 ● 最終稼働日:				
CALENDAR_96	1月 2013 2月 2013 3月 2013 4月 2013	~			
CALENDAR_98	日月火水木金土 日月火水木金土 日月火水木金土 日月火水木金土				
CALENDAR_EXP_TEST	1 2 3 4 5 1 2 1 2 1 2 3 4 5 6				
CALENDAR_NAGATA_REBOOT	6 7 8 9 10 11 12 3 4 5 6 7 8 9 3 4 5 6 7 8 9 7 8 9 10 11 12 13				
EIGYO_CALENDAR_1	13 14 15 16 17 18 19 10 11 12 13 14 15 16 10 11 12 13 14 15 16 14 15 16 17 18 19 20				
国 スケジュール 小田フ ケジュール	20 21 22 23 24 25 26 17 18 19 20 21 22 23 17 18 19 20 21 22 23 21 22 23 24 25 26 27				
コゴライベートスケジュール					
SCHEDULE12	21 20 25 30 31 24 25 20 21 20 2 25 30 20 25 30				
SCHEDULE1 2					
SCHEDULE 1					
SCHEDULE_141					
SCHEDULE_144					
SCHEDULE_21					
SCHEDULE_25	12 13 14 15 16 1/ 18 9 10 11 12 13 14 15 14 15 14 15 14 15 16 1/ 18 19 20 11 12 13 14 15 16 1/				
SCHEDULE_28	19 20 21 22 23 24 25 16 17 18 19 20 21 27 23 24 25 26 27 18 19 20 21 22 23 24				
SCHEDULE_EXP_TEST	26 27 28 29 30 31 23 24 25 26 27 28 29 30 31 25 26 27 28 29 30 31				
SCHEDULE_MONITOR_TEST	30				
SCHEDULE_NAGATA_TEST	9月 2013 10月 2013 日付を選んで 12月 2013				
UNYO_SCHEDULE_1	日月火水末金土 日月火水末金土 _ 日月火水末金土				
	1234567 12345 7 9 7 9 9 7				
	8 9 10 11 12 13 14 6 7 8 9 10 11 12				
JOBNET-00-01-1	15 16 17 18 19 20 21 13 14 15 16 17 18 19 10 11 12 13 14 15 16 15 16 17 18 19 20 21				
10BNET-00-01-3	22 23 24 25 26 27 28 20 21 22 23 24 25 26 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28				
10BNET-00-02-1	29 30 27 28 29 30 31 24 25 26 27 28 29 30 29 30 31				
JOBNET-00-02-2					
JOBNET-00-02-3		× *			
JOBNET-03-03-1		(F)			
10BNET-04-01-1	初期登録 ファイル読込 登録 キャンセル				

図 4-3 日単位での稼働日変更前

② 変更内容を確認し、「登録」ボタンを押下します。



🏧 カレンダー編集画面 – JOB-SERVER				
ファイル(と) 編集(と) 表示(公) 実行(S) ヘルブ(4)				
		ユーザー名: JaEditor01		
オブジェクト管理 ジョブ実行管理 実行結果表示	R			
B カレンダー かしン	ンダーID: TOUNYU_CALENDAR 公開: 🗌 権限: 更新可能	更新日:		
CALENDAR_70 DUX	ンダー名: ジョブネット投入カレンダー	ユーザー名: JaEditor01		
CALENDAR_MAX_456789012345(TONYU CALENDAR NAGATA PUE 説明:	ジョブネットの定時投入を行います。			
日 プライベートカレンダー	B. (2012)	wy存在口.		
CALENDAR 96	J. C 2013 C 48			
CALENDAR 98	1月 2013 2月 2013 3月 2013	4月 2013		
CALENDAR EXP TEST	1月火水木金土 日月火水木金土 日月火水木金土 日			
CALENDAR NAGATA REBOOT	1 2 3 4 5 1 2 1 2	1 2 3 4 5 6		
EIGYO_CALENDAR_1 _ 6	5 7 8 9 10 11 12 3 4 5 6 7 8 9 3 4 5 6 7 8 9 7	7 8 9 10 11 12 13		
■ スケジュール 1:	3 14 15 16 17 18 19 10 11 12 13 14 15 16 10 11 12 13 14 15 16 1	14 15 16 17 18 19 20		
公開スケジュール 20	0 21 22 23 24 25 26 17 18 19 20 21 22 23 17 18 19 20 21 22 23 2	21 22 23 24 25 26 27		
■ プライベートスケジュール 27	7 28 29 30 31 24 25 26 27 28 24 25 26 27 28 29 30 2	28 29 30		
SCHEDULE12	31			
SCHEDULE1_2	5月 2013 6月 2013 7月 2013	8月 2013		
SCHEDULE_1	3月火水木金十 日月火水木金十 日月火水木金十 F	日月火水木金土		
SCHEDULE_141	1 2 3 4 1 1 2 3 4 5 6	1 2 3		
SCHEDULE_144	5 6 7 8 9 10 11 2 3 4 5 6 7 8 7 8 9 10 11 12 13	4 5 6 7 8 9 10		
SCHEDULE_21				
SCHEDULE_25	2 13 14 15 16 1/ 18 9 10 11 12 13 14 15 14 15 16 1/ 18 19 20 1	11 12 13 14 15 16 1/		
SCHEDULE_28	9 20 21 22 23 24 25 16 17 18 19 20 21 22 21 22 23 24 25 26 27 1	18 19 20 21 22 23 24		
SCHEDULE_EXP_TEST 26	6 27 28 29 30 31 23 24 25 26 27 28 29 28 29 30 31 2	25 26 27 28 29 30 31		
SCHEDULE_MONITOR_TEST	30			
SCHEDULE_NAGATA_TEST	9月 2013 10月 2013 11月 2013	12月 2013		
UNYO_SCHEDULE_1	3月火水木金土 日月火水木金土 日月火水木金土 E	日月火水木金土		
ジョフネット 1	1 2 3 4 5 6 7 1 2 3 4 5 1 2 1	1 2 3 4 5 6 7		
回 公開ジョフネット 8	3 9 10 11 12 13 14 6 7 8 9 10 11 12 3 4 5 6 7 8 9 8	8 9 10 11 12 13 14		
JOBNET-00-01-1	5 16 17 18 19 20 21 13 14 15 16 17 18 19 10 11 12 13 14 15 16 1	15 16 17 18 19 20 21		
JOBNET-00-01-2	2 23 24 25 26 27 28 20 21 22 23 24 25 26 17 18 10 20 21 22 23 2	22 23 24 25 26 27 28		
JUBNET-00-01-3		20 20 21		
JOBNET-00-02-1 25	a po 27 20 24 po pr 24 25 20 27 28 29 30 2	79 20 21		
JUDINET-00-02-2		✓		
JOBNET-02-02-1		>		
10BNET-04-01-1	200 200 200 200 200 200 200 200 200 200			
< >	初期宣排			



③ 編集登録確認ダイアログが表示されるので、「はい」ボタンを押下します。

図 4-5 編集登録確認ダイアログ

編集登録確認	×
編集中のデータを登録します。よろしいですか	?
【 <u>ばい(Y)</u> いいえ(N)	

4.2.4 ファイル読込による稼働日の一括登録

稼働日にしたい日付が記載された TEXT ファイルを読込むことで、稼働日を一括登録することができます。

ただし、変更前の稼働日情報は全て削除されます。

① カレンダー編集画面にてファイル読込ボタンを押下します。

図 4-6	ファイル読込による稼働日変更前	

「「 カレンダー編集画面 - JOB-SERVER		
ファイル(E) 編集(E) 表示(Y) 実行(S) ヘルフ	プ(出)	
	ユー ザ ー名: JaEditor01	
オブジェクト管理 ジョブ実行管理 実行	行結果表示	
B カレンダー	カレンダーID: TOUNYU_CALENDAR 公開: 【 権限: 更新可能 更新日:	
□ 公開カレンダー		
CALENDAR_70 CALENDAD_MAX_4567800132454	カレンダー名: ジョフネット投入カレンター ユーサー名: JaEditorU1	
TONYU CALENDAR NAGATA PUE	時間・ジョブネットの定時投入を行います。	
□ プライベートカレンダー		
CALENDAR9	稼働日: ④ 2013 ▶ 最終稼働日:	
CALENDAR_96	1月 2013 2月 2013 3月 2013 4月 2013	~
CALENDAR_98	日月火水木金土 日月火水木金土 日月火水木金土 日月火水木金土	
CALENDAR_EXP_TEST	1 2 3 4 5 1 2 1 2 1 2 3 4 5 6	
CALENDAR_NAGATA_REBOOT	6 7 8 9 10 11 12 3 4 5 6 7 8 9 3 4 5 6 7 8 9 7 8 9 10 11 12 13	
EIGYO_CALENDAR_1	13 14 15 16 17 18 19 10 11 12 13 14 15 16 10 11 12 13 14 15 16 14 15 16 17 18 19 20	
スケジュール ムロフ ケンシュー		
公開入クシュール		
SCHEDULE12	27 20 23 30 31 24 23 20 27 20 27 20 27 20 27 30 20 23 30	
SCHEDULE1 2		
SCHEDULE 1	5 H 2013 6 H 2013 7 H 2013 8 H 2013	
SCHEDULE 141		
SCHEDULE_144		
SCHEDULE_21	5 6 7 8 9 10 11 2 3 4 5 6 7 8 7 8 9 10 11 12 13 4 5 6 7 8 9 10	
SCHEDULE_25	12 13 14 15 16 17 18 9 10 11 12 13 14 15 14 15 16 17 18 19 20 11 12 13 14 15 16 17	
SCHEDULE_28	19 20 21 22 23 24 25 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 18 19 20 21 22 23 24	
SCHEDULE_EXP_TEST	26 27 28 29 30 31 23 24 25 26 27 28 29 30 31 25 26 27 28 29 30 31 25 26 27 28 29 30 31 25 26 27 28 29 30 31 25 26 27 28 29 30 31	
SCHEDULE_MONITOR_TEST	30	
SCHEDULE_NAGATA_TEST	9月 2013 10月 2013 11月 2013 12月 2013	
UNYO_SCHEDULE_1	日月火水木金土 日月火水木金土 日月火水木金土 日月火水木金土	
□ ジョブネット	1 2 3 4 5 6 7 1 2 3 4 5 1 2 1 2 3 4 5 6 7	
□ 公開ジョブネット	8 9 10 11 12 13 14 6 7 8 9 10 11 12 3 4 5 6 7 8 9 8 9 10 11 12 13 14	
JOBNET-00-01-1	15 16 17 18 19 20 21 13 14 15 16 17 18 19 10 11 12 13 14 15 16 15 16 17 18 19 20 21	
JOBNET-00-01-2	22 23 24 25 26 27 28 20 21 22 23 24 25 26 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28	
JOBNET-00-02-1		
JOBNET-00-02-1 10BNET-00-02-2		
10BNET-00-02-2		\sim
JOBNET-03-03-1		>
10BNFT-04-01-1	初期登録 ファイル族込み 登場 キャンオ	11
<		



② 稼働日ファイル読込画面が表示されます。

図 4-7 稼働日ファイル読込画面

iam 稼働日ファイル読込画面	×
稼働日を指定した稼働日ファイルを入力してください。	
参照 フォーマット: YYYY/MM/DD	
読込み キャンセル	

③「参照」ボタンを押下します。

④ ファイル選択ダイアログが表示されるので、対象のファイルを指定し、「OK」ボタンを押下します。

⑤ 対象ファイル内のフォーマットに合わせて、画面上のフォーマットを選択します。

図 4-8 稼働日ファイル(TEXT ファイル)の記載例(フォーマット:YYYY/MM/DD)



図 4-9 フォーマットの種類

▶ 稼働日ファイル読込画面	\mathbf{X}
稼働日を指定した稼働日ファイルを入力してください。	
参照	
フォーマット: YYYY/MM/DD VYYYY/MM/DD YYYYY-MM-DD MM/DD/YYYY YYYYMMDD	



- ⑥ 登録内容を確認し、「読込み」ボタンを押下します。
- ⑦ カレンダーの内容を確認し、「登録」ボタンを押下します。

· · · · · · · · · · · · · ·		
オブジェクト管理ショブ実行管理実行	ユーザー名: JaEditor01 結果表示	
∃ カレンダー	カレンダーID: TOUNYU_CALENDAR 公開: 相限: 更新可能 更新日:	
 公開力レンター CALENDAR 70 	エレンゼーク パーゴナット921 キレンガ フーザータ・13Editor01	
CALENDAR_70 CALENDAR_MAX_456789012345		
TONYU_CALENDAR_NAGATA_PUE	説明: ジョブネットの定時投入を行います。	
□ プライベートカレンダー		
CALENDAR9	校園日: 2013/12/31 最終校園日: 2013/12/31	10
CALENDAR_96	1月 2013 2月 2013 3月 2013 4月 2013	
CALENDAR EXP TEST	日月火水末金土 日月火水末金土 日月火水末金土 日月火水末金土	
CALENDAR NAGATA REBOOT	1 2 3 4 5 1 2 1 2 3 4 5 6	
EIGYO_CALENDAR_1	6 7 8 9 10 11 12 3 4 5 6 7 8 9 3 4 5 6 7 8 9 7 8 9 10 11 12 13	
スケジュール	13 14 15 16 17 18 19 10 11 12 13 14 15 16 10 11 12 13 14 15 16 14 15 16 17 18 19 20	
公開スケジュール	20 21 22 23 24 25 26 17 18 19 20 21 22 23 17 18 19 20 21 22 23 21 22 23 21 22 23 24 25 26 27	
■ プライベートスケジュール	27 28 29 30 31 24 25 26 27 28 24 25 26 27 28 24 25 26 27 28 29 30 28 29 30	
SCHEDULE12	31	
SCHEDULE1_2	5月 2013 6月 2013 7月 2013 8月 2013	
SCHEDULE_1	日月火水木金土 日月火水木金土 日月火水木金土 日月火水木金土	
SCHEDULE_141	1 2 3 4 1 1 2 3 4 5 6 1 2 3	
SCHEDULE_144	5 6 7 8 9 10 11 2 3 4 5 6 7 8 7 8 9 10 11 12 13 4 5 6 7 8 9 10	
SCHEDULE_21	12 13 14 15 16 17 18 9 10 11 12 13 14 15 14 15 16 17 18 19 20 11 12 13 14 15 16 17	
SCHEDULE_25	19 20 21 22 23 24 25 16 17 18 19 20 21 22 21 22 23 24 25 26 27 18 19 20 21 22 23 24	
SCHEDULE_28		
SCHEDULE MONITOR TEST	20 27 20 23 30 31 23 24 23 20 27 20 23 20 23 30 31 23 20 27 20 23 30 31	
SCHEDULE NAGATA TEST	30	
UNYO SCHEDULE 1	97 2013 107 2013 117 2013 117 2013 127 2013	
ジョブネット		
□ 公開ジョブネット	1 2 3 4 3 0 7 1 2 3 4 3 1 2 1 2 3 4 5 0 7	
JOBNET-00-01-1	8 9 10 11 12 13 14 6 7 8 9 10 11 12 3 4 5 6 7 8 9 8 9 10 11 12 13 14	
JOBNET-00-01-2	15 16 1/ 18 19 20 21 13 14 15 16 17 18 19 10 11 12 13 14 15 16 15 16 17 18 19 20 21	
JOBNET-00-01-3	22 23 24 25 26 27 28 20 21 22 23 24 25 26 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28	
JOBNET-00-02-1	29 30 27 28 29 30 31 24 25 26 27 28 29 30 31	
JOBNET-00-02-2		
JOBNET-00-02-3	K	>
JOBNET-03-03-1		_
10BNFT-04-01-1	初期登録 ファイル読込 登録 キャンセル	

図 4-10 ファイル読込による稼働日変更後

- ⑧ 編集登録確認ダイアログが表示されるので、「はい」ボタンを押下します。
 - 図 4-11 編集登録確認ダイアログ





4.2.5 年単位での条件指定による登録

カレンダー初期登録画面より、年単位での条件指定登録をすることができます。

① カレンダー編集画面にて「初期登録」ボタンを押下します。





② カレンダー初期登録画面が表示されます。

🖛 カレンダー初期登録画面		
カレンダーに稼働日の初期 稼働日としたい項目にチェ 稼働日は現在選択されてい なお、「カレンダーを初期 登録済みの稼働日を保持し	設定を行います。 ックを入れてください る年に適用されます。 化しない」にチェック 、追加で登録します。	[、] 。 7した場合、
曜日指定	□日曜日 □月曜日 □火曜日 □水曜日 □木曜日 □土曜日	
日初指定		
每月指定	1 2 3 4	
▶カレンダーを初期化しない		
	登録	キャンセル





- ③ 稼働日としたい項目にチェックを入れます。
- ④ 登録内容を確認し、「登録」ボタンを押下します。

表 4-2 稼働日指定項目

項目名	内容説明
曜日指定	チェックされている場合、稼働日(年)のすべての月を対象に、指定された曜日が稼働
	日として登録されます。
月初指定	↓ チェックされている場合、稼働日(年)のすべての月を対象に、月初(毎月1日)が稼
	働日として登録されます。
月末指定	↓ チェックされている場合、稼働日(年)のすべての月を対象に、月末(28 日、29 日、
	30日、31日のいずれか)が稼働日として登録されます。
毎月指定	チェックされている場合、稼働日(年)のすべての月を対象に、指定された日(複数日
	指定可)が稼働日として登録されます。
カレンダーを初期化しない	・ チェックされている場合、登録済みの稼働日を保持し、追加で稼働日を登録します。※
	デフォルトでチェックされています。

図 4-14 稼働日の登録

アーー カレンダー初期登録画面		×
カレンダーに稼働日の初期 稼働日としたい項目にチェ 稼働日は現在選択されてい なお、「カレンダーを初期 登録済みの稼働日を保持し	設定を行います。 ックを入れてください。 る年に適用されます。 化しない」にチェックした場合、 、追加で登録します。	
曜日指定	□ 日曜日 ▼ 月曜日 ▼ 火曜日 ▼ 水曜日 ▼ 木曜日 ▼ 淦曜日 □ 土曜日	
□月初指定 □月末指定		
每月指定		
□カレンダーを初期化しない		
	登録 キャンセル	



⑤ カレンダーの内容を確認し、「登録」ボタンを押下します。



図 4-15 年単位での条件指定による稼働日変更後

⑥ 編集登録確認ダイアログが表示されるので、「はい」ボタンを押下します。

図 4-16 編集登録確認ダイアログ





4.3 カレンダー削除

削除方法として、対象に応じて以下の方法があります。

① オブジェクトを選択します。

<個別カレンダーの全バージョンが対象の場合>

・オブジェクトー覧画面のオブジェクトツリーより「カレンダー」以下の個別オブジェクトを選択後、

メニューバーより「編集」-「削除」を選択するか、コンテキストメニューより「削除」を選択します。 <個別カレンダーの特定バージョンが対象の場合>

・ オブジェクトー覧画面のリストオブジェクトの一覧より特定バージョンのカレンダーを選択後、

メニューバーより「編集」-「削除」を選択するか、コンテキストメニューより「削除」を選択します。 ② 削除確認ダイアログが表示されるので、「はい」ボタンを押下します。

削除確認	×
データを削除します。よろしいですか?	?
はい() 「いいえ()」	





5 ジョブネット設定

5.1 ジョブネットとは

ジョブネットとは、実行順序を指定した単位ジョブや条件分岐、並列処理などジョブの集合体のことを指します。 フローチャートと同様の形式を採用し、各機能を持ったアイコンをドラッグ&ドロップで配置してジョブネットを 作成します。

また、Job Arranger では「ジョブ変数」と「ジョブコントローラ変数」という二種類の変数を使用することが出来 ます。これらを使用することで、定型化(部品化)したジョブネットが作成可能になり、色々なところでジョブネッ トの再利用が可能になります。

5.2 ジョブネット作成

5.2.1 ジョブネットの新規作成

オブジェクトー覧画面でオブジェクトツリーのジョブネット(ノード行含む)を選択し、メニューバーより「ファイル」-「新規追加」を選択するか、コンテキストメニューより「新規追加」を選択することで、初期状態のジョブ編 集画面が表示され、新規作成が行えます。



図 5-1 ジョブネット編集画面



5.2.2 情報エリアの各情報を入力

ジョブ編集画面の情報エリアにある以下の項目について入力します。

- ・ ジョブネット ID
- ジョブネット名
- ・説明
- ・公開チェックボックス

新規追加時はジョブマネージャが自動採番した仮のジョブネット ID で登録されているので、必要に応じて内容を変 更してください。公開チェックボックスをオンにした場合は「全てのユーザーで共通に利用できる」公開用ジョブネ ットになり、オフにした場合は「同一アクセスグループ内で利用できる」プライベート用ジョブネットとなります。 なお、ズームバーをスライドさせることにより、編集領域の表示倍率を変更することが可能です。



図 5-2 情報エリアの各項目





表	5-1	情報エリ	リアの	各項目	について
_					

項目名	形式	備考
ジョブネット ID	テキストボックス	ジョブネットを識別するIDを指定します。
	1	お規作成直後は初期値として「識別子(JOBNET_)+連番」の ID が
		自動採番されます。
		半角英数字、ハイフン(-)、アンダーバー(_)のみ使用可能です。重
	1	複登録不可です。半角 32 文字まで入力可能です。
ジョブネット名	テキストボックス	ジョブネットの名称を指定します
		ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナ、全角英数字、半角英数字、
	1	記号が使用可能です。全角 32 文字、半角 64 文字まで入力可能です。
説明	テキストボックス	ジョブネットについての説明を指定します。
		ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナ、全角英数字、半角英数字、
	1	- 記号が使用可能です。 全角 50 文字、 半角 100 文字まで入力可能です。
		省略可能です。
公開チェックボックス	チェックボックス	他のユーザーへの公開要否を指定します。



5.2.3 開始アイコンを追加

部品オブジェクト欄より開始(START)アイコンをドラッグして、編集領域(ジョブフロー領域)にアイコンを追加 します。

開始(START)アイコンは必須で作成する必要があるので、ジョブネットを作成する際は、開始(START)アイコンから追加していきます。



図 5-3 開始アイコンの配置



5.2.4 各アイコンを追加

部品オブジェクト欄より各アイコンをドラッグして、編集領域(ジョブフロー領域)にアイコンを追加します。 各アイコンの詳細については、「5.5 部品オブジェクトについて」をご参照ください。



図 5-4 各アイコンの配置



5.2.5 フロー(処理線)を追加

編集領域に配置されたアイコン間の処理の流れを示すためにフロー(処理線)を設定します。

フロー(処理線)は<Shift キー+クリック>、およびマウスによる範囲選択により2つのアイコンを選択後、コン テキストメニューより直線、または曲線フローを選択することで追加が行えます。

フローは最初に選択されたアイコンから次に選択されたアイコンへの流れ(矢印)が設定されます。マウスによる範囲選択の際に正しい方向へフローが設定されない場合は<Shiftキー+クリック>にてアイコンを選択してください。 なお、アイコンから見て前のアイコンから処理が渡されるフローを IN フローと呼び、次のアイコンへ処理を渡すフローを OUT フローと呼びます。



図 5-5 フロー (処理線) の追加



5.2.6 各アイコンの設定

編集領域に追加したアイコンをダブルクリックするか、アイコン選択後、コンテキストメニューより「設定」を選択し、アイコンの詳細設定を行います。詳しい設定項目については「5.5 部品オブジェクトについて」をご参照ください。

図 5	5-6	各ア-	イコ	ンの	設定
-----	-----	-----	----	----	----



5.2.7 終了アイコンを追加

部品オブジェクト欄より終了(END)アイコンをドラッグして、編集領域(ジョブフロー領域)にアイコンを追加します。

図 5-7 終了アイコンの配置





5.2.8 作成したジョブフローを登録する

ジョブネットの作成が完了後、作成したジョブフローを登録します。

なお、未設定のアイコンが存在する場合はジョブネットの登録が出来ません。

① ジョブ編集画面右下の登録ボタンを押下します。

Mm ンIフ編集画面 - JOB-SERVER	
ファイル(E) 編集(E) 表示(E) 美行(S) ヘルフ	(b)
	ユーザー名:JaEditor01
オブジェクト管理 ジョブ実行管理 実行	
オブジェクト管理 ジョブ実行管理 実行 ③ カレンダー (************************************	##表示 ンコンフーム・JACUUDUL ジョブネットD: ンOBNET_MANUAL_SAMPLE 公留: 催息: 更新可能 更新日: 2013/11/06 18:09:53 ジョブネット名: サンブルジョブネットです。 ユーザー名: JaEditor01 説明: サンブルジョブネットです。 ジョブ、冬中・小田山 変数 証語ジョブ」 START END 計算 1 タスク 備朝取得 ファイル経営 ファイル検査課 リブート山 保留解除 @ START END 計算 1 タスク 「原朝取得
JOBNET_103 JOBNET_110 JOBNET_122 JOBNET_147 JOBNET_167 JOBNET_524 JOBNET_524 JOBNET_67	
JOBNET_ERROR_TEST	登録 キャンセル

図 5-8 ジョブネットフローの登録

② 編集登録確認ダイアログが表示されるので、「はい」ボタンを押下します。

図 5-9 編集登録確認ダイアロ	グ
編集登録確認	\times
編集中のデータを登録します。よろしいです	th)?
【【【【【】】 いいえ(N】	



5.3ジョブネット編集

ジョブ編集ではアイコンおよびフローを選択することにより、コンテキストメニューで以下の各種操作が行えます。 コンテキストメニューでは選択したアイコンにより利用可能な操作が制限されます。 なお、ジョブネット編集画面ではコントロールキーにより以下の操作が可能です。

- ・ CTRL+C キーにより選択されたアイコンをコピーする。※1
- ・ CTRL+V キーによりコピーされたアイコンをペースト(貼り付け)する。※2
- ・ CTRL+Z キーにより、直前の操作を取り消して元の状態に戻す。

※1 コピー先に同一のジョブ ID が存在する場合は規定値で自動採番されます。

※2 CTRL+C キーによりコピーされたアイコンデータは他のジョブネットに貼り付けることが可能です。

図 5-10 ジョブネット編集画面でのコンテキストメニュー

ジョブ 条件 Im Im 変数 Im Im	
START 直線フロー(L) 曲線フロー(C) TRUE設定(D) FALSE設定(D) フロー削除(Q) 削除(Q) 設定(S) ジョブ起動(J) (保留(W) (保留)解除(L) スキップ(K) スキップ(K) スキップ(K)	
	>



5.3.1 直線フロー

【操作可能アイコン:全てのアイコンで利用可能】 選択された2つのアイコン間のフロー(処理線)を直線で接続します。 最初に選択したアイコンから次に選択したアイコンへ、処理の流れ(処理方向)が設定されます。

5.3.2 曲線フロー

【操作可能アイコン:全てのアイコンで利用可能】 選択された2つのアイコン間のフロー(処理線)を曲線で接続します。 最初に選択したアイコンから次に選択したアイコンへ、処理の流れ(処理方向)が設定されます。 曲線フロー(処理線)は時計回りに矢印が引かれます。上部から下部のアイコンへの処理線に関しては「右サイド」、 下部から上部のアイコンへの処理線に関しては「左サイド」に曲線フローが設定されます。

5.3.3 TRUE 設定

【操作可能アイコン:条件分岐アイコンで利用可能】 条件分岐アイコンに設定された OUT フローを対象に、条件を満たした場合に処理を行うフローを指定します。 なお、1つの条件分岐アイコンには1つの TRUE(フロー)を設定する必要があります。

5.3.4 FALSE 設定

【操作可能アイコン:条件分岐アイコンで利用可能】 条件分岐アイコンに設定された OUT フローを対象に、条件を満たさない場合に処理を行うフローを指定します。 なお、1つの条件分岐アイコンには1つの FALSE(フロー)を設定する必要があります。

5.3.5 フロー削除

【操作可能アイコン:全てのアイコンで利用可能】 選択されたフロー(処理線)を削除します。また、フローに設定された TRUE、FALSE 設定も同時に削除されます。

5.3.6 削除

【操作可能アイコン:全てのアイコンで利用可能】 選択されたアイコンを削除します。また、アイコンに接続された全てのフローも同時に削除されます。なお、一度 削除したアイコンの復活は行えません。複数のアイコンを選択して削除することも可能です。



5.3.7 設定

【操作可能アイコン:全てのアイコンで利用可能】 選択されたアイコンの各種設定を行います。 詳しい設定項目については「5.5 部品オブジェクトについて」をご参照ください。

5.3.8 ジョブ起動

【操作可能アイコン:ジョブアイコンで利用可能】 選択されたジョブアイコンを単体起動します。単体起動されたジョブアイコンは開始アイコンと終了アイコンが 自動で付加された仮ジョブネットにより即時起動されます。 なお、ジョブアイコンのホストにジョブコントローラ変数を指定している場合はエラーとなります。

5.3.9 保留

【操作可能アイコン:全てのアイコンで利用可能】 選択されたアイコンを事前に保留状態とします。保留設定されたアイコンはジョブネットの実行時に処理が保留 された状態となります。

5.3.10 保留解除

【操作可能アイコン:保留設定済みアイコンで利用可能】 選択されたアイコンの保留設定を解除します。

5.3.11 スキップ

【操作可能アイコン:条件分岐、並行処理、ループ、開始、終了、分岐終了アイコン以外のアイコンで利用可能】 選択されたアイコンを事前にスキップ状態とします。

5.3.12 スキップ解除

【操作可能アイコン:スキップ設定済みアイコンで利用可能】 選択されたアイコンのスキップ設定を解除します。



5.4ジョブネット削除

削除方法として、対象に応じて以下の方法があります。

① オブジェクトを選択します。

<個別ジョブネットの全バージョンが対象の場合>

- オブジェクトー覧画面のオブジェクトツリーより「ジョブネット」以下の個別オブジェクトを選択後、
 メニューバーより「編集」-「削除」を選択するか、コンテキストメニューより「削除」を選択します。
 <個別ジョブネットの特定バージョンが対象の場合>
 - オブジェクトー覧画面のリストオブジェクトの一覧より特定バージョンのジョブネットを選択後、
 メニューバーより「編集」-「削除」を選択するか、コンテキストメニューより「削除」を選択します。
- ② 削除確認ダイアログが表示されるので、「はい」ボタンを押下します。

削除確認	\times
データを削除します。よろしいですか	?

図 5-11 削除確認ダイアログ



5.5 部品オブジェクトについて

多様なジョブネットフローを構成するために、様々な機能を持った部品オブジェクトが存在します。 フロー(処理線)を除いたオブジェクトに関しては、ドラッグ&ドロップにて編集領域へ配置することが出来ます。



表 5-2 部品オブジェクト一覧





アイコン	名称	説明
		ジョブフロー内で呼び出す他のジョブネットを定義します。
		定義されたジョブネットは呼び出し元ジョブネットの一部として
		実行されます。
ジョブネット	ジョブネットアイコン	本アイコンはオブジェクトツリーよりジョブネット ID をドラッ
		グすると自動で追加され、ドラッグ後ジョブ名には選択されたジ
		ョブネット ID が自動で設定されます。
		なお、呼出し元と同じジョブネットは指定できません。
CTART	 問始マイコト	ジョブネットの開始を定義します。
START		ジョブネット内に1つのみ登録が可能となります。
	1	ジョブネットの終了を定義します。
	↓ 奴フマノコヽ	ジョブネット内に複数の終了アイコンを定義することは可能です
END		が、実際に処理が行われる終了アイコンは常に1つである必要が
		あります。
三倍	 =1.答っ ノ っ ヽ	数値演算、または日付計算のための計算式を定義します。
		計算結果は指定されたジョブコントローラ変数にセットします。
	1	ループ処理の結合点を定義します。
	1	本アイコンにより、フローによるループ処理が定義可能となりま
	ヽ ヽ ヽ 川プマイコヽ	す。
		通常の IN フローに加え、ループによる制御の戻りを示す IN フロ
		ーと、ループによる制御の開始を示す OUT フローを設定する必要
		があります。
	タスクアイコン	即時起動を行うジョブネットを定義します。
		指定されたジョブネットは呼出し元のジョブネットとは連携せ
< 920 >		ず、独立したジョブネットとして即時起動されます。
		なお、呼出し元と同じジョブネットは指定できません。
		また、ループによる繰り返し実行はできません。
	情報取得アイコン	他アイコンの状態値を取得します。
情報取得		取得したアイコンの状態(ステータス)は通常のジョブと同様に、
		戻り値による条件分岐アイコンでの処理分岐が可能です。
ファイル転送		転送ファイルの情報を定義します。
	ファイル転送アイコン	本アイコンは転送(コピー)対象となるファイルが存在するディ
		レクトリ(フォルダ)とファイル名、および転送先のディレクト
		リ(フォルダ)を定義します。
		なお、ファイル名に ASCII 文字以外を使用すると異なる OS 間
		(例えば Linux ⇔ Windows)での転送でエラーとなります。





アイコン	名称	説明
		ファイルの作成を待合せるファイル名を定義します。
		本アイコンは指定されたファイルが存在する(作成される)まで
ファイル待合せ	ファイル待合せアイコン	処理を待ち合わせます。なお、すでにファイルが存在する場合は
	1	待合せを行ないません。また、処理モードによりファイルの存在
		チェックのみ(待ち合わせなし)を行うことが可能です。
	リブートアイコン	リブートを行うホストと処理モードを定義します。
		・ 処理モードは「強制リブート」と「ジョブ待合せ後リブート」が
1 <u>,</u> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		あり、「ジョブ待合せ後リブート」を指定した場合は、待合せ時間
		(秒)の指定が可能となります。
保留解除	保留解除アイコン	保留解除の対象となるアイコン情報を定義します。
		本アイコンは指定されたアイコンの保留状態を解除します。保留
		解除の対象となるアイコンには他のジョブネットのアイコンも指
		定可能です。
		なお、保留解除の対象となるアイコンが保留されていない場合は
		エラーとなります。



5.5.1 ジョブアイコン

ジョブアイコンでは、実行対象となるスクリプト/コマンド情報などを登録します。

- ① 選択したジョブアイコンのコンテキストメニューより「設定」を選択します。
- ② ジョブアイコンの設定ダイアログが表示されます。



🌆 ジョブアイコンの設定 🛛 🔀
ジョブID: JOB-1 ジョブ名: バッチ実行
ホスト名: LinuxSever01 ○ 変数名: □
☑停止コマンド: /home/batch_kill.sh 実行
/home/batch_app_01 -r 123 -env xxxx
ジョブ変数:
BATCH_NAME batch_app_01
変数名: 值:
ジョフコントローラ変数: CURRENT_TIME JOBNET_BOOT_TIME JOBNET_ID TORNET_NAME
タイムアウト警告(分): 0 ジョブ停止コード: 1,129-255
 登録 キャンセル





③ 各項目について入力します。

項目名	形式	説明
ジョブ ID	テキストボックス	ジョブを識別する I Dを半角英数字と記号(ハイフン、アンダー
		バー)で指定します。アイコン配置直後は初期値として「識別子
		(JOB-)+連番」の ID が自動採番されます。
		半角英数字、ハイフン(-)、アンダーバー(_)のみ使用可能です。
		重複登録不可です。半角 32 文字まで入力可能です。
ジョブ名	テキストボックス	ジョブの名称を指定します。
		ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナ、全角英数字、半角英数
		字、記号が使用可能です。 全角 32 文字、半角 64 文字まで入力可
		能です。省略可能です。
ホスト	ラジオボタン	コマンドを実行するホスト(サーバ)を指定します。「ホスト名」
	リストボックス	と「変数名」の同時指定は行えません。
	テキストボックス	「ホスト名」は ZABBIX に登録済みのホストを選択します。
		「変数名」ではジョブコントローラ変数を指定し、変数からホス
		ト名を取得します。
		ASCII 文字のみ使用可能です。半角 128 文字まで入力可能です。
停止コマンド	チェックボックス	実行ジョブ詳細画面でアイコンの強制停止を行う際に実行するコ
	テキストボックス	マンドを指定します。
		(「7.4.3 アイコンの強制停止」 をご参照ください。)
	1	チェックボックスがオンの場合、指定された停止コマンドが実行
		されます。
		チェックボックスがオフの場合、KILL コマンド(SIGKILL)が実
	- 	行されます。
		ASCII 文字のみ使用可能です。 半角 4000 文字までの入力可能で
		す。省略可能です。

表 5-3 ジョブアイコンの設定項目





項目名	形式	説明
実行	テキストボックス	ジョブで実行対象となるコマンドを指定します。 なお、パラメータ付きのコマンドも指定可能です。 <記述例> ■単体コマンドを記述する場合 <u>実行</u> /home/userapp1
		※先頭に「#」をおく事でコメントの記述が可能です。 >実行
		# アプリ1実行 /home/userapp1
		■複数のコマンドを記述する場合
		実行 /home/userapp1 /home/userapp2
		※この場合、ジョブサーバが取得する戻り値は最後に実行された コマンドの戻り値となります。
		■ シェルを記述する場合(以下は c シェルの例) 実行
		#!/bin/csh setenv MY_NAME if (`echo \${MY_NAME}` == "") then echo -n "NO NAME" else _echo -n \$MY_NAME
		ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナ、全角英数字、半角英数 字、記号が使用可能です。全角 2000 文字、半角 4000 文字まで
		の人力可能です。





項目名	形式	説明
ジョブ変数	テキストボックス	コマンドに適用する変数名と値を指定します。
		リスト下部の入力エリアに変数名、および値を指定し、追加ボタ
		ンを押下することにより、変数の追加が行えます。
		なお、ここで指定したジョブ変数はジョブコントローラ変数とは
		違い、当該ジョブアイコン内のみで使用可能なローカル環境変数
		となります。
		利用者が定義したジョブコントローラ変数値をユーザーコマンド
		に渡したい場合、ジョブ変数の[値]欄に<\$ジョブコントローラ変
		数名>を指定することで通知可能です。
		※ジョブ変数にジョブコントローラ変数と同じ変数名を指定した
		場合、ジョブ変数の値が採用されます。
		ASCII 文字のみ使用可能です。 変数名は半角 128 文字まで入力可
		能です。変数値は半角 4000 文字までの入力可能です。
ジョブコントローラ変数	チェックボックス	ジョブコントローラが提供する変数の利用可否を指定します。チェ
		ックされた変数はコマンドで利用可能となります。
		※利用可能なジョブコントローラ変数については
		「表 5-4 ジョブコントローラ変数一覧」をご参照ください。
タイムアウト警告	テキストボックス	タイムアウト警告メッセージを出力するまでの時間を分単位(1~
		99999)で示します。(警告無し場合は 0 となります)
		指定された時間(分)を経過してもジョブが終了しない場合、ア
		イコンの色が橙色に変化し、警告メッセージをログに出力します。
		なお、タイムアウト後も処理は継続します。
		半角数字のみ使用可能です。5 桁まで入力可能です。
ジョブ停止コード	テキストボックス	ジョブの停止条件となる戻り値を指定します。指定された戻り値
		を検出した場合、ジョブ(アイコン)を停止します。
		カンマ(,)での複数指定、およびハイフン(-)での範囲指定が可
	1	能です。
		半角数字、カンマ(,)、ハイフン(-)のみ使用可能です。半角 32
		文字まで入力可能です。省略可能です。
強制実行	チェックボックス	ホストが無効の場合でも処理を継続することを指定します。
		チェックされていない場合、ホストが無効の場合はコマンドの実
		行を行わず、アイコンがエラー停止します。





表 5-4 ジョブコントローラ変数一覧

変数	タイプ	内容	変数値
CURRENT_TIME	数値	ジョブ(アイコン)実行時の現在	例)アイコンの実行時間が 2013 年 12 月 31
		時刻を示します。	日 AM9:30:00 の場合、
		(YYYYMMDDHHMMSS)	「20131231093000」が格納されます。
JOBNET_BOOT_TIME	数値	ジョブネットの起動時刻を示しま	例)ジョブネットの起動時刻が 2013 年 12
		す。	月 31日 AM9:00の場合、
		(YYYYMMDDHHMM)	「201312310900」が格納されます。
JOBNET_ID	文字列	自アイコンが所属するジョブネッ	例)ジョブネット ID が JOBNET-1 の場合、
		ト ID を示します。	「JOBNET-1」が格納されます。
JOBNET_NAME	文字列	自アイコンが所属するジョブネッ	例)ジョブネット名がテストジョブの場合、
		ト名を示します。	「テストジョブ」が格納されます。
JOB_EXIT_CD	数値	ジョブの戻り値を示します(0~	例) 拡張ジョブ (曜日判断:火曜) で指定され
		255)	た曜日が現在の曜日と一致した場合、
		※拡張ジョブ(曜日判断)の具体	「3」が格納されます。
	1	的な取得値については「表 5-8 拡	
		張ジョブ一覧」をご参照ください。	
JOB_ID	文字列	自アイコンのジョブ ID を示しま	例)ジョブ ID が IF-1 の場合、「IF-1」が格
	1	す。	納されます。
JOB_NAME	文字列	自アイコンのジョブ名を示しま	例)ジョブ名が条件分岐の場合、「条件分岐」
		す。	が格納されます。
LAST_STATUS	数値	情報取得アイコンで取得した値を	例) 情報取得アイコンで取得したジョブ状態
		示します。	が「実行中」だった場合、「2」が格納されま
		※具体的な取得値については「表	す。
	1	5-12 情報取得アイコンの設定項	
		目」をご参照ください。	
MANAGEMENT_ID	数値	実行中のジョブネットを識別する	例)ジョブネットを即時起動した場合、
	1	管理 ID を示す。	「150000000000000001」が格納されま
			す。
STD_ERR	文字列	ジョブアイコンに登録されたコマ	例)unama コマンドを指定した場合、
	1	ンド、およびスクリプトが出力す	「unama: command not found」が格納さ
	1	る、エラー出力の文字列を示しま	れます。
		す。(複数行のデータも通知)	
STD_OUT	文字列	ジョブアイコンに登録されたコマ	例)uname コマンドを指定した場合、
		ンド、およびスクリプトが出力す	「Linux」が格納されます。
		る、標準出力の文字列を示します。	
		(複数行のデータも通知)	





変数	タイプ	内容	□変数値
USER_NAME	文字列	ジョブネットを作成したユーザー	例)Test01 ユーザーで作成した場合、
		名を示します。	「Test01」が格納されます。

④ 入力内容を確認し、「登録」ボタンを押下します。



5.5.2 条件分岐アイコン

条件分岐アイコンでは、ジョブコントローラ変数の値によって条件分岐するための条件値(比較値)の登録をします。

(1). 条件分岐アイコンの使用例
 条件分岐アイコンでは1本の通常フロー(IN フロー)と、TRUE フローおよび FALSE フローの2本の OUT フロー(条件フロー)を設定します。条件フローは予め設定した通常フローに対し、条件フローの種類(TRUE、および FALSE)を指定することで登録します。

条件フローによる分岐したフローの収束(結合)には条件分岐終了アイコンを使用します。

(2). 条件分岐アイコンの設定

① 選択した条件分岐アイコンのコンテキストメニューより「設定」を選択します。

② 条件分岐アイコンの設定ダイアログが表示されます。

<mark>/┉ 条件分岐</mark> ア	イコンの設定	×	
ジョブID :	IF-1		
ジョブ名:	ジョブ実行結果チェック		
変数名:	JOB_EXIT_CD		
処理方法:	数値		
比較値:	0		
	登録 キャンセル		

図 5-13 条件分岐アイコンの設定



③ 各項目について入力します。

項目名	形式	説明
ジョブ ID	テキストボックス	ジョブを識別する I Dを半角英数字と記号(ハイフン、アンダーバー)で指定
		します。
	1	¦アイコン配置直後は初期値として「識別子(IF-)+連番」の ID が自動採番さ
		れます。
		半角英数字、ハイフン(-)、アンダーバー(_)のみ使用可能です。重複登録
		不可です。
		│ 半角 32 文字まで入力可能です。
ジョブ名	テキストボックス	ジョブの名称を指定します。
		・ - ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナ、全角英数字、半角英数字、記号が使
	1	用可能です。全角 32 文字、半角 64 文字まで入力可能です。
		省略可能です。
変数名	テキストボックス	比較元となるジョブコントローラ変数を指定します。
	1	ASCII 文字のみ使用可能です。半角 128 文字まで入力可能です。
処理方法	リストボックス	比較対象となる変数が、数値か文字列かを指定します。
比較値	テキストボックス	条件が TRUE となる値を指定します。
		なお、比較条件は等価(=)となります。
		■処理方法「数値」の場合
		, 数値ではカンマ(,)での複数指定、およびハイフン(-)での範囲指定が可能
		です。半角数字、カンマ(,)、ハイフン(-)のみ使用可能です。半角 4000
		文字まで入力可能です。
		範囲指定例: 1,3,129-255
	1	■処理方法「文字列」の場合
		マ字列では変数に指定された文字列が含まれている場合、TRUE となります。
		※完全一致させたい場合は「^文字列\$」と記述してください。
		、 文字列では正規表現が利用可能です。ASCII文字のみ使用可能です。半角4000
		文字まで入力可能です。
		正規表現例: abc[a-z][0-9]def?g.*
		※ジョブコントローラ変数毎の値に関しては、「表 5-4 ジョブコントローラ
	1	変数一覧」「表 5-8 拡張ジョブ一覧」「表 5-12 情報取得アイコンの設定項目」
		- をご参照ください。

表 5-5 条件分岐アイコンの設定項目

④ 入力内容を確認し、「登録」ボタンを押下します。


5.5.3 並行処理アイコン

並行処理アイコンは、処理を並行で実行する際に指定する並行処理の分岐点を定義します。

(1). 並行分岐アイコンの使用例
 並行処理アイコンは開始アイコンと終了アイコンをセットで使用します。
 並行処理アイコン間では1本以上の通常フロー(処理線)を追加することが可能です。

図 5-14 並行処理アイコンの使用例



(2). 並行分岐アイコンの設定

並行処理アイコンの設定については、「5.5.11 その他のアイコン」をご参照ください。



5.5.4 ジョブコントローラ変数アイコン

ジョブコントローラ変数アイコンでは、既存のジョブコントローラ変数(「表 5-4 ジョブコントローラ変数一覧」 参照)に加えて、任意のジョブコントローラ変数を登録することが出来ます。

登録されたジョブコントローラ変数は、後続の全てのジョブに対し利用可能な共通の環境変数として使用可能となります。

補足として、ジョブアイコンで設定するジョブ変数はそのジョブアイコンでのみ使用可能となります。

(1). ジョブコントローラ変数アイコンの使用例

ジョブコントローラ変数アイコンの使用例については、「5.5.7 1.ループアイコンの使用例」をご参照ください。

- (2). ジョブコントローラ変数アイコンの設定
 - ① 選択したジョブコントローラ変数アイコンのコンテキストメニューより「設定」を選択します。
 - ② ジョブコントローラ変数アイコンの設定ダイアログが表示されます。

义	5-15	ジョフ	「コン	トローラ変数の設定
---	------	-----	-----	-----------

jan	ジョブコント	トローラ変数アイコ	ンの設定	×
	ジョブID :	ENV-1		
	ジョブ名:	バッチ変数定義		
	ジョブコント			_
	変数名	値		
	BATCH_PA	SS /home/batch		^
	BATCH_TE	MP /tmp		
	BATCH_US	ER \$USER_ID		
				×.
	変数名:	值:		
			削除 追加	
			登録 キャンセル	



表 5-6 ジョブコントローラ変数の設定項目

項目名	形式	説明
ジョブ ID	テキストボックス	ジョブを識別する I Dを半角英数字と記号 (ハイフン、アンダーバ
	l l	ー)で指定します。
		アイコン配置直後は初期値として「識別子(ENV-)+連番」の ID
		が自動採番されます。
	l I	半角英数字、ハイフン(-)、アンダーバー(_)のみ使用可能です。
		重複登録不可です。半角 32 文字まで入力可能です。
ジョブ名	テキストボックス	ジョブの名称を指定します。
	l L	ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナ、全角英数字、半角英数字、
		記号が使用可能です。全角 32 文字、半角 64 文字まで入力可能で
		す。省略可能です。
ジョブコントローラ変数	テキストボックス	後続のジョブに適用するジョブコントローラ変数名と値を指定し
		ます。
		変数はリスト下部の入力エリアに変数名、および値を指定し、追加
		ボタンを押下することにより、追加されます。
	l I	なお、一覧より登録済みの変数をクリックし、テキストボックスに
		表示された値を変更後に追加ボタンを押下する事で値の変更が可
		能です。
	l L	ジョブコントローラ変数の値には他のジョブコントローラ変数名
		を指定可能です。ジョブコントローラ変数名を指定する際には変数
		名に「\$」を付けた形式(\$ジョブコントローラ変数名)で指定し
	1	ます。
		ASCII 文字のみ使用可能です。 変数名は半角 128 文字まで入力可
		能です。変数値は半角 4000 文字までの入力可能です。



5.5.5 拡張ジョブアイコン

拡張ジョブアイコンでは、ジョブコントローラが提供する各種拡張機能(拡張ジョブ)の選択と、拡張ジョブに 対する各種パラメータを登録します。

- (1). 拡張ジョブアイコンの設定
 - ① 選択した拡張ジョブアイコンのコンテキストメニューより「設定」を選択します。
 - ② 拡張ジョブアイコンの設定ダイアログが表示されます。

図 5-16 拡張ジョブアイコンの設定

カーー 拡張ジョブア	イコンの設定	×			
ジョブID :	EXTJOB-1]			
ジョブ名:	定時刻待合せ				
拡張ジョブ:	時刻待合せ (TIME)				
パラメータ :	1400				
説明 指定された時 HHMM(0000	刻まで処理を待合せします。パラメータに待合せ時刻を ~9959) の形式で指定してください。				
登録 キャンセル					





表!	5-7	拡張ジョ	ブアイ	コンの	設定項目
----	-----	------	-----	-----	------

項目名	形式	説明
ジョブ ID	テキストボックス	ジョブを識別する I Dを半角英数字と記号 (ハイフン、アンダーバ
	1	ー)で指定します。
		アイコン配置直後は初期値として「識別子(EXTJOB-)+連番」
		のIDが自動採番されます。
	1	半角英数字、ハイフン(-)、アンダーバー(_)のみ使用可能です。
		重複登録不可です。半角 32 文字まで入力可能です。
ジョブ名	テキストボックス	ジョブの名称を指定します。
	1	ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナ、全角英数字、半角英数字、
		記号が使用可能です。 全角 32 文字、半角 64 文字まで入力可能で
		す。省略可能です。
拡張ジョブ	リストボックス	利用する拡張ジョブを選択します。(表 5-8 参照)
パラメータ	テキストボックス	拡張ジョブに通知する個別のパラメータを指定します。
		パラメータは半角スペース区切りの文字列で指定します。
	i 1	なお、パラメータにジョブコントローラ変数の値を使用したい場合
		は、<\$ジョブコントローラ変数名>を指定してください。
		ASCII 文字のみ使用可能です。最大 4000 文字まで入力可能です。





拡張ジョブ名	パラメータ	内容
時間待合せ	待合せ時間を秒単位で指定。	指定された秒数分、処理を待ち合わせます。
(SLEEP)	入力例)	なお、パラメータに「0」を指定すると、待
	 拡張ジョブ 時間待合せ(SLEEP) パラメータ: 30 説明 指定された秒数の間だけ処理を待合せします。パラメータに待合せ 時間を秒単位0~999999)で指定してください。 	合せを行いません。
時刻待合せ	「実行開始時刻を時分(HHMM)で指定。	- ジョブネットの起動した日付を基点に、指
(TIME)	入力例)	定された時刻(0000~9959の24時間表
	拡張ジョブ 時刻将合せ(TIME) ▼	記)まで処理を待ち合わせます。なお、ジ
	パラメータ: 1400	ョブネットの起動時刻より過去の時間を指
	EXAMP	定すると待合せを行いません。
	1000 指定された時刻まで処理を待合せします。バラメータに待合せ時刻 を HHMM0000~9959)の形式で指定してください。	24 時間以上の時刻が指定されている場合、
		ジョブネットの起動日付から 24 時間以上
		の待ち合わせを行います。
		(例:ジョブネットの起動日付が
		「2012/01/01」で、時刻に「2700」が指
		定された場合、翌日の3:00
		(2012/01/02 3:00)まで待ち合わせす
	 	る。)
曜日判断	- チェック対象の曜日を指定。(省略可) -	指定された曜日が現在の曜日と一致する場
	日曜:Sun、月曜:Mon、火曜:Tue、	□ 合 、 ジ ョ ブ コ ン ト ロ ー ラ 変 数 □
	,水曜:Wed、木曜:Thu、金曜:Fri、 !	(JOB_EXIT_CD)に一致した曜日(※)
	十 土曜:Sat	を戻します。曜日が一致しない場合、ジョ
		」ブコントローラ変数に「0」を戻します。(パ
	I 孤玩長ショフ B曜日判断 I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	■ ラメータには複数の曜日が指定可能。その
		場合は半角スペースで区切る)
		」なお、ハラメータか省略された場合、現在 「 の ¹¹³ ロナスタリーナナ
	アイーンスにすめの曜日かね定された曜日と一致するかを刊切します。 す。パラメータに比較したい曜日 Sun, Non, Tue, Wed, Thu, Fri Sat) を指定してください。曜日は複数指定が可能です。	の唯日を通知します。 、11月日にいての体で活知されます。
		曜:5、金曜:6、土曜:7

表 5-8 拡張ジョブ一覧





拡張ジョブ名	パラメータ	内容
Zabbix 通知	Zabbixの sender に通知する以下のパラメータを指	Zabbix の Sender コマンドの呼出しによ
(zabbx_sender)	定。	る、Zabbix への即時通知を行います。
	-z : Zabbix サーバ IP アドレス	なお、本機能を利用する際には、Zabbix に
	-p : Zabbix サーバポート番号	ホスト、アイテム、トリガー、アクション
	- -s : ジョブエージェントのホスト名	などを事前登録しておく必要があります。
	-k : アイテムキー	
	-o : "通知内容(值)"	
	入力例)	
	拡張ジョブ Zabbix通知(zabbix_sender) ▼	
	パラメータ: -z **** ******* -p 10051 -s Testserver -k zabbix_sender -o "[INFO] zabbix_sender EXTJOB RUNNING TEST 7"]	
	説明 Zabbix senderの呼出しを行います。パラメータに zabbix sender コマンドに渡すパラメータを指定してください。例:-z Zabbixホス ト名 - Zabbixボート番号 -s ホスト名 -k アイテムキー -o * 通	



5.5.6 終了アイコン

終了アイコンでは、ジョブネットの戻り値を指定します。

- ① 選択した終了アイコンのコンテキストメニューより「設定」を選択します。
- ② 終了アイコンの設定ダイアログが表示されます。



រតា 終了アイコンの設定	×
ジョブID: END-1	
ジョブ名: 正常終了	
ジョブネット停止: 📃	
終了コード (JOB_EXIT_CD): 0	
登録 キャンセル	

③ 各項目について入力します。

表 5-9 終了アイコンの設定項目

項目名	形式	説明
ジョブ ID	テキストボックス	ジョブを識別する I Dを半角英数字と記号(ハイフン、アンダーバー)
		で指定します。
	I I	・ アイコン配置直後は初期値として「識別子(END-)+連番」の ID が自
	I I	動採番されます。
		半角英数字、ハイフン(-)、アンダーバー(_)のみ使用可能です。重複
		登録不可です。半角 32 文字まで入力可能です。
ジョブ名	テキストボックス	ジョブの名称を指定します。
		ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナ、全角英数字、半角英数字、記
	1	号が使用可能です。全角 32 文字、半角 64 文字まで入力可能です。省略
	I I	可能です。
ジョブネット停止	チェックボックス	ジョブネットの停止を指定します。チェックした場合、終了アイコンが
	1	事前保留状態となります。
	l l	条件分岐アイコンのエラー判断などにより、ジョブネットを異常終了さ
		せる場合、この項目にチェックを入れることでジョブネットを停止し、
	1	原因調査等の確認作業ができるようになります。
終了コード	テキストボックス	ジョブネット終了時の戻り値(0~255)を示します。(初期値:0)
	I I	│ 半角数字のみ使用可能です。3 桁まで入力可能です。



5.5.7 ループアイコン

ループアイコンは、ループ処理の結合点を定義します。

本アイコンにより、フローによるループ処理が定義可能となります。

(1). ループアイコンの使用例

ループアイコンではループの開始点を設定します。

ループアイコンでは2本の IN フローと1本の OUT フローを設定します。

ジョブコントローラ変数、計算、ループアイコンを組み合わせることで指定回数分、処理をループすることが 可能となります。

図 5-18 ループアイコンの使用例



(2). ループアイコンの設定

ループアイコンの設定については、「5.5.11 その他のアイコン」をご参照ください。



5.5.8 計算アイコン

計算アイコンでは、計算方法と計算式、および結果を格納する変数を登録します。

(1). 計算アイコンの使用例

計算アイコンの使用例については、「5.5.7 (1)ループアイコンの使用例」をご参照ください。

- (2). 計算アイコンの設定
 - ① 選択した計算アイコンのコンテキストメニューより「設定」を選択します。
 - ② 計算アイコンの設定ダイアログが表示されます。

図 5-19 計算アイコンの設定

🏧 計算アイコ	しの設定	×		
ジョブID:	CAL-1			
ジョブ名: カウントアップ				
一計算方法一				
 	算 🔾 時刻計算			
計算式:	\$CNT + 1			
変数名:	CNT			
	登録 キャンセル			



表	5-10	計算ア・	イコンの)設定項目
---	------	------	------	-------

項目名	形式	説明
ジョブ ID	テキストボックス	ジョブを識別する I Dを半角英数字と記号(ハイフン、アンダーバー)で指
		定します。
		アイコン配置直後は初期値として「識別子(CAL-)+連番」の ID が自動採
	1	番されます。
		半角英数字、ハイフン(-)、アンダーバー(_)のみ使用可能です。重複登録
		不可です。半角 32 文字まで入力可能です。
ジョブ名	テキストボックス	ジョブの名称を指定します。
		ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナ、全角英数字、半角英数字、記号が
		使用可能です。 全角 32 文字、 半角 64 文字まで入力可能です。 省略可能です。
計算方法	ラジオボタン	数値による算術演算か、時刻計算かを指定します。
計算式	テキストボックス	整数計算では数値による式を指定します。書式は expr コマンドに準拠しま
		उ .
	1	- - 時刻計算では日付、および時刻の加減算を行う式を指定します。
		│ │書式は「date -d」コマンドに準拠します。但し、以下の形式により時刻フォ
		ーマット(表示形式)が指定可能です。
		書式 : 「d オプション値」+「;」+「表示形式」
		↓計算式にジョブコントローラ変数の値を使用したい場合は、<\$ジョブコント
		ローラ変数名>を指定してください。
		ASCII 文字のみ使用可能です。半角 100 文字まで入力可能です。
		例1:カウンタ変数のカウントアップ(整数計算)
		[\$CNT + 1]
		例2:現在日付から3日後の日付を取得(時刻計算)
		[3 days]
	1	例3:現在時刻から1時間前の時間を時分形式で取得(時刻計算)
	1	[1 hours ago;%H%M]
変数名	テキストボックス	計算結果を格納するジョブコントローラ変数名を指定します。
	1	ASCII 文字のみ使用可能です。半角 128 文字まで入力可能です。



5.5.9 タスクアイコン

タスクアイコンでは、タスクとして単体起動するジョブネット ID を登録します。

起動されたジョブネットは呼出し元のジョブネットとは連携せず、独立したジョブネットとして即時起動されます。

- ① 選択したタスクアイコンのコンテキストメニューより「設定」を選択します。
- ② タスクアイコンの設定ダイアログが表示されます。

図 5-20 タスクアイコンの設定

🏧 タスクアイコン	の設定 (×
ジョブID :	TASK-1]
ジョブ名:	他ジョブネット起動]
ジョブネットIC	D: JOBNET_EXTERNAL_COMMON	
ジョブネット名	: 外部共通処理ジョブネット	
	登録 キャンセル	

③ 各項目について入力します。

表 5-11 タスクアイコンの設定項目

項目名	形式	説明
ジョブ ID	テキストボックス	┆ ジョブを識別するⅠ Dを半角英数字と記号(ハイフン、アンダーバー)で指
		定します。
		アイコン配置直後は初期値として「識別子(TASK-)+連番」の ID が自動
		採番されます。
		半角英数字、ハイフン(-)、アンダーバー(_)のみ使用可能です。重複登
		録不可です。半角 32 文字まで入力可能です。
ジョブ名	テキストボックス	ジョブの名称を指定します。
		ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナ、全角英数字、半角英数字、記号が
		使用可能です。 全角 32 文字、 半角 64 文字まで入力可能です。 省略可能です。
ジョブネット ID	リストボックス	L 起動対象となるジョブネット ID を選択します。
		なお、呼出し元と同じジョブネットは指定できません。



5.5.10 情報取得アイコン

情報取得アイコンでは、稼働状況の取得対象となるアイコン(ジョブ ID)を登録します。

(1). 情報取得アイコンの使用例

情報取得アイコンの使用例については、「5.5.5(1)拡張ジョブアイコンの使用例」をご参照ください。 ① 情報取得アイコンの設定

図 5-21 情報取得アイコンの設定

▶ 「「「「「「「」」」」を示す。 「「」」 「「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」
ジョブID: INFO-1
ジョブ名: ジョブステータス取得
情報種別: ジョブ状態 ✔
ジョブ情報
ジョブID: JOB-1
カレンダー情報
カレンダーID: 🗸
カレンダー名:
登録 キャンセル





表 5-12 情報取得アイコンの設定項目

項目名	形式	説明
ジョブ ID	テキストボックス	· ジョブを識別する I Dを半角英数字と記号(ハイフン、アンダーバー)で指
		と 定します。
		アイコン配置直後は初期値として「識別子(INFO-)+連番」の ID が自動
		採番されます。
	1	半角英数字、ハイフン(-)、アンダーバー(_)のみ使用可能です。重複登
		└ 録不可です。半角 32 文字まで入力可能です。
ジョブ名	テキストボックス	ジョブの名称を指定します。
	1 1	ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナ、全角英数字、半角英数字、記号が
		│ 使用可能です。全角 32 文字、半角 64 文字まで入力可能です。省略可能です。
情報種別	リストボックス	取得する情報の種別を指定します。
		- 指定可能な種別は、「ジョブ状態」と「稼働日」となります。
		なお、取得値はジョブコントローラ変数「LAST_STATUS」に格納されます。
		【ジョブ状態の場合】
		未実行:0、実行準備:1、実行中:2、正常終了:3、実行エラー:4、
	1	異常終了:5、強制終了:6
		【稼働日の場合】
		非稼働日:0、稼働日:1
ジョブ情報	テキストボックス	└ 情報種別が「ジョブ状態」の場合、取得対象となるジョブ ID を指定します。
		指定可能なジョブ ID は自ジョブネットと、自ジョブネットから呼び出され
		るジョブネット(サブジョブネット)に所属するジョブが対象となります。
	1	・ サブジョブネットのジョブを指定する場合は、以下の形式で記述します。
		└ └ 「ジョブネットアイコンのジョブ ID/サブジョブネットの対象ジョブ ID」
		※サブジョブネットが複数階層に至る場合、スラッシュ(/)で続けて記述す
		る事が可能です。
	1 1	入力例) 4 階層目の[JOB-1]のステータスを取得したい場合
		[JOBNET-1/JOBNET-2/JOBNET-3/JOB-1]
		半角英数字、ハイフン(-)、アンダーバー(_)、スラッシュ(/)のみ使用可
	I.	能です。半角 1024 文字まで入力可能です。
カレンダー情報	リストボックス	「情報種別が「稼働日」の場合、取得対象となるカレンダーID を指定します。
		指定可能なカレンダーID は自ユーザー名、および同じユーザーグループに所
	1	- 属するユーザーが作成したカレンダーと公開カレンダーになります。



5.5.11 ジョブネットアイコン

ジョブネットアイコンは既存のジョブネットを自身のサブジョブネットとして呼び出し、使用することが出来ます。 ジョブネットアイコン実行時、すべてのジョブコントローラ変数は呼び出されるサブジョブネットに渡されます。 なお、サブジョブネットのジョブコントローラ変数は親ジョブネットに戻されません。

ジョブネットアイコン設定では登録されたジョブネット ID とジョブネット名を表示し、ジョブ ID とジョブ名を登録します。

(1). ジョブネットアイコンの使用例

ジョブネットアイコンはジョブフロー作成時、他のアイコンの様に部品オブジェクト欄よりドラッグして配置 するのではなく、オブジェクトツリーの個別ジョブネットをドラッグして配置します。



図 5-22 ジョブネットアイコンの使用例



- (2). ジョブネットアイコンの設定
 - ① 選択したジョブネットアイコンのコンテキストメニューより「設定」を選択します。
 - ② ジョブネットアイコンの設定ダイアログが表示されます。

• ジョブネットア	イコンの設定
ジョブID :	JOBNET-1
ジョブ名:	JOBNET_EXTERNAL_COMMON
ジョブネットID	: JOBNET_EXTERNAL_COMMON

図 5-23 ジョブネットアイコンの設定

ジョブID :	JOBNET-1
ジョブ名:	JOBNET_EXTERNAL_COMMON
ジョブネットID	: JOBNET_EXTERNAL_COMMON
ジョブネット名	: 外部共通処理ジョブネット
	登録 キャンセル

表!	5-13	ジョブネッ	トアイコン	ンの設定項目
----	------	-------	-------	--------

項目名	形式	
ジョブ ID	テキストボックス	ジョブを識別するIDを半角英数字と記号(ハイフン、アンダーバー)で指定し
	1	ます。
		アイコン配置直後は初期値として「識別子(JOBNET-)+連番」の ID が自動採
		番されます。
		半角英数字、ハイフン(-)、アンダーバー(_)のみ使用可能です。半角 32 文字
	1	まで入力可能です。
	1	重複登録不可です。
ジョブ名	テキストボックス	ジョブの名称を指定します。
	1	初期値として呼び出し先のジョブネット ID がセットされます。
		ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナ、全角英数字、半角英数字、記号が使用
		可能です。全角 32 文字、半角 64 文字まで入力可能です。省略可能です。



5.5.12 ファイル転送アイコン

ファイル転送アイコンは対象ファイルをホスト間で転送させることが出来ます。

転送可能な最大ファイルサイズは1ファイル2GBまでとなります。

なお、ファイル名に ASCII 文字以外(日本語など)を使用した場合、異なる OS 間(Linux⇔Windows など)での ファイル転送は行えません。(実行時にエラーとなります)

ファイル転送アイコン設定では転送元のホストとファイル情報、および転送先のホストとディレクトリを登録します。

① 選択したファイル転送アイコンのコンテキストメニューより「設定」を選択します。

② ファイル転送アイコンの設定ダイアログが表示されます。

▶ ファイル転送フ	アイコンの設定
ジョブID: F	FCOPY-1
ジョブ名: 7	(ッチファイル転送
転送元ホストー	
● ホスト名:	LinuxSever01
○ 変数名:	
転送元ファイル	情報
ディレクトリ:	/home/data
ファイル名:	batch_file.dat
〜転送先ホストー	
○ ホスト名:	✓
● 変数名:	HOST_NAME
転送先ディレク	トリ情報
ディレクトリ:	C:¥転送データ¥
▶上書きを許	可する :
□强制実行	
	登録 キャンセル

図 5-24 ファイル転送アイコンの設定



項目名	形式	説明
ジョブ ID	テキストボックス	ジョブを識別する I Dを半角英数字と記号(ハイフン、アンダーバー)
		で指定します。
	1	¦アイコン配置直後は初期値として「識別子(FWAIT-)+連番」の ID
		が自動採番されます。
		半角英数字、ハイフン(-)、アンダーバー(_)のみ使用可能です。重
	1	複登録不可です。半角 32 文字まで入力可能です。
ジョブ名	テキストボックス	ジョブの名称を指定します。
		ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナ、全角英数字、半角英数字、記
		号が使用可能です。全角 32 文字、半角 64 文字まで入力可能です。省
		略可能です。
転送元ホスト	リストボックス	転送元となるファイルが存在するホスト(サーバ)を指定します。「ホ
	テキストボックス	- スト名」と「変数」の同時指定は行えません。 -
		「ホスト名」では Zabbix に登録済みのホストを選択します。
		「変数名」ではホスト名が格納されたジョブコントローラ変数を指定し
		ます。
	1	ASCII 文字のみ使用可能です。半角 128 文字まで入力可能です。
転送元ファイル情報	テキストボックス	転送元になるファイル情報を指定します。
		「ディレクトリ」には転送元のファイルが存在するディレクトリ(フォ
		ルダ)をフルパスで指定します。
		「ファイル名」には転送対象となるファイル名を指定します。
		なお、ファイル名には以下のワイルドカードが利用可能です。
		「*」任意の文字列
		「?」任意の一文字
		- 全角カタカナ、半角カタカナ、全角英数字、半角英数字、記号が使用可 -
		能です。半角 1024 文字まで入力可能です。
		※転送元情報と転送先情報に同一ホストの同じディレクトリを指定す
		ると実行時にエラーとなります。
転送先ホスト	リストボックス	転送先となるファイルが存在するホスト(サーバ)を指定します。「ホ
	テキストボックス	スト名」と「変数」の同時指定は行えません。
		「木スト名」では Zabbix に登録済みの木ストを選択します。
	1 1	「変数名」ではホスト名が格納されたジョブコントローラ変数を指定し
		ます。
		ASCII 文字のみ使用可能です。半角 128 文字まで入力可能です。

表 5-14 ファイル転送アイコンの設定項目





項目名	形式	説明
転送先ディレクトリ情	テキストボックス	- ファイルの転送先ディレクトリと上書き許可を指定します。
報	チェックボックス	転送先に同一ファイル名が一つでも存在する場合、エラーとなります。
		ファイルの上書きを許可する場合は「上書きを許可する」をチェックし
	- 	ます。
	1	└ ※上書きが許可されていない場合、同一ファイル名のファイルが存在し
		た場合にエラーとなりますが、複数のファイルが転送対象となっている
		場合は同一ファイル名を検出した時点でエラーとなるため、すでに転送
	l I	が完了したファイルは転送済みの状態となります。
		- 全角カタカナ、半角カタカナ、全角英数字、半角英数字、記号が使用可
		能です。半角 1024 文字まで入力可能です。
強制実行	チェックボックス	ホストが無効の場合でも処理を継続することを指定します。
		チェックされていない場合、ホストが無効の場合はファイル転送を行わ
		ず、アイコンがエラー停止します。



5.5.13 ファイル待合せアイコン

ファイル待合せアイコンは対象ファイルが生成(作成)されるまで処理を待合せます。また、ファイルの存在 チェック(待ち合わせなし)を行うことも可能です。

- ファイル待合せアイコン設定ではホストと対象ファイル情報、および処理モードを登録します。
 - ① 選択したファイル待合せアイコンのコンテキストメニューより「設定」を選択します。
 - ② ファイル待合せアイコンの設定ダイアログが表示されます。

^{Jam} ファイル待合せアイコンの設定	×
ジョブID: FWAIT-1	
ジョブ名: ファイル生成監視	
_ txt	_
 ホスト名: LinuxSever01 	~
○ 変数名:	
ファイル名: /home/data/batch_file.dat	
∼処理モード	h
● ファイル待合せ ○ ファイル存在チェック	
□ファイル削除: 待合せ時間(秒): 0	
□強制実行	
登録 キャンセ	ıL

図 5-25 ファイル待合せアイコンの設定



項目名	形式	説明
ジョブ ID	テキストボックス	ジョブを識別する I Dを半角英数字と記号(ハイフン、アンダーバー)
	1	で指定します。
	I I	¦ アイコン配置直後は初期値として「識別子(FWAIT-)+連番」の ID
		が自動採番されます。半角英数字、ハイフン(-)、アンダーバー(_)
		のみ使用可能です。重複登録不可です。半角 32 文字まで入力可能です。
ジョブ名	テキストボックス	↓ ジョブの名称を指定します。
		ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナ、全角英数字、半角英数字、記
		号が使用可能です。全角 32 文字、半角 64 文字まで入力可能です。省
	l l	略可能です。
ホスト	リストボックス	対象ファイルが存在するホスト(サーバ)を指定します。「ホスト名」
	テキストボックス	と「変数」の同時指定は行えません。
	l I	「ホスト名」では Zabbix に登録済みのホストを選択します。
		「変数名」ではホスト名が格納されたジョブコントローラ変数を指定し
		ます。
	1 1	ASCII 文字のみ使用可能です。半角 128 文字まで入力可能です。
ファイル名	テキストボックス	チェック対象となるファイル名を指定します。
		ファイル名はフルパスで指定する必要があります。
	i I I	なお、対象ファイルにシンボリックリンクを指定すると実行時にエラー
		となります。
		全角カタカナ、半角カタカナ、全角英数字、半角英数字、記号が使用可
	 	能です。半角 1024 文字まで入力可能です。
処理モード	ラジオボタン	対象ファイルに対する処理モードを指定します。
		処理モードが「ファイル待合せ」の場合、対象ファイルが生成(作成)
	• • •	されるまで処理を待合せます。なお、すでにファイルが存在する場合は
	I I	待ち合わせを行いません。
		処理モードが「ファイル存在チェック」の場合、対象ファイルが存在す
		るか否かの結果をジョブコントローラ変数「JOB_EXIT_CD」に格納し
	l l	ます。
		【チェック結果】
		ファイルなし:0、ファイルあり:1
ファイル削除	チェックボックス	対象ファイルの削除を指定します。
		チェックされている場合、ファイル待合せ完了、およびファイル存在チ
	 	ェック後にファイルを削除します。

表 5-15 ファイル待合せアイコンの設定項目





項目名	形式	說明
待合せ時間	テキストボックス	処理モードが「ファイル待合せ」の場合にアイコンの待合せ時間(秒)
		を指定します。
		指定時間経過後にはアイコンがエラー停止します。また、待合せ時間に
	l I	「0」を指定すると無制限にファイルの生成を待ち合わせます。
	1	数字4桁(0~9999)が入力可能です。
強制実行	チェックボックス	ホストが無効の場合でも処理を継続することを指定します。
	i I	チェックされていない場合、ホストが無効の場合はファイル待合せを行
	l L	わず、アイコンがエラー停止します。



5.5.14 リブートアイコン

リブートアイコンは対象ホストのリブート(再起動)を行います。リブートアイコンが実行されると、 対象ホストに対するすべてのジョブアイコン、およびファイル転送アイコンの実行が保留(待合せ)されます。 また、処理モードに「強制リブート」を指定した場合や待合せ時間を超過したジョブは強制停止され、該当する アイコンがエラーとなります。

① 選択したリブートアイコンのコンテキストメニューより「設定」を選択します。

② リブートアイコンの設定ダイアログが表示されます。

Jan リプートア-	イコンの	設定	×
ジョブID:	REBO)OT-1	
ジョブ名:	サーノ	(リブート	
₍ ホスト―			
● ホスト名	:	LinuxSever01	~
○ 変数名 :			
_ 処理モード ● 強制リス	ブート	○ ジョブ待ち合わせ後リブート	
待合せ時間	(秒):	0	
🗌 強制実行	ŕ		
		登録 キャンセ	N

図 5-26 リブートアイコンの設定



項目名	形式	説明
ジョブ ID	テキストボックス	ジョブを識別するIDを半角英数字と記号(ハイフン、アンダーバー)
		で指定します。
		マイコン配置直後は初期値として「識別子(REBOOT-)+連番」の ID
		が自動採番されます。
		半角英数字、ハイフン(-)、アンダーバー(_)のみ使用可能です。重複
		- 登録不可です。半角 32 文字まで入力可能です。
ジョブ名	テキストボックス	ジョブの名称を指定します。
		ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナ、全角英数字、半角英数字、記
		- 号が使用可能です。全角 32 文字、半角 64 文字まで入力可能です。省略
		「可能です。
ホスト	リストボックス	リブート対象となるホスト(サーバ)を指定します。「ホスト名」と「変
	テキストボックス	数」の同時指定は行えません。
		「ホスト名」では Zabbix に登録済みのホストを選択します。
		「変数名」ではホスト名が格納されたジョブコントローラ変数を指定し
		ます。
	1	ASCII 文字のみ使用可能です。半角 128 文字まで入力可能です。
処理モード	ラジオボタン	リブート時の処理モードを指定します。
		処理モードが「強制リブート」の場合、該当ホストで実行中のすべての
		> ジョブを即時に強制終了します。
		処理モードが「ジョブ待合せ後リブート」の場合、実行中のジョブの完
		了を待ってリブートを実行します。
待合せ時間	テキストボックス	・ 処理モードが「ジョブ待合せ後リブート」の場合にアイコンの待合せ時
		 間(秒)を指定します。
		指定時間経過後にはジョブの強制停止とリブートを行います。また、待
		合せ時間に「0」を指定すると無制限にジョブの完了を待ち合わせます。
		┃ 数字 4 桁(0~9999)が入力可能です。
強制実行	チェックボックス	ホストが無効の場合でも処理を継続することを指定します。
		チェックされていない場合、ホストが無効の場合はリブートを行わず、
	1	アイコンがエラー停止します。

表 5-16 リブートアイコンの設定項目



5.5.15 保留解除アイコン

保留解除アイコンは指定されたアイコンの保留状態を解除します。保留解除の対象となるアイコンは自ジョブネット、 および他のジョブネットのアイコンが指定可能です。

なお、保留解除の対象となるジョブネットが同時に複数稼働している場合、すべてのジョブネットに対し、対象

アイコンの保留を解除します。(ジョブネット ID を指定した場合のみ)

また、保留解除の対象となるアイコンが保留状態でない場合は実行時にエラーとなります。

- ① 選択した保留解除アイコンのコンテキストメニューより「設定」を選択します。
- ② 保留解除アイコンの設定ダイアログが表示されます。

▶ 保留解除アイコンの設定	
ジョブID: REL-1	
ジョブ名: ジョブ保留解除	
保留解除ジョブID: JOB-1	
	登録 キャンセル

図 5-27 保留解除アイコンの設定



項目名	形式	説明
ジョブ ID	テキストボックス	ジョブを識別するIDを半角英数字と記号(ハイフン、アンダーバー)
		で指定します。
	1 1	¦アイコン配置直後は初期値として「識別子(REL-)+連番」の ID が自動
		採番されます。
		半角英数字、ハイフン(-)、アンダーバー(_)のみ使用可能です。重複
	l I	登録不可です。半角 32 文字まで入力可能です。
ジョブ名	テキストボックス	・ ジョブの名称を指定します。
		ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナ、全角英数字、半角英数字、記
	 	- 号が使用可能です。全角 32 文字、半角 64 文字まで入力可能です。省略
		可能です。
保留解除ジョブ ID	テキストボックス	保留解除の対象となるジョブ ID を指定します。
		ジョブ ID は以下の形式で登録します。
	l L	- 「[ジョブネット ID/]保留解除の対象ジョブ ID」
		サブジョブネットのジョブを指定する場合は、ジョブネットアイコンの
		ジョブ ID とスラッシュ(/)で続けて記述します。
	1 1	※自ジョブネット内のアイコン(サブジョブネットを含む)の場合はジ
		ョブネット ID を指定しないでください。ジョブネット ID を指定すると
		同時実行中の同一ジョブネットがすべて保留解除の対象となり、意図し
		ない結果となる可能性があります。
		半角英数字、ハイフン(-)、アンダーバー(_)、スラッシュ(/)のみ使
		用可能です。半角 1024 文字まで入力可能です。

表 5-17 保留解除アイコンの設定項目



5.5.16 その他のアイコン

開始アイコン、並行処理アイコン、ループアイコン、条件分岐終了アイコンではジョブ ID とジョブ名が登録可能です。

- ① 選択したアイコンのコンテキストメニューより「設定」を選択します。
- アイコンの設定ダイアログが表示されます。

図 5-28 その他アイコンの設定(開始アイコンの例)

▶ 開始アイコ	ンの設定	<
ジョブID:	START	
ジョブ名:		
	登録 キャンセル	

③ 各項目について入力します。

項目名	形式	説明				
ジョブ ID	テキストボックス	↓ ジョブを識別する I Dを半角英数字と記号(ハイフン、アンダーバー)で指				
	1	定します。				
		アイコン配置直後は初期値	として識別子+連番」の ID が自動採番されます。			
		なお、開始アイコンは固定	の識別子が付与され、変更不可となります。			
	1	【識別子】				
		開始アイコン	:START(固定)			
		ループアイコン : LOOP-				
		並行処理開始アイコン	: MTS-			
		並行処理開始アイコン	: MTS-			
	1	条件分岐終了アイコン :IFE-				
		半角英数字、ハイフン(-)、アンダーバー(_)のみ使用可能です。重複登録				
		不可です。半角 32 文字まで入力可能です。				
ジョブ名	テキストボックス	- ジョブの名称を指定します。				
		ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナ、全角英数字、半角英数字、記号				
		↓ 使用可能です。 全角 32 文字、 半角 64 文字まで入力可能です。 省略可能で				

表 5-17 その他アイコンの設定項目



5.6 変数について

Jobarranger では「ジョブ変数」と「ジョブコントローラ変数」という二種類の変数をジョブの稼働時に利用するこ とが出来ます。これらの変数は各アイコンの用途に応じて、Zabbix や Job Arranger が保持するリソース情報や、 利用者が独自に定めた情報を「環境変数」として使用出来ます。これにより、定型化(部品化)したジョブネットが 作成可能になり、色々なところでジョブネットの再利用が可能になります。 本章では各変数の特長について説明します。

5.6.1 ジョブ変数

ジョブ変数とは、ジョブアイコン内でのみ環境変数として使用可能な変数の事を指します。

(1). 使用用途

ジョブアイコンで実行されるコマンドならびにコマンド内部で呼び出されるプログラムで利用者が独自に定めた情報を利用したい場合に使用します。

(2). 有効範囲

ジョブアイコンで実行されるコマンドならびにコマンド内部で呼び出されるプログラムで環境変数として参照 することが出来ます。

ただし、ジョブ変数は他のアイコンへ継承されないので、後続のアイコンで利用することは出来ません。



図 5-29 実行コマンド内での有効範囲





図 5-30 ジョブネット内での有効範囲

(3). 設定方法

ジョブ変数の設定については「5.5.1 ジョブアイコン」をご参照ください。

(4). 変数値変更

ジョブネット実行後、ジョブがエラー停止した際に変数を変更して再実行したい場合等に、設定したジョブ変数 の値を変更したい場合は「実行ジョブ詳細画面」のコンテキストメニューより「変数値変更」を選択することで 変更することが出来ます。(「7.4.5 アイコンの変数値変更」をご参照ください。)



5.6.2 ジョブコントローラ変数

ジョブコントローラ変数とは、ジョブネット内の全アイコンで環境変数として使用可能な変数の事を指します。 ジョブコントローラ変数には既存のジョブコントローラ変数(「表 5-4 ジョブコントローラ変数一覧」をご参照くだ さい。)と、ジョブコントローラ変数アイコンにて定義されたジョブコントローラ変数(「5.5.4 ジョブコントローラ 変数アイコン」をご参照ください)の二種類が存在します。

なお、ジョブネット内において既存のジョブコントローラ変数とジョブコントローラ変数アイコンで定義されたジョ ブコントローラ変数は同じように取り扱われます。

(1). 使用用途

以下の場合に使用することが出来ます。

・Zabbix や Job Arranger が保持するリソース情報や、利用者が独自に定めた情報をジョブアイコンの実行コマンド内やホスト名で参照したい場合

- ・条件分岐アイコンの比較値として使用したい場合
- ・計算アイコンによって参照した値を変化させたい場合に使用されます。
- (2). 有効範囲

ジョブアイコンで実行されるコマンドならびにコマンド内部で呼び出されるプログラム内で環境変数として参照することが出来ます。

ジョブコントローラ変数は他のアイコンへ継承されるので、後続のアイコンで参照することが出来ます。

また、ジョブネットアイコンで呼び出したサブジョブネットにも継承されます。ただし、サブジョブネットのジョブコントローラ変数は親ジョブネットへは戻されません。







図 5-31 実行コマンド内での有効範囲

図 5-32 ジョブネット内での有効範囲





(3). 設定方法

ジョブコントローラ変数の設定方法については「5.5.4 ジョブコントローラ変数アイコン」をご参照ください。 各アイコンでの参照方法については「5.5.1 ジョブアイコン」「5.5.2 条件分岐アイコン」「5.5.8 計算アイコ ン」「5.5.5 拡張ジョブアイコン」をご参照ください。

(4). 変数値変更

ジョブネット実行後、ジョブがエラー停止した際に変数を変更して再実行したい場合等に、設定したジョブコ ントローラ変数の値を変更したい場合は「実行ジョブ詳細画面」にてコンテキストメニューより「変数値変更」 を選択することで変更することが出来ます。(「7.4.5 アイコンの変数値変更」をご参照ください。)



5.7 ジョブネットの手動実行

オブジェクトツリーで個別のジョブネット行を選択した場合、メニューバー、およびコンテキストメニューより 「即時実行」、「保留実行」、「テスト実行」が選択できます。

実行の際には関連する各ジョブネットをすべて「有効」にしてください。

5.7.1 即時実行

即時実行はスケジュールの内容に関係なく、即座に処理を開始します。

 オブジェクトツリーより実行対象のジョブネットを選択し、メニューバーおよびコンテキストメニューより 「即時実行」をクリックします。

/m オブジェクト一覧画面 - JOB-SERVER						
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 実行(S) 🔨	// 					
即時実行(B					
- - 保留実行	····				ユーザー名:	JaEditor01
オブジェクト管理 ジョブ真 テスト実行	(I) 表示					
JOBNET-05-07-1	▲ 有効 東新日	◇問 ユ_+ff_タ	オブジェクトル	オブミッテクトタ	18488	
JOBNET-05-08-1				ノノンシェクト 石	前期の	
JOBNET-05-09-1	0 20	即時実行	JOBNET_MAIN	メインショノネット	~ 正時起動用のメインショノネットです。	
JOBNET-05-10-1		即时天11				
JOBNET-05-11-1		を選択				
JOBNET-05-12-1						
JOBNET-05-13-1						
JOBNET-08-01-1						
JOBNET-09-01-1						
JOBNET-11-01-1	E					
JOBNET_1010	F					
JOBNEI_103						
JOBNET_110						
JOBNET_147	E					
JOBNET_167	E					
10BNET 479						
JOBNET 524						
JOBNET 67						
JOBNET_ERROR_TEST						
JOBNET_EXP_TEST	E					
JOBNET_EXTERNAL_COMMON	E					
JOBNET_FCOPY_TEST	F					
JOBNET_ICON_COPY						
JOBNET_JaEditor01_132						
JOBNET_JaEditor02_133	t l					
JOBNET_JaEditor03_134	E					
JOBNET_JaEditor04_135	E					
JOBNET_JOB_SINGLE_START						
JOBNET_KATO_01						
JOBNET_MAIN						
JOBNET_MANUAL_SAMPLE						
JOBNET_MAX_TEST_7890123430						
JOBNET MUGEN LOOP 1						
JOBNET MUGEN LOOP 2	N/					
JOBNET MUGEN LOOP 3						
< I						

図 5-33 即時実行の選択

② 実行確認ダイアログが表示されるので、「はい」ボタンを押下します。

図 5-34 実行確認ダイアログ			
実行確認	\mathbf{X}		
ジョブネットを起動します。よろしいですか	j) ?		

Copyright (C) 2011-2012 FitechForce, Inc. All Rights Reserved Copyright (C) 2013 Daiwa Institute of Research Business Innovation Ltd. All Rights Reserved





③ ジョブネットが起動され、実行ジョブ詳細画面が表示されます。

図 5-35 即時実行後の実行ジョブ詳細画面

## 実行ジョブ詳細画面	
管理ID: 1500000000001473 開始予定時間: 開始時間: 終了時間: ジョブネットID: JOBNET_MAIN 公間: 更新日: 2013/11/08 15:41:52 ジョブネットA: メインジョブネット ユーザー名: JaEditor01 説明: 定時起動用のメインジョブネットです。	
ジョブ<(条件)	©]
START 処理知ら しの8-1 以通2 しの8-1 以通2 しの8-1 以通2 しの8-1 以通2 しの しの しの しの しの しの しの しの しの しの	
	閉じる



5.7.2 保留実行

保留実行は、ジョブネット自体が一時保留された状態(開始アイコンが保留された状態)で起動され、実行ジョブ詳 細画面で各アイコンに対する保留、スキップ等の事前操作が行えるようになります。

 オブジェクトツリーより実行対象のジョブネットを選択し、メニューバーおよびコンテキストメニューより 「保留実行」をクリックします。

🌆 オブジェクトー覧画面 – JOB-SERVER				
ファイル(E) 編集(E) 表示(<u>()</u> 実行(<u>()</u> ヘルプ(E)				
• • 即转变得 {{}} • • •				
保留実行	w interest in the second se			ユーザー名: JaEditor01
オブジェクト管理 ジョブ舞 手見上実行	▼E			
JOBNET-05-07-1	▲ 有効 更新	3日 フーザー名 オブジェクトID	オブジェクト名 説明	
JOBNET-05-08-1	0 2013	laEditor01 JOBNET MAIN	メイトショブネット 実時記動田のメイトシ	コープネットです
JOBNET-05-09-1	0 2010/1	Jacobior Jobiner_MAIN	スインションネット 足時返動用のスインシ	
JOBNET-05-10-1		-		
JOBNET-05-11-1	小田八	-		
JOBNET-05-12-1	を選択			
JOBNET-05-13-1				
JOBNET-08-01-1				
JOBNET-09-01-1				
JOBNET-11-01-1				
JOBNET_102	E			
JOBNET_110	F			
JOBNET_112				
JOBNET 147				
JOBNET 167				
JOBNET 479	≡ ■			
JOBNET 524	F			
JOBNET_67	E			
JOBNET_ERROR_TEST				
JOBNET_EXP_TEST				
JOBNET_EXTERNAL_COMMON	E			
JOBNET_FCOPY_TEST	F			
JOBNET_ICON_COPY				
JOBNET_JaEditor01_132				
JOBNET_JaEditor02_133				
JOBNET_JaEditor03_134				
JOBNET_JOB_CINCLE_STAT	E			
JOBNET_JOB_SINGLE_START	FIN			
JOBNET_MAIN				
JOBNET MANUAL SAMPLE				
IOBNET MAX TEST 7890123456				
JOBNET MONITOR TEST				
JOBNET_MUGEN_LOOP 1				
JOBNET_MUGEN_LOOP_2				
JOBNET MUGEN LOOP 3				
<u>ki</u> a		-		

図 5-36 保留実行の選択

② 実行確認ダイアログが表示されるので、「はい」ボタンを押下します。







③ 開始アイコンが保留状態でジョブネットが起動され、実行ジョブ詳細画面が表示されます。

図 5-38 保留実行後の実行ジョブ詳細画面




5.7.3 テスト実行

テスト実行は、即座に処理を開始しますが、個々のジョブに登録されたコマンドの実行は行わず、ジョブフローの流 れの正当性のみを検査します。ジョブネット作成直後、フローの正当性を確認したい際にテスト実行を行います。 なお、フローの正当性のみを検査するため、条件分岐処理は同時に両方通過するように流れます。 また、ジョブネットアイコン、およびタスクアイコンによるジョブネットの呼出し、起動は行いません。ジョブアイ コンは実際にエージェントまでリクエストを発行しますが、コマンドの実行は行いません。

 オブジェクトツリーより実行対象のジョブネットを選択し、メニューバーおよびコンテキストメニュー より「テスト実行」をクリックします。



図 5-39 テスト実行の選択

② 実行確認ダイアログが表示されるので、「はい」ボタンを押下します。

図 5-40 実行確認ダイアログ 実行確認 ジョブネットを起動します。よろしいですか? (はい(Y) (いいえ(N))





③ ジョブネットが起動され、実行ジョブ詳細画面が表示されます。

図 5-41 テスト実行後の実行ジョブ詳細画





6 スケジュール設定

6.1 スケジュールとは

スケジュールとは、ジョブネットをスケジュール起動する場合に作成するオブジェクトです。 スケジュールでは起動時刻を指定したカレンダーとジョブネットとの組み合わせを定義します。 ジョブサーバでは、スケジュールに登録されたカレンダー・ジョブネット・起動時刻を判断し、ジョブネットの自動 起動を行います。

スケジュールは複数のカレンダーと時刻を組み合わせることで、一つのスケジュールで様々な稼働日に対応できます。 また、一つのカレンダーに対し、複数のジョブネットを指定することで運用の幅を広げることが出来ます。



図 6-1 各オブジェクトの関係図



6.2 スケジュール作成

6.2.1 スケジュールの新規作成

オブジェクトー覧画面でオブジェクトツリーの「スケジュール」以下のノード行か個別オブジェクトを選択し、メニ ューバーより「ファイル」-「新規追加」を選択するか、コンテキストメニューより「新規追加」を選択することで、 初期状態のスケジュール編集画面が表示され、新規作成が行えます。

ノー・オブジェクト一覧	町町 - JOB-SERV	ER								
ファイル(E) 編集(E)	表示(V) 実行(S)	ヘルプ(Ю							
			_		_					
				_					ユーザー名:	JaEditor01
オブジェクト管理	ジョブ実行管理	実行#	吉果表示							
■ カレンダー			有効	更新日	公開	ユーザー名	オブジェクトID	オブジェクト名	説明	
□ スケジュール				2013/11/08 16:09:4	0	JaEditor01	TOUNYU_SCHEDUL	.E 投入スケジュール	・ジョブネットの定時投入を行います。	
■ 公開人グジュー	-//- 									
SCHEDU	新規追加(N)									
SCHEDU	削除(D)									
SCHEDU	エクスポート(E)		安斤	非国、白力 口						
SCHEDU	即時実行(E)		1/1							
SCHEDU	保留実行(型)		7	を選択						
SCHEDU			-							
SCHEDUL	E_28									
SCHEDUL	E_EXP_TEST									
SCHEDUL	E_MONITOR_TEST									
TOUNYU_	SCHEDULE									
UNYO_SC	HEDULE_1									
□ ジョブネット										
公開ジョノネッ コープライベート3	リト									
	232421									
<		>								

図 6-2 スケジュール編集画面

6.2.2 情報エリアの各情報を入力

スケジュール編集画面の情報エリアにある以下の項目について入力します。

- ・スケジュール ID
- ・スケジュール名
- ・説明
- ・公開チェックボックス

新規追加時はジョブマネージャが自動採番した仮のスケジュール ID で登録されているので、必要に応じて内容を変更してください。公開チェックボックスをオンにした場合は「全てのユーザーで共通に利用できる」公開用スケジュールになり、オフにした場合は「同一アクセスグループ内で利用できる」プライベート用スケジュールとなります。





*** <mark>スケジュール編集画面 - JOB-SERVI</mark> ファイル(E) 編集(E) 表示(<u>V)</u> 実行(S)		情報エリア				
オブジェクト管理 ジョブ実行管理	実行結果表示				ユーザー名:);	eEditor01
 ● カレンダー ● スタジュール ● 公観スクジュール ● プライベートスグジュール SCHEDULE12 SCHEDULE12 SCHEDULE141 SCHEDULE_141 	スケジュールIC スケジュール名 脱明: 起動時刻: カレンダーID	: SCHEDULE_30 : カレンダー名	公留: □ 	権限: 更新可能 ジョブネット: ジョブネットID ジョ)	更新日: ユーザー名: JaEdit ブネット名	or01
SCHEDULE_21 SCHEDULE_25 SCHEDULE_85 SCHEDULE_MONITOR_TEST SCHEDULE_NAGATA_TEST TOUNYU_SCHEDULE UNYO_SCHEDULE_1 ジョブネット 公園ジョブネット ® ブライベートジョブネット						
			and and an			削除 追加登録 キャンセル
オブジェクト ツリー		י קט	起動時刻 、トボックス	ジョ スリ	ブネット トボックス	

図 6-3 情報エリアの各項目

表 6-1 情報エリアの各項目について

項目名	形式	「 「 」
スケジュール ID	テキストボックス	スケジュールを識別する I Dを指定します。
		新規作成直後は初期値として「識別子(SCHEDULE_)+連番」
		の ID が自動採番されます。
	1	半角英数字、ハイフン(-)、アンダーバー(_)のみ使用可能
	1	です。重複登録不可です。半角 32 文字まで入力可能です。
スケジュール名	テキストボックス	スケジュールの名称を指定します。
		ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナ、全角英数字、半角英
		数字、記号が使用可能です。 全角 32 文字、半角 64 文字まで
	1	入力可能です。
説明	テキストボックス	スケジュールについての説明を指定します。
		ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナ、全角英数字、半角英
	1	数字、記号が使用可能です。全角 50 文字、半角 100 文字まで
	1	入力可能です。省略可能です。
公開チェックボックス	チェックボックス	他のユーザーへの公開要否を指定します。



6.2.3 起動時刻を登録する

① 起動時刻リストボックスの「追加」ボタンを押下します。

Inn スケジュール編集画面 - JOB-SERVER	24.0								
オブジェクト管理 ジョブ実行管理 実行	結果表示						ユーザー名	: JaEditor01	
 (1) カレンター (1) カレンター (1) オンター (1) オンター (1) オンタュール (1) オンタール (1) オンタール	スケジュールID: スケジュール名: 説明: 起勤時刻: カレンダーID :	SCHEDULE_30		公開: 起動時刻	権限: 更新可 ジョブネット: ジョブネットID	31能 引用 二	更新日: ユーザー名: Ja ット名	Editor01	
 □ ションネット 公園ジョブネット ● プライベートジョブネット 			削除	<u>i#.00</u>					
<								登録	キャンセル

図 6-4 起動時刻の追加

② 起動時刻登録画面が表示されます。

図 6-5 起動時刻登録画面

ンダー	カレンダーID :	公開:	更新日:
	カレンダー名:		ユーザー名 :
	説明:		
	森動日: 2013 D 起動時刻:		最終稼働日:
	1月 2013 2月 2013	3月 2013	4月 2013
		0 9 5 4 5 0 7 0 9 15 16 10 11 15 17 14 15 14	7 0 9 10 11 12 15 6 14 15 16 17 18 10 20
		22 22 17 18 10 20 21 22 23	2 21 22 22 24 25 26 27
	27 28 29 30 31 24 25 26 27 28	24 25 26 27 28 29 30	0 28 29 30
		31	20 29 30
	5月 2013 6月 2013	7月 2013	8月 2013
	日月火水木金土 日月火水木	金土 日月火水木金土	: 日月火水木金土
	1 2 3 4	1 1 2 3 4 5 6	1 2 3
	5 6 7 8 9 10 11 2 3 4 5 6	7 8 7 8 9 10 11 12 13	3 4 5 6 7 8 9 10
	12 13 14 15 16 17 18 9 10 11 12 13	14 15 14 15 16 17 18 19 20	0 11 12 13 14 15 16 17
	19 20 21 22 23 24 25 16 17 18 19 20	21 22 21 22 23 24 25 26 27	7 18 19 20 21 22 23 24
	26 27 28 29 30 31 23 24 25 26 27	28 29 28 29 30 31	25 26 27 28 29 30 31
	30	_	
	9月 2013 10月 2013	11月 2013	12月 2013
	8 9 10 11 12 13 14 6 7 8 9 10	11 12 3 4 5 6 7 8 9	8 9 10 11 12 13 14
カレンター	15 16 17 18 19 20 21 13 14 15 16 17	18 19 10 11 12 13 14 15 16	5 15 16 17 18 19 20 21
オブジェクト	22 23 24 25 26 27 28 20 21 22 23 24	25 26 17 18 19 20 21 22 23	3 22 23 24 25 26 27 28
	29 30 27 28 29 30 31	24 25 26 27 28 29 30	0 29 30 31
	<		>
	*		الجد ديد جا 192
>			豆塚 キャンセル

Copyright (C) 2011-2012 FitechForce, Inc. All Rights Reserved Copyright (C) 2013 Daiwa Institute of Research Business Innovation Ltd. All Rights Reserved



③ オブジェクトツリーの「カレンダー」以下の個別オブジェクトを選択します。



図 6-6 カレンダー選択後の起動時刻登録画面

④ 情報エリアの「起動時刻」を入力します。

※起動時刻の時(HH)には 23 時以上の値が指定可能です。例えば 25:00 と入力した場合、稼働日(現在日)の翌 1:00 にジョブネットが実行されます。



図 6-7 起動時刻の入力

pg. 105

Copyright (C) 2011-2012 FitechForce, Inc. All Rights Reserved Copyright (C) 2013 Daiwa Institute of Research Business Innovation Ltd. All Rights Reserved





⑤ 起動時刻が正しいことを確認し、「登録」ボタンを押下します。



図 6-8 起動時刻の登録



6.2.4 ジョブネットを登録する

① ジョブネットリストボックスの「追加」ボタンを押下します。

図 6	-9 ジ	ョブネッ	ットの追加
-----	------	------	-------

Jam スケジュール編集画面 - JOB-SERVER								
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 実行(S) ヘルプ	Έ.							
オブジェクト管理 ジョブ車行管理 車行	结果表示					ユーサー名: Jabo	iitor01	
	- CARLOS		 					
□ スケジュール	スケジュールID :	SCHEDULE_30	 覚: 🛄	権限:	史新可能	史新日:		
■ 公開スケジュール	スケジュール名:					ユーザー名: JaEditori	01	
SCHEDULE12	100月 -							
SCHEDULE1_2								
SCHEDULE_1	起動時刻:			ジョブネッ	ト:			
SCHEDULE_141 SCHEDULE_144	カレンダーID	カレンダー名	起動時刻	ジョブネッ	トID ジョ:	ブネット名		
SCHEDULE_21	TOUNYU_CALEN	DAR ジョブネット投入力レンダー	09:00					
SCHEDULE_25								
SCHEDULE_228								
SCHEDULE_MONITOR_TEST								
SCHEDULE_NAGATA_TEST TOUNYU_SCHEDULE								
UNYO_SCHEDULE_1								
□ ジョブネット								
公開ジョフネット 田 プライベートジョブネット								
			 				2010	10+0
							登録 =+1	·ンセル

② ジョブネット登録画面が表示されます。

図 6-10 ジョブネット登録画面

フ== ジョブネット登録画面				
	ジョブネットID: ジョブ 親明: ソリー シー シー シー シー シー シー シー シー シー シー シー ション ノ ノ ジェクト ツリー シー ション ション ション ノ フジェクト ション ション ノ フジェクト ション ション ノ フジェクト ション ノ マ ジョン ノ マ ジョン ノ マ ジョン ノ マ マ ノ マ ジョン ノ マ ション ノ マ マ ノ マ ション ノ マ ション ノ マ ション ノ マ ショー ノ マ ショー ノ マ ショー ノ マ ショー ノ マ ショー ノ マ ショー ノ マ ー ノ マ ー ノ マ ー ノ マ ー ノ マ ー ノ マ ー ノ マ ー ノ マ ー ノ マ ー ノ マ ー ノ マ ー ノ ー ー ノ マ ー ノ ー ー ー ー	公開: 変数 / [[虹猫ジョブ]] START 実留解除 @	^{更新日:} ユーザーる: ジョブフロー 領域	タスク 備報取得
	2.1			マ 登録 年ャンセル
<u> </u>				



③ オブジェクトツリーの「ジョブネット」以下の個別オブジェクトを選択します。



図 6-11 ジョブネット選択後のジョブネット登録画面

④ ジョブネットの内容が正しいことを確認し、「登録」ボタンを押下します。



図 6-12 ジョブネットの登録



6.2.5 スケジュールを登録する

① 設定した内容が正しいことを確認し、「登録」ボタンを押下します。

凸 しょう ハノノエ パリシェッ	¥	6-13	スケジュールの登録
------------------	---	------	-----------

フ== スケジュール編集画面 - JOB-SERVER						
ファイル(E) 編集(E) 表示(Y) 実行(S) ヘルス	۲ ا ا					
オブジェクト管理 ジョブ実行管理 実行	結果表示				ユーザー名: JaEditor01	
 ※ カレンダー ※ カレンダー ※ 公報スケジュール ※ うデイペートズグジュール SCHEDULE12 SCHEDULE112 SCHEDULE_141 SCHEDULE_144 SCHEDULE_213 SCHEDULE_225 SCHEDULE_28 SCHEDULE_28 SCHEDULE_29 SCHEDULE_204 SCHEDULE_205 SCHEDULE_104 WTO_SCHEDULE WTO_SCHEDULE1 B ショゴネット ※ ブライペートジョブネット 	スケジュールは: ORDINAR スケジュール名: 定時法スス 脱明: 毎定時にメ 起動時刻: カレンダーロ カレン TOUNYU_CALENDAR ジョブ	<u></u> ケジュール インジョブネットを起動します。 ダー名 ネット投入力レンダー	公開: □	権限: 更新可能 ジョブネット: ジョブネットID ジョフ JOBNET_MAIN メイン	更新日: ユーザー名: JaEditor01 ガネット名 シジョブネット	
		Hill Not				
<					登録 :	キャンセル

② 編集登録確認ダイアログが表示されるので、「はい」ボタンを押下します。

図 6-14 編集登録確認ダイアログ





6.3 スケジュール削除

削除方法として、対象に応じて以下の方法があります。

① オブジェクトを選択します。

- <個別スケジュールの全バージョンが対象の場合>
 - ・オブジェクトー覧画面のオブジェクトツリーより「スケジュール」以下の個別オブジェクトを選択後、

メニューバーより「編集」-「削除」を選択するか、コンテキストメニューより「削除」を選択します。 <個別スケジュールの特定バージョンが対象の場合>

- ・オブジェクトー覧のリストオブジェクトの一覧より特定バージョンのスケジュールを選択後、メニュー バーより「編集」-「削除」を選択するか、コンテキストメニューより「削除」を選択します。
- ② 削除確認ダイアログが表示されます。



図 6-15 削除確認ダイアログ

③ 内容を確認し、「はい」ボタンを押下します。

7 ジョブ実行管理

7.1 実行ジョブの全体管理

ジョブマネージャが管理している全てのジョブネットは運行状況リスト、エラーリスト、実行中リストに分けて ジョブの実行管理を行っています。画面上部にあるジョブ実行管理タブを選択することにより表示されます。 なお、本画面では1秒おきにデータの再取得を行い、すべてのリストオブジェクトの表示内容をリフレッシュします。

ァイル(E) 編集(E) 表示	R(Y) 実行(S) ヘルプ(H)						
オブジェクト管理 ジ	37美行管理 美行結果表示				ユーザー名: JaEditor0:	····· (運行状
管理ID	ジョブネットID	状況	ジョブネット名	開始予定時間	開始時間	終了	
5000000000001472 5000000000001473 5000000000001474 5000000000001475 5000000000001475 5000000000001481	JOBNET_MAIN JOBNET_MAIN JOBNET_MAIN JOBNET_MAIN JOBNET_BATCH_01 JOBNET_BATCH_02 JOBNET_BATCH_03	処理理理理 処理理理理理 処理理理理 理 行 中 実 行 中	メインジョブネット メインジョブネット メインジョブネット メインジョブネット バッチ実行 (バッチサーノ(①) パッチ実行 (バッチサーノ(②) バッチ実行 (バッチサーノ(③)		2013/11/08 15:41:24 2013/11/08 15:41:57 2013/11/08 15:45:07 2013/11/08 15:53:04 2013/11/08 17:28:44 2013/11/08 17:28:50 2013/11/08 17:28:55	2013/11/08 2013/11/08 2013/11/08 2013/11/08 1 2013/11/08 1	9,47:14 5:53:09 7:28:48
:ラージョブネット運行情報 管理ID	ジョブネットID	状況	ジョブネット名	開始予定時間	開始時間	終了	エラー
		_					
							宇行
電行中ジョブネット運行情報							実行中
衍中ジョブネット運行情報 管理ID	g ジョブネットID	状況	ジョブネット名	嗣始予定時間	開始時間	終了	実行中 リスト

図 7-1 実行ジョブ管理画面





7.1.1 稼働状況リスト

ジョブネットの稼働状況は以下の3フィールドで構成されています。

表 7-1 稼働状況のリスト

リスト名	説明
運行性泡口フト	↓現在時刻から前後1時間(テーブルの設定値により変更可能)の範囲で、実行予定と実行中、お
運行状況リスト	よび処理を終了したすべてのジョブネットを表示します。
	異常終了となったジョブネットと最後にエラーが発生したジョブを表示します。
	リストはジョブの再実行により、ジョブネットの状態が実行中、および処理終了に変化するか、
エノーリスト	リスト行を選択後、コンテキストメニューによる非表示を選択することで、一覧から非表示とな
	ります。
実行中リスト	実行中のジョブネットが表示されます。

※実行ジョブ管理画面にて上記リストを非表示に変更したい場合は、メニューバーより「表示」-「運行状況ジョブネット 一覧」「エラージョブネット一覧」「実行中ジョブネット一覧」のチェックをオフにすると、表示されなくなります。 なお、非表示の設定はジョブマネージャの次回起動時にリセットされます。

7.1.2 ジョブネット状況欄と色の関係

リストオブジェクトの状況欄はジョブネットのステータスと各ジョブの状況、ジョブネットの展開状況の組み合わせ により、表示する文字列と色が変化します。

なお、展開エラーはジョブネットアイコンで呼び出すサブジョブネットが有効化されていない場合に発生します。 展開エラーとなったサブジョブネットのジョブネット ID についてはサーバーログ (jobarg_server.log) を参照して ください。

			ジョブの状況	展開状況			
		通常	タイムアウト	エラー	正常	エラー	
	未実行	予定	_	-	_	-	
	実行準備	予定	-	-	_	-	
즈	実行中	実行中	実行中	実行中	_	_	
	強制停止中	実行中	実行中	実行中	_	-	
タス	正常終了	処理終了	処理終了	処理終了	_	-	
	実行エラー	実行中	実行中	実行中	_	-	
	異常終了	処理終了	処理終了	処理終了	処理終了	展開エラー	

表 7-2 ジョブネット状況欄と色の関係



7.2 実行ジョブ管理画面操作

実行ジョブ管理画面では、コンテキストメニューより以下の操作が可能となります。

図 7-2 実行ジョブ管理画面でのコンテキストメニュー

▶ 実行ジョブ管理画面 -	- JOB-SERVER					
ファイル(E) 編集(E) 表示	R(V) 実行(S) ヘルプ(H)					
オブジェクト管理ジ	コブ実行管理 実行結果表示				ユーサー名: JaEditorui	1
ジョブネット運行情報	States Annual States					
管理ID	ジョブネットID	状況	ジョブネット名	開始予定時間	開始時間	終了時間
150000000000001482	JOBNET_BATCH_01	処理終了	バッチ実行 (バッチサーバ①)		2013/11/11 09:28:34	2013/11/11 09:28:39
150000000000001483	JOBNET_BATCH_02	処理終了	パッチ実行 (パッチサーパ②)		2013/11/11 09:28:41	2013/11/11 09:29:16
150000000000001484	JOBNET_BATCH_03	¥.TR)(ッチ美行 ()(ッチサー)(3)		2013/11/11 09:28:48	
エラージョブネット運行情報	ジュブネットル	14:20	ジョゴナットタ	四份支令時間	P964-9488	放了時間
15000000000001484	JORNET RATCH 02	1/0/L			用和时间	가장 기 파리(8)
			非表示(出) ジョブネット停止(E) コンテキン メニュー			
実行中ジョブネット運行情報	R					
管理ID	ジョブネットID	状況	ジョブネット名	開始予定時間	開始時間	終了時間
1500000000001484	JOBNEI_BAICH_03)(ジナ美行 ()(ジナサー)(③)		2013/11/11 05:28:48	

7.2.1 ジョブネット行の非表示

指定ジョブネット行を非表示にします。

本メニューはエラーリストのジョブネット行を選択時にのみ表示され、選択されたジョブネット行を非表示に設定します。

なお、ジョブネットの非表示は設定したジョブマネージャのみ有効であり、他のジョブマネージャには影響しません。 また、ジョブマネージャの次回起動時は非表示の設定を引き継ぎません。

7.2.2 ジョブネットの停止

指定ジョブネットを強制停止(実行キャンセル)します。

本メニューはジョブネット行を選択時にのみ表示され、選択されたジョブネットを強制停止します。

ジョブアイコンが実行中の場合はコマンドの強制停止、またはジョブアイコンに登録された停止コマンドを実行し、 コマンドを停止します。

なお、停止したジョブネットは稼働状況が「処理終了」ステータスに変わります。



7.3 実行ジョブの詳細管理

本画面では、ジョブネットの稼働状況についてジョブフローによるジョブ実行管理を行っています。

実行ジョブ管理画面に表示されたジョブネット行をダブルクリック、およびメニューまたはコンテキストメニュー より「即時実行」、「保留実行」、「テスト実行」を選択することで表示されます。

なお、本画面では1秒おきにデータの再取得を行い、ジョブフロー領域の表示内容をリフレッシュします。

図 7-3 実行ジョブ詳細画面

☞ 実行ジョブ詳細画面			
管理ID: 15000000000001473 開始予定時間: ジョブネットID:JOBNET_MAIN ジョブネット名:メインジョブネット 説明: 定時起動用のメインジョブネットです。	開始時間: 公開:	終了時間: 更新日: 2013/11/08 15:41:52 ユーザー名:JaEditor01	
ジョブ 条件 情報エリア 変数 拡張 ファイル転送 ファイル マイル 保留解除 R	ジョブ START END	計算	 ©
<	START 如理開始 JOB-1 或理句 ↓ JOB-2 如理③ ↓ UB-3 处理③ END-1 处理終了		*
ジョブフロー 領域			閉じる



7.3.1 アイコンの状態と色の関係

ジョブネットの稼働時、処理状態により各アイコンの色が変化します。アイコンの色には以下の種類が存在します。

アイコン色	アイコン状態	説明
	未実行	実行が予定されている、未実行(実行待ち)の状態を示します。
	実行中	現在実行中の状態を示します。
	正常終了	実行が正常終了した状態を示します。
	タイムアウト発生	ジョブの実行で実行時間がタイムアウト警告時間を経過した状態を示します。
	異常終了	ジョブの実行でエラーが発生した状態を示します。
	保留設定	利用者の操作により処理を保留する(している)状態を示します。
	スキップ設定	利用者の操作により処理をスキップする(された)状態を示します。

表 7-3 アイコンの状態と色の関係



7.4 アイコンの操作

ジョブネット起動後、実行前、実行中、実行後の各アイコンについて、コンテキストメニューより以下の各種操作が 行えます。なお、アイコンおよび処理状態により利用可能な操作が制限されています。



図 7-4 実行ジョブ詳細画面でのコンテキストメニュー

7.4.1 アイコンの保留/保留解除

保留

【操作可能アイコン:全てのアイコンで利用可能】

選択されたアイコンに対する処理を保留します。保留されたアイコンでは処理の実行前で一時停止の状態となりま す。なお、スキップとの同時設定は行えません。

保留解除

【操作可能アイコン:保留済みアイコンで利用可能】

保留設定されたアイコンの保留解除を行います。

なお、保留により一時停止中のアイコンに対し、本操作を行うと直ちに処理を開始します。



7.4.2 アイコンのスキップ/スキップ解除

スキップ

【操作可能アイコン:条件分岐、並行処理、ループ、開始、終了、分岐終了アイコン以外のアイコンで利用可能】 選択されたアイコンをスキップします。スキップされたアイコンは一切の処理が行われません。 また、保留により一時停止中のアイコンに対し、本操作を行うと直ちに処理を開始(スキップ)します。 なお、保留との同時設定は行えません。

スキップ解除

【操作可能アイコン: スキップ設定済みアイコンで利用可能】 スキップ設定されたアイコンのスキップ解除を行います。

7.4.3 アイコンの強制停止

【操作可能アイコン: 実行中のジョブアイコン、拡張ジョブアイコン、リブートアイコンのみ利用可能】 実行中のジョブアイコン、拡張ジョブアイコン、リブートアイコンを強制停止します。強制停止後はエラー停止状態 となり、次のフロー(アイコン)が実行されません。ジョブアイコンでは停止コマンドで指定したコマンドを実行し ます。停止コマンドを指定していない場合は KILL コマンド (SIGKILL) を実行します。(5.5.1 ジョブアイコンを参 照)

なお、強制停止後は「再実行」、「スキップ」、「変数値変更」の操作が行えます。

7.4.4 アイコンの再実行

【操作可能アイコン: エラー停止、および強制停止後のジョブアイコン、拡張ジョブアイコン、ファイル転送 アイコン、リブートアイコン、保留解除アイコンのみ利用可能】 エラー停止、および強制停止されたジョブアイコン、拡張ジョブアイコン、ファイル転送アイコン、リブート アイコン、保留解除アイコンの再実行を行います。

ジョブコントローラ変数には最後に実行した結果が格納されます。



7.4.5 アイコンの変数値変更

【操作可能アイコン: 保留、強制停止、エラーによる一時停止中のジョブアイコン、条件分岐アイコン、ジョブ コントローラ変数アイコン、終了アイコンのみ利用可能】

ジョブがエラー停止した際に変数を変更して再実行したい場合などに選択されたアイコンのジョブ変数、および ジョブコントローラ変数の値を変更することができます。

なお、変数の追加は行えません。

コンテキストメニューより「変数値変更」を選択すると、下記の変数値変更ダイアログが表示されます。

図 7-5 変数値変更ダイアログ

Jan	変数値変更		×
	ジョブID: JOB-2		
	ジョブ名: バッチ加田	a)	
	変数名	値	
	JOBNET_ID	JOBNET_BATCH_03	^
	JOBNET_NAME	バッチ実行 (バッチサーバ③)	
	USER_NAME	JaEditor01	
	MANAGEMENT_ID	150000000000001488	=
	JOBNET_BOOT_TIME	201311111019	
	STD_OUT		-
	STD_ERR		
	JOB_EXIT_CD	0	~
		<u>^</u>	
		登録 キャンセル	

変更対象の値をダブルクリックする事により変更が可能となります。変更内容を確認の上、問題がなければ登録 ボタンを押下します。

なお、変更した値は選択したアイコンに適用されます。また、ジョブコントローラ変数については後続のジョブに も適用されます。



7.4.6 アイコンの変数表示

【操作可能アイコン: 全てのアイコンで利用可能】

各アイコンの変更前/変更後の各変数値を表示します。

コンテキストメニューより「変数表示」を選択すると、下記の変数表示ダイアログが表示されます。

図 7-6 変数表示ダイアログ

/am	数表示							
<i>.</i> 23	ョブID: JOB-3							
22-	ジョブタ・ リシッチが理る							
2:	ヨノロ・ 八ツナ209	王心						
変調	更前変数:							
変	数名	値						
JO	BNET_ID	JOBNET_BATCH_02	~					
JO	BNET_NAME	バッチ実行(バッチサーバ②)						
US	SER_NAME	JaEditor01						
MA	ANAGEMENT_ID	1500000000001483	=					
30	BNET_BOOT_TIME	201311110928						
ST	D_OUT	1	_					
ST	D_ERR							
JO	B_EXIT_CD	0	×.					
変	更後変数:							
変	数名	値						
JO	BNET_ID	JOBNET_BATCH_02	^					
JO	BNET_NAME	バッチ実行(バッチサーバ②)						
US	SER_NAME	JaEditor01						
MA	ANAGEMENT_ID	1500000000001483						
JO	BNET_BOOT_TIME	201311110928						
JO	B_ID	JOB-3						
JO	B_NAME	バッチ処理③						
CU	JRRENT_TIME	20131111092844						
ST	D_OUT	合計 168	×					
			00					

図 8-1 ジョブ実行結果画面

ジョブマネージャでは実行されたジョブの実行履歴を一定期間(デフォルトでは 30 日間)テーブルに保存して

また、表示された実行履歴をもとにジョブネット ID、ジョブ ID、管理 ID、ユーザー名による絞込みが可能です。 なお、一覧左側の詳細ボタンを押下することにより、ジョブアイコンで実行したコマンド、およびアプリケーション

います。保存された実行履歴はジョブ実行結果画面より検索期間を指定することで表示が可能です。

が出力した標準出力と標準エラー出力の内容を示すジョブ実行結果詳細画面が表示されます。

ァイル	(E) 編集((E) 表示	(立) 実行	is) 🗤	ルプ(出)														筷	家条件		
																			7.7	カエリフ	ק	
					ta a - A ta an ata -													~		<u> </u>		
オフジ	ェクト管埋	9	ョフ実行管	埋 🦻	美行 結果表え	7																_
(索期)	H: 20	13 年	11 🗸	月	11 🗸 E	00	✔ 時	00 🗸 分	~	2013	年	11 🗸	月	11 🗸	в	23 🗸 時	5	9 🗸 分		検索	CSV	出力
													_									
ジョブ:	ネットID:					5	ジョブID:						管3	理ID:				ユーザー	-名:			~
開	実行日付		管理II	D		ジョブネッ	FID		ジョ	JID	状況				ジョブ	ネット名				ジョフ名		
	2013/11/	11 09:28:	48 15000	0000000	00001484	JOBNET_B	ATCH_03				ジョブネ	マトが開	治しまし	,た。	バッチ	実行 (バッ:	チサーバ	3)				
	2013/11/	11 09:28:	48 15000	0000000	00001484	JOBNET_B	ATCH_03		STA	RT	ジョブカ	「開始しま	した。		バッチ	実行 (バッ:	チサーバ	3)				
	2013/11/	11 09:28:	48 15000	0000000	00001484	JOBNET_B	ATCH_03		STA	RT	ジョフカ	^終了しま	した。		バッチ	美行 (ノ(ツ:	チサーバ	3)				
	2013/11/	11 09:28:	48 15000	0000000	00001484	JOBNET_B	ATCH_03		JOB	-1	ジョフカ	開始しま	した。		バッチ	美行 (ノ(ツ)	チサーバ	3)		バッチ処理①		
詳細	2013/11/	11 09:28:	49 15000	0000000	00001484	JOBNET_B	ATCH_03		JOB	-1	ジョフカ	終了しま	した。		バッチ	美行 (ノ(ツ)	チサーバ	3)		バッチ処理①		
	2013/11/	11 09:28:	49 15000	0000000	00001484	JOBNET_B	ATCH_03		JOB	-2	ジョフカ	開始しま	した。		パッチ	現行 ()(ツ:	チサーバ	(3)		バッチ処理②		
	2013/11,		50 15000	0000000	00001484	JOBNET_B	ATCH_03		JOB	-2	ジョフカ	と 単常終了	しました	<u>-</u>	パッチ	美行 (ノ(ツ:	チサーバ	(3) (3)		バッチ処理②		
	2013/11/	11 0		0000000	00001485	JOBNET_B	ATCH_03				ジョノネ	(ツトが開	皆しまし	<i>い</i> た。	ハッナ	美行 (ノ(ツ:	ナサーハ	(3) (3)				
	2013/11/	11 0.00					03		STA	кі 	ショノル	「開炬しま	U/2.		ハッナ	夫仃 しいどう	ナサーハ	(U) (C)				
	2013/11/	1 詳	細术	タン	の押し	Fによ	n		200	KI -	ンヨノル	いたいしお	した。		ハッナ	夫仃 レ(ツ: 老年 ムビッ:	チサーハ	ය) න		いいて加速の		
	2013/11/						_		108	-1	ショノや	[人干ツノ [2枚フ」 主	しより。 1 た		パッチョ	毛打 レイシュ 割得 (パッ):	デザーハ	.ලා කා		パッテ処理の		
	2013/11/	ニジ	ヨフ	美行	結果調	羊細画	面		108	-1	ショブカ	-n≈l∪a- (na++i ==	U/2.		パッチョ	和日 (パン)		(J) (D)		パッチ処理の		
	2013/11/	1		· · · ·			_		108	-2	ショブカ	開始しよ	した。 しました		パッチョ	利日 (パシ) 創行 (パッ)	チリーハ チャーパ	.ພ) ເຫ		バッチ処理の		
	2013/11/	1		を	表示				100	-2	ションル	「耳子で」	じなしん 学校マロ		バッチ	老门 してシ. 書行 (バッ):	79-∧ ≄⇔_/(.ພາ ເອງ		//// / //J/E/E/		
	2013/11/	11 10:05					TALLA D				ショノイ ジョブネ	いいちが思	+==マ」し 全 、 =	,=	×25	モロ レイン. ジョブネッ	л <i>у-</i> л ь					
	2013/11/	11 10:05	08 15000	00000000	00001400	IOBNET N			STA	рт	ションヘ ミュブカ	、21万萬	1.1-	//•	× 1 ×	ンコンハン				机和用用油		
	2013/11/	11 10:05	08 15000	0000000	00001486	10BNET N	1ΔΤΝ		STA	RT	ショブカ	線2000 線7 .ま	U,t=		*12	ジョブネッ				加爾開始		
	2013/11/	11 10.05	08 15000	0000000	00001486	10BNET N	1ATN		10B	-1	ショブカ	「開始しま	した.		XTY	ジョブネッ				処理の		
121/H	2013/11/	11 10:05:	09 15000	0000000	00001486	JOBNET N	1AIN		зов	-1	ジョブカ	(終了しま)	した。		メイン	ジョブネッ				処理の		
	2013/11/	11 10:05	09 15000	0000000	00001486	JOBNET N	IAIN		IF-1		ジョブカ	開始しま	した。		メイン	ジョブネッ				結果確認		
	2013/11/	11 10:05:	09 15000	0000000	00001486	JOBNET N	1AIN		IF-1		ジョブカ	終了しま	した。		メイン	ジョブネッ	٠ ٢			結果確認		
	2013/11/	11 10:05:	09 15000	0000000	00001486	JOBNET_N	1AIN		JOB	-2	ジョブカ	開始しま	した。		メイン	ジョブネッ	۲			処理②		
	2013/11/	11 10:05:	16 15000	0000000	00001486	JOBNET_N	1AIN		JOB	-2	ジョブカ	- 「終了しま	した。		メイン	ジョブネッ	۲-			処理②		
	2013/11/	11 10:05:	17 1500	0000000	00001486	JOBNET_N	1AIN		IFE-	1	ジョブカ	開始しま	した。		メイン	ジョブネッ	۲-					
	2013/11/	11 10:05:	17 15000	0000000	00001486	JOBNET_M	1AIN		IFE-	1	ジョブカ	終了しま	した。		メイン	ジョブネッ	r					
	2013/11/	11 10:05:	17 15000	0000000	00001486	JOBNET_M	1AIN		END	-1	ジョブカ	「開始しま	した。		メイン	ジョブネッ	r			処理終了		
	2013/11/	11 10:05:	17 1500	0000000	00001486	JOBNET_M	1AIN		END	-1	ジョブカ	終了しま	した。		メイン	ジョブネッ	r			処理終了		



.



8 実行結果表示

ジョブ実行結果画面 - JOB-SERVER

8.1 ジョブの実行結果表示





図 8-2 ジョブ実行結果詳細画面

」 「「」 ジョブ実行結果詳細画面	X
標準出力:	
-STDOUT- ENV(07) [JOBNET_BOOT_TIME=201311121536] -STDOUT- ENV(08) [SSH_TTY=/dev/pts/0] -STDOUT- ENV(10) [LD_LIBRARY_PATH=/usr/local/lib] -STDOUT- ENV(10) [LD_LIBRARY_PATH=/usr/local/lib] -STDOUT- ENV(11) [LS_COLORS=no=00:fi=00:di=00;34:ln=00;36:pi=40;33:so=00;35:bd=40;33;01:cd=40;33;01:cr=01;05;37;41:mi=01;05;37;41:ex= 00;32:*.cmd=00;32:*.exe=00;32:*.com=00;32:*.btm=00;32:*.bat=00;32:*.sh=00;32:*.csh=00;32:*.tar=00;31:*.tgz=00;31:*.arj= 00;31:*.taz=00;31:*.lzh=00;31:*.zp=00;31:*.z=00;31:*.Z=00;31:*.gz=00;31:*.bz2=00;31:*.bz=00;31:*.tz=00;31:*.tz=00;31:*.cpio=00;31:*.jpg=00;35:*.sbm=00;35:*.xbm=00;35:*.xpm=00;35:*.png=00;35:*.tif=00;35:] -STDOUT- ENV(12) [MALL=/var/spool/mail/root] -STDOUT- ENV(13) [PATH=/sbin:/usr/sbin] -STDOUT- ENV(14) [_=/home/nori/dummyAP] -STDOUT- ENV(15) [INPUTRC=/etc/inputrc] -STDOUT- ENV(16) [PWD=/]	
標準エラー:	,
-STDERR- ENV(12) [MAIL=/var/spool/mail/root] -STDERR- ENV(13) [PATH=/sbin:/usr/sbin:/usr/bin] -STDERR- ENV(14) [_=/home/nori/dummyAP] -STDERR- ENV(15) [INPUTRC=/etc/inputrc] -STDERR- ENV(16) [PWD=/] -STDERR- ENV(17) [BATCH_NAME=] -STDERR- ENV(18) [EDITOR=vi] -STDERR- ENV(19) [LANG=ja_JP.UTF-8] -STDERR- ENV(19) [LANG=ja_JP.UTF-8] -STDERR- ENV(20) [SHLVL=5] -STDERR- ENV(20) [SHLVL=5] -STDERR- ENV(21) [HOME=/root] -STDERR- ENV(23) [TST_DATA_02=] -STDERR- ENV(24) [LOGNAME=root] -STDERR- ENV(25) [CVS_RSH=ssh]	
閉じる)



8.1.1 ジョブ実行履歴の検索条件

ジョブの実行履歴は以下の条件により検索可能です。

表 8-1 実行履歴の検索条件

検索条件	; ;						
检索期間 (必須)	検索対象となる開始日時と終了日時を指定します。この項目は必ず指定する必要があります。						
快未知间(必须)	ジョブマネージャの起動後は初期値として現在日付の0:00から23:59が指定されています。						
ジュブネット ロ	検索期間に加え、絞込みを行うジョブネット ID を指定します。						
ションネットロ	なお、ジョブネット ID では正規表現が利用可能です。						
ショブロ	検索期間に加え、絞込みを行うジョブ ID を指定します。						
	なお、ジョブ ID では正規表現が利用可能です。						
	検索対象となる管理 ID を指定します。						
管理 ID	なお、管理 ID を指定した場合、その他の検索条件はすべて無視されます。						
	※管理 ID はジョブネットの実行毎に付加されるジョブネット識別用の ID です。						
ユ _++-タ	検索期間に加え、絞込みを行うユーザー名を指定します。						
	なお、ユーザー名では正規表現が利用可能です。						



8.2 実行結果のファイル出力

ジョブ実行結果画面の「CSV 出力」ボタンを押下することにより、画面に表示されたジョブの実行履歴を CSV 形式のファイルに出力することが可能です。

8.2.1 ジョブ実行結果のファイル出力

① ジョブ実行結果画面の「CSV 出力」ボタンを押下します。

図 8-3 ジョブ実行結果画面の CVS 出力ボタン

iem ジョブ実行結果画面 – JOB-SERVER	
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 実行(S) ヘルブ(H)	
	ユーザー名: JaEditor01
オリシェクト管理ショノ美行管理美行指来表示	
検索期間: 2013 年 11 🗸 月 11 🗸 日 00 🗸 時 00 🗸 分	→ ~ 2013 年 11 v月 11 v日 23 v時 59 v分 使素 CSV出力
詳細 実行日付 管理ID ジョブネットID	ジョブID 状況 ジョブネット名 ジョブ名
2013/11/11 09:28:48 150000000000001484 JOBNET_BATCH_03	ジョブネットが開始しました。 バッチ実行 (バッチサーバ③)
2013/11/11 09:28:48 150000000000001484 JOBNET_BATCH_03	START ジョブが開始しました。 バッチ実行(バッチサーバ③)
2013/11/11 09:28:48 150000000000001484 JOBNET_BATCH_03	START ジョブが終了しました。 バッチ実行(バッチサーバ③) <u>へてい 山</u> 七
2013/11/11 09:28:48 150000000000001484 JOBNET_BATCH_03	30B-1 ジョブが開始しました。 バッチ実行 (バッチサーバ③) しつ V レコノノ
詳細 2013/11/11 09:28:49 150000000000001484 JOBNET_BATCH_03	JOB-1 ジョブが終了しました。 バッチ実行 (バッチサーバ③) ポムト・
2013/11/11 09:28:49 150000000000001484 JOBNET_BATCH_03	JOB-2 ジョブが開始しました。 バッチ実行 (バッチサーバ③) パングン
2013/11/11 09:28:50 150000000000001484 JOBNET_BATCH_03	JOB-2 ジョブが異常終了しました。 バッチ実行 (バッチサーバ③) ハファルをする
2013/11/11 09:55:48 150000000000001485 JOBNET_BATCH_03	ジョブネットが開始しました。 バッチ実行 (バッチサーバ③)
2013/11/11 09:57:24 150000000000001485 JOBNET_BATCH_03	START ジョブが開始しました。 バッチ実行 (バッチサーバ③)
2013/11/11 09:57:24 150000000000001485 JOBNET_BATCH_03	START ジョブが終了しました。 バッチ実行 (バッチサーバ③)
2013/11/11 09:57:24 150000000000001485 JOBNET_BATCH_03	JOB-1 ジョブをスキップします。 バッチ実行 (バッチサーバ③) バッチ処理①
2013/11/11 09:57:24 150000000000001485 JOBNET_BATCH_03	JOB-1 ジョブが終了しました。 パッチ実行 (バッチサーバ③) パッチ処理①
2013/11/11 09:57:24 150000000000001485 JOBNET_BATCH_03	JOB-2 ジョブが開始しました。 パッチ実行 (バッチサーバ③) パッチ処理②
2013/11/11 09:57:25 150000000000001485 JOBNET_BATCH_03	JOB-2 ジョブが異常終了しました。 バッチ実行 (バッチサーバ③) バッチ処理②
2013/11/11 09:57:33 150000000000001485 JOBNET_BATCH_03	ジョブネットが異常終了しました。 バッチ実行 (バッチサーバ③)
2013/11/11 10:05:08 150000000000001486 JOBNET_MAIN	ジョブネットが開始しました。 メインジョブネット
2013/11/11 10:05:08 15000000000001486 JOBNET_MAIN	START ジョブが開始しました。 メインジョブネット 処理開始
2013/11/11 10:05:08 150000000000001486 JOBNET_MAIN	START ジョブが終了しました。 メインジョブネット 処理開始
2013/11/11 10:05:08 150000000000001486 JOBNET_MAIN	JOB-1 ジョブが開始しました。 メインジョブネット 処理①
(詳細) 2013/11/11 10:05:09 1500000000000001486 JOBNET_MAIN	JOB-1 ジョブが終了しました。 メインジョブネット 処理①
2013/11/11 10:05:09 150000000000001486 JOBNET_MAIN	IF-1 ジョブが開始しました。 メインジョブネット 結果確認
2013/11/11 10:05:09 150000000000001486 JOBNET_MAIN	IF-1 ジョブが終了しました。 メインジョブネット 結果確認
2013/11/11 10:05:09 150000000000001486 JOBNET_MAIN	JOB-2 ジョブが開始しました。 メインジョブネット 処理②
2013/11/11 10:05:16 150000000000001486 JOBNET_MAIN	JOB-2 ジョブが終了しました。 メインジョブネット 処理②
2013/11/11 10:05:17 150000000000001486 JOBNET_MAIN	IFE-1 ジョブが開始しました。 メインジョブネット
2013/11/11 10:05:17 150000000000001486 JOBNET_MAIN	IFE-1 ジョブが終了しました。 メインジョブネット
2013/11/11 10:05:17 150000000000001486 JOBNET_MAIN	END-1 ジョブが開始しました。 メインジョブネット 処理終了
2013/11/11 10:05:17 150000000000001486 JOBNET_MAIN	END-1 ジョブが終了しました。 メインジョブネット 処理終了



② CSV 出力ボタンを押下すると、下記のジョブ実行結果出力画面が表示されます。

図 8-4 ジョブ実行結果出力画面

▶ ジョブ実行結果出力画面	×
ジョブ実行結果CSVファイルの出力先を入力してください。	
参照	
OK キャンセル	

- ③ 「参照」ボタンを押下します。
- ④ ファイル選択ダイアログが表示されるので、保存場所ならびにファイル名を指定し「OK」ボタンを押下します。
 ※ファイル名のみを指定した場合は、ジョブマネージャのインストールフォルダ内に CSV ファイルが作成 されます。
- ⑤ ファイル出力先が正しいことを確認し、「OK」ボタンを押下します。



8.2.2 CSV ファイルのフォーマット

ファイルに出力されるジョブの実行結果にはジョブ実行結果画面の表示項目に加え、実行タイプ、公開フラグ、 メッセージ ID などの詳細な情報が含まれます。また、各項目はダブルコーテーション(")で囲まれます。

表 8-2 ジョブ実行結果の CSV ファイルフォーマット

項目	説明						
実行日付	ジョブ(アイコン)実行時の日付(YYYY/MM/DD HH:MM:SS.sss)を示します。						
管理 ID	ジョブネット実行時に採番される管理用の ID を示します。						
(親ジョブネット)	※管理 ID は複数存在する同一のジョブネットを区別する際に使用します。						
管理 ID	・ ジョブネットアイコンにより実行されるサブジョブネットの管理 ID を示します。						
(サブジョブネット)	1 1 						
実行タイプ	ジョブネットの起動方法を示します。 0:スケジュール起動 1:即時実行 2:保留実行 3:テスト実行 4:時刻実行(jobarg_exec コマンドによる時刻起動時のみ)						
	5:ジョブ単体起動						
公開フラグ	公開ジョブネットであることを示します。 0:プライベートジョブネット 1:公開ジョブネット						
ジョブネット ID	ジョブ(アイコン)が所属するジョブネット ID を示します。						
ジョブ ID	各アイコンのジョブ ID を示します。						
メッセージ ID	 ジョブ実行結果画面の「状況」欄のメッセージに対応するメッセージ ID を示します。 JC0000001: ジョブネットが開始しました。 JC0000002: ジョブネットが終了しました。 JC0000003: ジョブが開始しました。 JC0000004: ジョブが終了しました。 JC0000005: ジョブがタイムアウトしました。 JC0000006: ジョブをスキップします。 JC0000007: ジョブを再実行します。 JC0000001: ジョブネットのスケジュール起動が行えませんでした。 JC9000002: ジョブが異常終了しました。 JC9000003: ジョブネットが異常終了しました。 						
状況	★ッセージ ID に対応したメッセージ本文(ジョブネット、およびジョブの状況)を示します。 ※内容については「メッセージ ID」を参照してください。						
ジョブネット名							
	各アイコンのジョブ名を示します。						
ジョブ名	■ ■ ジョブ名が未設定の場合は値無し("")となります。						





項目	説明
ユーザー名	ジョブネットを作成したユーザー名を示します。
更新日	ジョブネットの更新日(YYYY/MM/DD HH:MM:SS)を示します。
戻り値	ジョブアイコンとリブートアイコンの戻り値(0~255)を示します。
	その他のアイコンでは値無し("")となります。



9 エクスポート/インポート機能

9.1 エクスポート/インポートの操作

ジョブ構成オブジェクトであるカレンダー、スケジュール、ジョブネットについて、エクスポート、および インポート機能により、データのバックアップや別環境へのデータコピーが行えます。 なお、バージョンが異なるジョブマネージャ(Job Arranger)間のインポート/エクスポートは行えません。 また、インポート先の Job Arranger にはエクスポートしたユーザーが登録されている必要があります。 ※エクスポートファイルは xml 形式で出力されます。

9.1.1 エクスポート

ログインユーザーで編集・参照可能なオブジェクト(カレンダー、スケジュール、ジョブネット)のエクスポート には以下の方法があります。なお、公開オブジェクトもエクスポート対象となります。

エクスポート対象となるオブジェクトを選択します。
 くすべてのオブジェクトを対象とする場合>
 メニューバーより「ファイル」-「エクスポート」を選択します。

<個別オブジェクトの全バージョンを対象とする場合> オブジェクトー覧画面のオブジェクトツリーより個別のオブジェクトを選択し、オブジェクトツリーの コンテキストメニューより、「エクスポート」を選択します。

<個別オブジェクトの特定バージョンを対象とする場合>

オブジェクトー覧画面のリストオブジェクト(一覧)より特定バージョンの個別オブジェクトを選択し、 リスト行のコンテキストメニューより、「エクスポート」を選択します。

- ② メニューバーより「ファイル」―「エクスポート」を選択します。
- ③ エクスポート画面が表示されます。

Jam エクスポート画面	
エクスポートファイルの出力先を入力してください。	
	参照
	,
ок	キャンセル

図 9-1 エクスポート画面

Copyright (C) 2011-2012 FitechForce, Inc. All Rights Reserved Copyright (C) 2013 Daiwa Institute of Research Business Innovation Ltd. All Rights Reserved



- ④「参照」ボタンを押下します。
- ⑤ ファイル選択ダイアログが表示されるので、保存場所ならびにファイル名を指定し「OK」ボタンを押下します。
 ※「参照」ボタンを押さずに直接ファイル名のみを記載してエクスポートした場合は、ジョブマネージャの
 インストールフォルダ内にエクスポートファイルが作成されます。
- ⑥ エクスポート画面上のファイル出力先が正しいことを確認し、「OK」ボタンを押下します。



9.1.2 インポート

- ① メニューバーより「ファイル」―「インポート」を選択します。
- インポート画面が表示されます。

☞ インポート画面	×
インポートするエクスポートファイル	を入力してください。
	参照
□ 上書きを許可する :	
	OK キャンセル

図 9-2 インポート画面

③ 「参照」ボタンを押下します。

④ ファイル選択ダイアログが表示されるので、インポート対象のファイルを指定し、「OK」ボタンを押下します。

- ⑤ 必要に応じて、「上書きを許可する」のチェックボックスにチェックを入れます。
 ※「上書きを許可する」がチェックされている場合、インポート先の DB に同一のオブジェクトデータがすでに 存在する場合でも上書きでインポートします。チェックされていない場合は同一オブジェクトデータが存在する とエラーとなります。
- ⑥ インポート画面上のインポート対象ファイルが正しいことを確認し、「OK」ボタンを押下します。



10 外部 I/F 機能

10.1 外部 I/F 機能とは

Job Arranger には、外部 I/F 機能として外部からジョブネットを起動できる「jobarg_exec」、起動させたジョブ ネットのステータスを取得できる「jobarg_get」、ジョブの実行結果を取得できる「jobarg_joblogput」、保留され たアイコンの保留状態を解除する「jobarg_release」という 4 つの機能を有しています。

外部 I/F 機能はコマンド形式で提供され、Linux 版のみ提供されています。

適切な引数を設定してコマンドを実行することにより、ジョブネットを即時実行させることや、ジョブネットのステ ータスを取得することができます。

このコマンドをシェルでラッピングして Zabbix のアクション機能から呼び出すことにより、特定の障害を検知した 場合に事前登録しておいたジョブの実行や実行状況の確認をするといった Zabbix と Job Arranger の連携や、その 他の応用が可能となります。

10.2 jobarg_exec コマンド

外部からジョブネットを起動できる機能を実現するコマンドは「jobarg_exec」です。Job Arranger のインストー ル時にはジョブサーバの「/usr/bin または/usr/local/bin」配下に配置されます。ジョブサーバ以外で利用する場合 はコマンドを目的のノードにコピーし、利用してください。

(本コマンドは Linux 版ジョブエージェントの rpm パッケージに含まれています)

コマンドインターフェースは以下の通りです。

jobarg_exec [-hV] -z <hostname or IP> [-p <port>] -U <username> -P <password> -j <jobnetid>
 [-t <YYYYMMDDHHMM>] [-E <environment-variables>,...] [-D]

※コマンドが正常終了した場合、実行されたジョブネットの管理 ID を標準エラー出力に出力します。





表	10-1	オプション-	-暫
1	TOT	///////////////////////////////////////	

オプション名	説明
-z <hostname ip="" or=""></hostname>	ジョブサーバの IP アドレスかホスト名を指定します。
-p <port></port>	ジョブサーバのポート番号を指定します(省略可能)
	デフォルトのポート番号は 10061。
-U <username></username>	ジョブサーバにログイン(ジョブネットを起動)するユーザー名を指定します。
-P <password></password>	ユーザーのパスワードを指定します。
-j <jobnetid></jobnetid>	起動するジョブネット ID を指定します。
-t <yyyymmddhhmm></yyyymmddhhmm>	ジョブネットを日付・時間指定で起動させたい場合に指定します(省略可能)
-E <environment-variable>,…</environment-variable>	ジョブネットに対して、外部 I/F の実行環境の環境変数を渡したい場合に指定し
	ます(省略可能)
	指定するのは環境変数名のみです(例:LANG)。
	複数の環境変数を渡したい場合は「,」区切りで引数に指定してください。
-D	「-t」指定時に、同じ起動時刻+ジョブネット ID での複数起動を禁止します
	(省略可能)
	なお、「-t」が指定されていない場合、本オプションは無視されます。
-h	コマンドヘルプ
-V	バージョン情報

表 10-2 戻り値一覧

ステータス	戻り値
受付成功	0(標準エラー出力に管理 ID を表示)
受付失敗	255(標準エラー出力にエラー理由を表示)



10.3 jobarg_get コマンド

ジョブネットのステータスを取得できる機能を実現するコマンドは「jobarg_get」です。Job Arranger のインスト ール時にはジョブサーバの「/usr/bin または/usr/local/bin」配下に配置されます。

ジョブサーバ以外で利用したい場合はコマンドを目的のノードにコピーし、利用してください。

(本コマンドは Linux 版ジョブエージェントの rpm パッケージに含まれています)

コマンドインターフェースは以下の通りです。

jobarg_get [-hV] -z <hostname or IP> [-p <port>] -U <username> -P <password> -r <registry number>
 [-e]

※コマンドが正常終了した場合、取得したジョブネット情報を標準出力に出力します。

オプション名	説明
-z <hostname ip="" or=""></hostname>	ジョブサーバの IP アドレスかホスト名を指定します。
-p <port></port>	ジョブサーバのポート番号を指定します(省略可能)
	デフォルトのポート番号は 10061。
-U <username></username>	ジョブサーバにログインするユーザー名を指定します。
-P <password></password>	ユーザーのパスワードを指定します。
-r <registry number=""></registry>	ステータスを確認したいジョブネットの管理 ID を指定します。
	この値は、jobarg_exec の実行時に出力されます。
-е	取得したジョブネット情報の各値を export コマンドによる環境変数形式で出力
	します(省略可能)
	このオプションにより出力された内容をファイルに出力し、source コマンドに
	より展開することで、他のシェルやアプリケーションでジョブネット情報を利用
	することが可能です。
-h	コマンドヘルプ
-V	バージョン情報

表 10-3 オプション一覧





表 10-4 出力内容

項目名	説明	
Jobnetid	ジョブネット ID	
jobnetname	ジョブネット名	
Time of a schedule	実行予定時刻(スケジュール起動時刻)(YYYYMMDDHHMM)	
Time of a start	実行起動時刻(YYYYMMDDHHMMSS)	
Time of a end	実行終了時刻(YYYYMMDDHHMMSS)	
	ジョブネットの実行タイプ	
	NORMAL : 通常(スケジュール起動)	
The run type of a johnet	IMMEDIATE :即時実行	
The run type of a jobnet	WAIT :保留実行	
	TEST : テスト実行	
	TIME :時刻実行	
	ジョブネットの稼働状態	
	BRGIN :未実行	
	READY :実行準備	
Status of a jobpat	RUN : 実行中	
Status of a jubriet	END :正常終了	
	RUNERR : 実行エラー	
	ENDERR :異常終了	
	ABORT :強制停止	
	ジョブの稼働状態	
Status of a job	NORMAL :通常	
	TIMEOUT : タイムアウト発生	
	ERROR : 異常発生	
Last job return value	最後に実行されたアイコンの戻り値 (終了アイコンを除く)	
Last job standard output	- 最後に実行されたアイコンの標準出力の内容(終了アイコンを除く)	
Last job standard error	- 最後に実行されたアイコンの標準エラーの内容(終了アイコンを除く)	





表 10-5 戻り値一覧

ステータス	戻り値
ジョブネット状態(未実行/実行待ち)	0(標準出力に取得結果を表示)
ジョブネット状態(実行準備)	1(標準出力に取得結果を表示)
ジョブネット状態(実行中)	2(標準出力に取得結果を表示)
ジョブネット状態(実行中:ジョブタイムアウト発生)	21(標準出力に取得結果を表示)
ジョブネット状態(実行中 : ジョブエラー発生)	22(標準出力に取得結果を表示)
ジョブネット状態(正常終了)	3(標準出力に取得結果を表示)
ジョブネット状態(実行エラー)	4(標準出力に取得結果を表示)
ジョブネット状態(異常終了)	5(標準出力に取得結果を表示)
確認失敗	255(標準エラー出力にエラー理由を表示)


10.4 jobarg_joblogput コマンド

ジョブの実行結果を取得できる機能を実現するコマンドは「jobarg_joblogput」です。Job Arranger のインストー ル時にはジョブサーバの「/usr/bin または/usr/local/bin」配下に配置されます。 ジョブサーバ以外で利用したい場合はコマンドを目的のノードにコピーし、利用してください。 (本コマンドは Linux 版ジョブエージェントの rpm パッケージに含まれています) コマンドインターフェースは以下の通りです。

jobarg_joblogput [-hV] -z <hostname or IP> [-p <port>] -U <username> -P <password>
[-s <YYYYMMDD>|<YYYYMMDDHHMM>] [-e <YYYYMMDD>|<YYYYMMDDHHMM>] [-n <jobnet-id>]
[-j <job-id>] [-u <target-user>] [-r <registry number>]

※コマンドが正常終了した場合、取得したジョブの実行結果を標準出力に CSV 形式で出力します。 なお、検索条件に該当するデータが存在しない場合、ヘッダ行データのみが出力されます。 ジョブ実行結果のフォーマットについては「8.2.2 CSV ファイルのフォーマット」をご参照ください。

オプション名	説明
-z <hostname ip="" or=""></hostname>	ジョブサーバの IP アドレスかホスト名を指定します。
-p <port></port>	ジョブサーバのポート番号を指定します(省略可能)
	デフォルトのポート番号は 10061。
-U <username></username>	ジョブサーバにログインするユーザー名を指定します。
-P <password></password>	ユーザーのパスワードを指定します。
-s <yyyymmdd> <yyyymmddhhmm></yyyymmddhhmm></yyyymmdd>	検索対象となる開始日時を指定します。「-r」指定時のみ省略可能です。
	なお、開始日時は以下の形式で指定します。
	YYYYMMDD[HHMM]
	※時分(HHMM)を省略した場合は日単位の指定となります。
	また、日付の形式は「-s」、「-e」で統一する必要があります。
-e <yyyymmdd> <yyyymmddhhmm></yyyymmddhhmm></yyyymmdd>	検索対象となる終了日時を指定します。「-r」指定時のみ省略可能です。
	なお、終了日時は以下の形式で指定します。
	YYYYMMDD[HHMM]
	※時分(HHMM)を省略した場合は日単位の指定となります。
	また、日付の形式は「-s」、「-e」で統一する必要があります。
-n <jobnet-id></jobnet-id>	検索期間に加え、絞込みを行うジョブネット ID を指定します(省略可
	能)なお、ジョブネット ID では正規表現が利用可能です。
-j <job-id></job-id>	検索期間に加え、絞込みを行うジョブ ID を指定します(省略可能)
	なお、ジョブ ID では正規表現が利用可能です。
-u <target-user></target-user>	検索期間に加え、絞込みを行うユーザー名を指定します(省略可能)
	なお、ユーザー名では正規表現が利用可能です。

表 10-6 オプション一覧

pg. 135



オプション名	説明
-r <registry number=""></registry>	・ 検索対象となる管理 ID を指定します(省略可能)
	なお、本オプション指定時には「-s」「-e」が無視されます。
-h	コマンドヘルプ
-V	バージョン情報

表 10-7 戻り値一覧

ステータス	戻り値
取得成功	0(標準出力にジョブの実行結果データを表示)
確認失敗	255(標準エラー出力にエラー理由を表示)



10.5 jobarg_release コマンド

保留されたアイコンの保留解除を行う機能を実現するコマンドは「jobarg_release」です。Job Arranger のインス トール時にはジョブサーバの「/usr/bin または/usr/local/bin」配下に配置されます。 ジョブサーバ以外で利用したい場合はコマンドを目的のノードにコピーし、利用してください。 (本コマンドは Linux 版ジョブエージェントの rpm パッケージに含まれています) コマンドインターフェースは以下の通りです。

jobarg_release [-hV] -z <hostname or IP> [-p <port>] -U <username> -P <password> -j <jobid>
[-t <YYYYMMDD>|<YYYYMMDDHHMM>] [-r <registry number>]

※コマンドが正常終了した場合、保留を解除したアイコンが所属するジョブネットの管理 ID を標準エラー出力に 出力します。

また、該当するジョブ ID が複数存在する場合、すべてのアイコンを保留解除します。その際に未保留のアイコン が含まれているとエラーとなり保留解除を行いません。





表 10-8 オプション一覧

オプション名	説明
-z <hostname ip="" or=""></hostname>	- ジョブサーバの IP アドレスかホスト名を指定します。
-p <port></port>	↓ ジョブサーバのポート番号を指定します(省略可能)
	デフォルトのポート番号は 10061。
-U <username></username>	ジョブサーバにログインするユーザー名を指定します。
-P <password></password>	ユーザーのパスワードを指定します。
-j <jobid></jobid>	保留解除の対象となるアイコンのジョブ ID を指定します。
	i該当ジョブ ID が見つからない、または対象アイコンが保留されて
	いない場合はエラーとなります。
	ジョブ ID は以下の形式で指定します。
	「ジョブネット ID/保留解除対象ジョブ ID」
	, なお、サブジョブネットのジョブを指定する場合は、ジョブネット
	アイコンのジョブ ID とスラッシュ(/)で続けて記述します。
	· ※サブジョブネットが複数階層に至る場合、スラッシュ(/)で続けて
	記述する事が可能です。
	例 : 「ジョブネット ID/ジョブネットアイコンのジョブ ID/サブジョブ
	ネットの保留解除対象ジョブ ID」
-t <yyyymmdd> <yyyymmddhhmm></yyyymmddhhmm></yyyymmdd>	 保留解除の対象となるアイコンが所属するジョブネットの起動日時を指
	定します(省略可能)
	なお、起動日時は以下の形式で指定します。
	YYYYMMDD[HHMM]
	・ ※時分(HHMM)を省略した場合は日単位の指定となります。
-r <registry number=""></registry>	保留解除の対象となるアイコンが所属するジョブネットの管理 ID を指
	定します(省略可能)
	・ なお、本オプション指定時には「-t」が無視されます。
-h	コマンドヘルプ
-V	バージョン情報

表 10-9 戻り値一覧

ステータス	「 戻り値
保留解除成功	0(標準出力に保留解除したジョブネットの管理 ID を表示)
保留解除失敗	255(標準エラー出力にエラー理由を表示)



10.6 ジョブサーバの認証方式

ジョブサーバでは外部 I/F コマンドを受信する際に認証を行っています。

認証は以下の通りで行います。

(1). ジョブネットの有効性チェック

指定したジョブネットが「有効」に設定されているかをチェックします。

(2). ユーザー権限チェック

指定したユーザーが有効であり、起動対象のジョブネットに対して実行権限を持っているかをチェックします。

(3). パスワードチェック

ユーザーに対して設定されているパスワードをチェックします。